大正二年一月二十日
文部省檢定濟

教科書文庫
4
320
41-1913
2000074163

中等學校法制教科書

全

法學士岡本一郎著

東京 有斐閣書房

40410
教科書文庫
4
320
41-1913
2000.0 74163

資料室

大正二年一月二十日
文部省檢定濟

教科書文庫
4
320
41-1913
2000074163

法學士岡本一郎著

中等學校法制教科書

全

広島大学図書
2000074163

東京 有斐閣書房

4a
320
大9

憲法發布勅語

朕國家ノ隆昌ト臣民ノ慶福トヲ以テ中心ノ欣榮トシ朕カ祖宗ニ承クルノ大權ニ依リ現在及將來ノ臣民ニ對シ此ノ不磨ノ大典ヲ宣布ス。

惟フニ我カ祖我カ宗ハ我カ臣民祖先ノ協力輔翼ニ倚リ我カ帝國ヲ肇造シ以テ無窮ニ垂レタリ此レ我カ神聖ナル祖宗ノ威德ト竝ニ臣民ノ忠實勇武ニシテ國ヲ愛シ公ニ殉ヒ以テ此ノ光輝アル國史ノ成跡ヲ貽シタルナリ朕我カ臣民ハ即チ祖宗ノ忠良ナル臣民ノ子孫ナルヲ回想シ其ノ朕カ意ヲ奉體シ朕カ事ヲ奬順シ相與ニ和衷協同シ益〻我カ帝國ノ光榮ヲ中外ニ宣揚シ祖宗ノ遺業ヲ永久ニ鞏固ナラシムルノ希望ヲ同クシ此ノ負擔ヲ分ツニ堪フルコトヲ疑ハサ

広島大学
教
74163
図書

ルナリ。

朕祖宗ノ遺烈ヲ承ケ萬世一系ノ帝位ヲ踐ミ朕カ親愛スル所ノ臣民ハ即チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シタマヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ其ノ康福ヲ增進シ其ノ懿德良能ヲ發達セシメムコトヲ願ヒ又其ノ翼贊ニ依リ與ニ俱ニ國家ノ進運ヲ扶持セムコトヲ望ミ乃チ明治十四年十月十二日ノ詔命ヲ履踐シ茲ニ大憲ヲ制定シ朕カ率由スル所ヲ示シ朕カ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ永遠ニ循行スル所ヲ知ラシム。

國家統治ノ大權ハ朕カ之ヲ祖宗ニ承ケテ之ヲ子孫ニ傳フル所ナリ朕及朕カ子孫ハ將來此ノ憲法ノ條章ニ循ヒ之ヲ行フコトヲ愆ラサルヘシ。

朕ハ我カ臣民ノ權利及財產ノ安全ヲ貴重シ及之ヲ保護シ此ノ憲法及法律ノ範圍內ニ於テ其ノ享有ヲ完全ナラシムヘキコトヲ宣言ス。

帝國議會ハ明治二十三年ヲ以テ之ヲ召集シ議會開會ノ時ヲ以テ此ノ憲法ヲシテ有效ナラシムルノ期トスヘシ。

將來若此ノ憲法ノ或ル條章ヲ改定スルノ必要ナル時宜ヲ見ルニ至ラハ朕及朕カ繼統ノ子孫ハ發議ノ權ヲ執リ之ヲ議會ニ付シ議會ハ此ノ憲法ニ定メタル要件ニ依リ之ヲ議決スルノ外朕カ子孫及臣民ハ敢テ之カ紛更ヲ試ミルコトヲ得サルヘシ。

朕カ在廷ノ大臣ハ朕カ爲ニ此ノ憲法ヲ施行スルノ責ニ任スヘク朕カ現在及將來ノ臣民ハ此ノ憲法ニ對シ永遠ニ從順ノ義務ヲ負フヘシ。

御名御璽

明治二十二年二月十一日

國務各大臣及樞密院議長副署

凡例

一、本書ハ、主トシテ中等教育(特ニ、中等商業教育)法制教科書ニ充ツル目的ヲ以テ叙述セリ。從來、此種ノ著者、其數甚ダ乏シカラズ、殊ニ一代ノ泰斗、斯學專門大家ノ著述亦、決シテ少シトセズ。而シテ、是等大家ノ著、其議論所說ニ於テハ、固ヨリ妄リニ吾人ノ指議論評ヲ許サザルベキモ、只、惜ムラクハ、未ダ實地經驗ニ缺クル所アツテノ故カ、幾多授業上ノ不便ヲ見出スコトナキ能ハズ。余、中等教育ニ從事スル數年、此不便ニ堪ヘズ、聊カ見ル所アツテ、不肖ヲ顧ミズ、敢テ此著ヲナス所以也。

一、本書ハ、體裁ニ重キヲ置カズ、實用ヲ主トシタルガ爲、動モスレバ、或部ニ詳シク、或部ニ疎ナル嫌ナキニアラズ。是レ、

實ハ、本書ノ目的ニ添ハント欲スル所ヨリ、自然ニ起リ來リタル結果ニシテ、亦、止ムヲ得ザル所ナリ。

一、中等教育ニ於テ、公法ノ忽ニスベカラザルハ、論ヲ俟タザル所ナレドモ、實用ニ適スル爲ニハ、私法モ亦、輕ンズベカラザルヲ認メタルヲ以テ、從來、普通行ハレ來リタル此種ノ教科書ヨリハ、私法ヲ説明スルニ、稍々、悉シカルベキヲ期シタリ。各欄外ニ、法文ノ條項ヲ記入シ置キタルモ、畢竟、此趣旨ニ添ハント欲シタレバ也。

一、本書、元ヨリ、尚、遺漏ナキヲ保セズト雖、向後、機アル每ニ、短ヲ補ヒ、冗ヲ省キ、以テ完璧ヲ期セントス。

一、本書ヲ編ムニ當リ、織田博士著、法學通論、及、奥田博士著、法學通論等ニ負フコト尠カラズ。依テ、特ニ、玆ニ之ヲ誌シ、以テ兩博士ニ謝スル所アラントス。

本書、改訂第三版ヲ刊行スルニ當リ、茨城縣立商業學校教諭西野辰之助氏ハ、公務多繁ノ中ヲモ厭ハズ、其假名遣ヒ、句讀點ノ訂正等ニ關シ、多大ノ助力ヲ與ヘラレタリ。誌シテ以テ感謝ノ意ヲ表ス。

明治四十四年四月

岡山ニ於テ

著者

中等學校 法制教科書 目次

第一部 總論

第一章 國家……一

第二章 國體及政體……三

第三章 法……九

第一節 法ノ性質……九

第二節 法ノ分類……一一

第三節 法ノ制定并公布……一六

第四節 法ノ效力……二〇

第四章 權利及義務……二四

第一節 權利ノ意義及種類……二四

第二節 權利ノ得喪及變更……二六

第三節　義務……二八

第二部　公法大意

第一章　天皇……三〇
第二章　臣民……三四
第三章　統治機關……三九
第一節　帝國議會……三九
第二節　政府……四五
第三節　裁判所……四六
第四章　統治作用……四六
第一節　立法……四六
第二節　司法……四七
第一款　裁判所……四七

第二款　刑事訴訟……五一
第三款　民事訴訟及非訟事件手續法……五二
第三節　行政……五六
第一款　行政及行政ノ分類……五六
第二款　行政機關……六〇
第一項　行政官廳（官治行政機關）……六一
第一目　中央行政官廳……六二
第二目　地方行政官廳……六三
第二項　公共團體（自治行政機關）……六六
第一目　地方團體……六七
第二目　公共組合……七五
第三款　行政救濟……七六
第四節　條約……八〇

第三部　私法大意
第一章　私權……八二
第二章　人……八四
第一節　自然人……八五
第一欵　自然人ノ意義及其發生……八五
第二欵　能力……八六
第三欵　住所及居所……八八
第四欵　自然人ノ消滅……八九
第二節　法人……九〇
第一欵　法人ノ意義及其發生……九〇
第二欵　法人ノ種類……九一
第三欵　法人ノ機關……九三
第四欵　法人ノ解散……九四

第三章　物……九八
第一節　物ノ意義……九八
第二節　物ノ種類……九九
第四章　法律行爲……一〇二
第一節　法律行爲ノ意義……一〇二
第二節　法律行爲ノ有效條件……一〇四
第三節　法律行爲ノ種類……一一一
第四節　法律行爲ノ代理……一一三
第五節　條件及期限……一一八
第五章　時……一二一
第一節　期間……一二一
第二節　時效……一二四
第六章　物權……一二七

第一節　總則……一二七
第二節　占有權……一三〇
第三節　所有權……一三五
第四節　用益物權……一三九
第五節　擔保物權……一四二
第七章　債權……一四七
第一節　總論……一四七
第二節　債權ノ目的……一四八
第三節　債權ノ原因……一五一
第一款　契約……一五一
第二款　事務管理……一五九
第三款　不當利得……一六〇
第四款　不法行爲……一六一

第四節　債權ノ效力……一六二
第五節　多數當事者ノ債權……一六三
第六節　債權ノ讓渡及消滅……一六七
第八章　親族法……一六九
第一節　總論……一六九
第二節　戶主及家族……一七三
第三節　婚姻……一七四
第四節　親子……一七七
第五節　親權……一七八
第六節　後見……一七九
第七節　親族會……一八一
第八節　扶養ノ義務……一八二
第九章　相續法……一八三

第一節　家督相續……一八四
第二節　遺産相續……一八八
第三節　相續ノ承認及拋棄……一九一
第四節　遺言……一九二
第五節　遺留分……一九六

中等學校　法制教科書目次終

國家ノ起原。

中等學校　法制教科書

法學士　岡本一郎　著

第一部　總論

第一章　國家

人類ガ、社交的動物ニシテ、各個獨立シテ生存スルコト能ハザルモノナルノ理ハ、今更、説明ヲ要セザル所ナリ。社交的動物ナルガ故ニ、相依リ相扶ケテ、其生存目的ヲ遂行スルコトニ努力シ、其目的ヲ達スルニ便ナラシメンガ爲、人情、風俗、歴史、習慣等ノ類似セルモノガ、相寄ツテ集團ヲ成シ、其集團ノ維持發達ヲ計ランガ爲ニハ、自ラ、之ヲ善導左右スルニ適當ナル指導者ヲ求メ、之ガ指揮命令ニ服從シ、此ニ强固ナル一

國家ノ要素。
統治權。
領土。

團體ヲ組織スルニ至ル。是レ自然ノ趨勢ニシテ、國家ナルモノ、起原モ亦、實ニ、茲ニ存ス。而シテ、斯カル團體ガ、法律學上、國家ト稱セラルヽ、爲ニハ、必ラズ、下ノ三要素ヲ具備セザルベカラズ。

一、統治權。 統治權トハ、治者ガ、被治者ニ、對シ、命令スルノ權力ナリ。此權力ハ、一國ニ於ケル最高無制限ノ力ニシテ、國内ハ勿論、國外ニ對シテモ、決シテ、拘束ヲ受クルモノニアラズ。主權又ハ國權ト稱スルモノハ、卽是ナリ。此權力ノ總攬者ヲ名ケテ、主權者、又ハ統治權者ト云フ。

二、領土。 領土トハ、統治權ノ行ハルヽ、土地ノ區域ナリ。凡ソ、人類ノ集團ガ、國家ヲ形成スルニ當ツテハ、必ラズ、國民定着ノ土地ナカルベカラズ。而シテ、此土地ハ、統治權ノ及ブ範圍ヲ劃限スルモノニシテ、之ヲ領土又ハ國土ト稱ス。

國民。
國家ノ定義。

領土ハ、又、領海ヲ包含ス。領海トハ、干潮ノ時ニ、於テ、陸地ヲ去ル三海里迄ノ海上ヲ云フ。

三、國民。 國家ニハ、必ラズ、複數ノ人類ナカルベカラズ。一國家ヲ組成スル人類ヲ、國民ト稱シ、君主國ニ於テハ、特ニ、之ヲ臣民ト名ヅク。國民ハ、統治權ニ對シ、絶對的服從ノ義務ヲ負フモノトス。

國家ハ、以上ノ三要素ヲ具備シテ、始メテ、成立スルモノナレバ、「國家トハ、一定ノ土地ニ、人類ノ複數存在シ、此土地ト人民トガ、一定ノ主權ノ下ニ結合セラレタル政治的團體ヲ指稱スルモノナリ」ト云フコトヲ得ベシ。

第二章　國體及政體

國家ハ、統治權ノ主體ニシテ、一アリテ二ナシト雖、統治權ノ

國體。

政體。專制政體。立憲政體。

組織作用ニ關シテハ、各々、多少ノ差異ナシトセズ。是レ即、國體、及、政體ノ岐ルヽ處ニシテ、統治權組織ノ形態ヲ名ケテ、國體ト云ヒ、之ニ、君主國體、民主國體ノ別アリ。一ハ統治權ガ、或固有ノ權力ヲ有スル特定人ニヨリテ、掌握セラルヽモノニシテ、他ハ統治權ガ、其國人民全體ニヨリテ掌握セラルヽモノナリ。

貴族國體ハ、民主國體ノ、一種ノ、變態ト見ルヲ得ベク、只、統治權ガ、人民ノ少數者ニヨリテ、掌握セラルヽノ差アルノミ。

統治權作用ノ形態ヲ名ケテ、政體ト稱シ、分チテ、專制政體及立憲政體ノ二種トス。前者ハ、主權者ガ、任意ニ、其自由意思ニヨリテ統治權ヲ行使スルヲ云ヒ、後者ハ一國內ニ或ル一定ノ法ヲ認メ、此法ノ命ズル所ニヨリテ、統治機關ノ組織權限ヲ定メ、主權者ト雖、此法ニ據ルニアラザレバ、統治權ヲ行使

法治國家。

立憲君主國家。我國、及、現今ノ露國ノ如シ。

專制君主國家。千九百五年前ノ露國ノ如シ。

立憲民主國家。佛國、北米合衆國ノ如シ。

專制民主國家。ナポレオン一世、同三世時代ノ佛國、及、クロムウエル時代ノ英國ノ如シ。

スルコトヲ得ザルヲ云フ。法治國家ト稱スルモノハ、即、此立憲政體ノ國家ニシテ、此一定ノ法ヲ憲法トハ稱スルナリ。

國體、及、政體ノ區別、夫レ、斯ノ如シ。然レドモ、是等ノモノハ、常ニ一致スルモノト思惟スベカラズ。君主國體ニシテ、或ハ立憲政體ナルコトアリ、又ハ專制政體ナルコトアリ。民主國體ニシテ、時ニ立憲政體ナルコトアリ、又ハ專制政體ナルコトアリ。君主國體ニシテ立憲政體ナルヲ、立憲君主國家ト稱シ、君主國體ニシテ專制政體ナルヲ、專制君主國家ト云ヒ、民主國體ニシテ立憲政體ナルヲ、立憲民主國家、民主國體ニシテ專制政體ナルヲ、專制民主國家ト稱ス。

此ニ注意スベキハ、君主ヲ戴ケル國ナレバトテ、直ニ以テ、君主國體ナリト考フベカラズ。如何ニ君主ヲ戴ケバトテ、統治權ガ、國民全體ニヨリテ掌握セラルヽヲ、只、便宜上、國民ガ、君

主ヲ選ンデ、之ニ統治權ヲ委ネタル場合ニ於テハ、表面ハ君主ガ、統治權ヲ掌握セル如キモ、實ハ然ラズ。斯ノ如キハ、假令、一時、君主ヲ戴クト云フトモ、君主國體ト稱スルヲ得ズ。是レ、一種ノ民主國體ニ外ナラズ。

白耳義、及、希臘國ノ如シ。

我國ノ國體。

我大日本帝國ノ、君主國體ナルコトニツキテハ、何人モヨク熟知セル所ナレドモ、我國體ノ、歐洲諸國ノ國體ニ比シテ、大ニ誇ルニ足ル所以ハ、歐洲諸國ノ國體ハ、君主國體タルコトニ於テ異論ナキモノモ、其君主タルヤ、今日ノ君主ハ明日ノ臣下トナリ、旦ニ擁セラレテ、夕ニ廢セラル、ノ狀態ヲ呈シ、之ニ服從スル臣民ハ、時ニ、昨ノ仇讎ヲ迎ヘテ、己ガ君主ト仰ガザルベカラザルコトナシトセズ。然ルニ、我國ニ於テハ如何、中途權門、武家ノ專橫ナカリシニアラザレドモ、皇位ハ、炳トシテ、日星ノ如ク、天孫降臨在シテヨリ、今日ニ至ルマデ一回ノ簒奪者、否、窺窬者ダニ出デタルコトナク、臣民ノ、皇室ヲ、見ル、常ニ、慈父ニ對スル如ク、皇室ノ、臣民ニ臨マセラル、、恰モ赤子ニ對スルガ如シ。此狀態タルヤ、天壤ト共ニ窮リナカルベク、金甌無缺ナル此國體ニ對シ、千載、誰カ之ヲ穢スモノアランヤ、斯カル圓滿無事ノ間ニ、然モ、萬世一系連綿トシテ絕ユルナキ君主ヲ戴クノ光榮ヲ有スル國家、ソレ果シテ何處ニカアル。

我國ノ政體。

我國ハ、建國以來、代々專制政體ナリシカドモ、明治天皇明治元年三月十四日ノ五ケ條御誓文第一ニ「廣ク會議ヲ起シ萬機公論ニ決スベシ」ト宣ハセ給ヒシハ、從來ノ政體ヲ變更セントノ大御心ノ、夙ク既ニ、此時ニ存セシヲ察スルニ足ルベク、次デ、明治八年元老院ヲ設ケ、仝十四年十月ニハ、明治二十三年ヲ期シ、國會ヲ開設スベキ勅諭ヲ下シ給ヒ、明治二十二

憲法ニハ、欽定、協定

ノ二種アリ。欽定憲法トハ、君主ノ全權ヲ以テ、制定シタル憲法ニシテ、協定憲法トハ、國民ノ協議ヲ經テ、制定セラレタルモノヲ云フ。

年二月十一日ヲ以テ、欽定憲法ヲ發布セラレ、仝二十三年帝國議會ヲ召集シ給ヒ、立權政體、愈〻此處ニ確立シ、萬民ノ自由ト權利トハ、動カス可ラザル保障ヲ與ヘラル、コト、ナリ、國民擧ツテ、其恩澤ヲ蒙ラザルナキニ至レリ。加之、此ニ又國民ノ感謝セザル可ラザル所ハ、我國、憲法制定ノ由來ニシテ、幾多歐洲諸國ニ於テ、近クハ土耳其、露西亞ノ如キ、憲法ヲ得ンガ爲ニハ、數萬ノ生靈ヲ犧牲ニ供シ、悲風慘雨ノ結果漸クニシテ、此大典ヲ得タルニ反シ、我大日本帝國ニ於テハ、一滴ノ血、一塊ノ肉ヲ棄テザルノミカ、上下一致、和氣靄々タルノ間ニ、明治天皇ノ禁ジ難キ臣民愛撫ノ御軫念ヨリ、此不磨ノ大典ヲ宣セラレシハ、實ニ是レ、世界何レノ國ニ於テモ、其比儔ヲ見ザル所ニシテ、一度、憲法發布ノ詔勅ヲ捧讀シ、思ヲ此處ニ致スモノ、誰カ、恩德ノ廣大、慈愛ノ無邊ナルニ感泣シ、奮

法ノ意義。

ツテ、挺身殉國ノ美心ヲ生ゼザルモノアランヤ。

第三章 法

第一節 法ノ性質

同ジク法ナル文字モ、通俗的ニ用ヰラル、場合ニ於テハ、宇宙間萬物ノ、活動ノ定道、順序ト云フガ如キ、意味ヲ有スルモノナレドモ、此ニ云フ法(法律學上、所謂、法)ハ然ラズ。國家ガ、直接、又ハ間接ニ規定セル行爲ノ規則ヲ云フ。國家ハ、直接ニ、統治ノ機關ヲシテ法ヲ制定セシムルト同時ニ、又、間接ニ、慣習ヲ承認シテ、之ニ法タル力ヲ附與スルコト少カラズ。是レ「國家ガ、直接、間接ニ云々」ト云ヒシ所以ナリ。

法ノ必要。

凡テ、人類ハ、社交的動物ナルガ故ニ、互ニ相依リ相扶ケテ、其集團ノ利益ヲ增進センコトヲ希フモノナルハ明カナレドモ、個人ハ、各々、自由ヲ愛欲スルノ念盛ナルヨリ、自已ノ自由利益ノ爲ニハ、動モスレバ、他人ノ利害ヲモ顧ミザルガ如キコトナシトセズ。サレバ、若シ、之ヲ各人ノ意思ノマヽニ放任スル時ハ、遂ニハ、極端ナル自由ヲ主張スルノ餘リ、互ニ相軋リ、相反撥スルニ至ルハ、自然ノ勢ナリ。斯クスル時ハ、自由ハ却ツテ不自由、壓迫、迫害トナリ、一國ノ平和ハ、到底保持スベカラザル結果トナル。此ニ於テカ、國家全體ノ安寧秩序ヲ保持增進センガ爲ニハ、此間ニ、國民ヲシテ遵守セシムベキ一定ノ規則制定ノ必要ヲ見ルベク、此規則コソハ、卽、コヽニ所謂法ニシテ、一國家ニ於テ法ノ必要ナル此理ニヨツテ明ナラン。

法ノ强制及制裁。

法ノ必要、ソレ斯ノ如シ。カルガ故ニ、此法ガ、一旦制定セラレタル時ハ、國民ヲシテ、必ラズ、之ヲ遵守セシメザルベカラズ。國家ハ、國民ニ對シテ、飽ク迄モ、之ヲ强行シ、決シテ、之ガ干犯アルヲ許サズ。若シ、强ヒテ、之ヲ犯スモノアル時ハ、國家ハ相當ノ制裁ヲ加ヘ、之ヲ懲戒セザルベカラズ。

第二節　法ノ分類

法ノ分類。

法ハ、種々ノ標準ニ基キテ、之ヲ分類スルコトヲ得。今、其主ナルモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

成文法及不文法。

(一)成文法及不文法。 此區別ハ、法ノ成立方法ヲ標準トシタルモノニシテ、成文法トハ、文書ヲ以テ發布セラレタル法ヲ云ヒ、今日、官報其他ノ文書ヲ以テ發布セラルヽモノハ、皆、之ニ屬ス。不文法トハ、國家ノ明示又ハ默示ノ認定ニヨリ、法タル效力ヲ得タルモノヲ云フ。學說、判決例、慣習等種

々アレドモ、今日ニ於テハ、主トシテ、慣習ヲ認メ、之ニ法タル效力ヲ與ヘタルモノ、最モ多キヲ占ムルヲ以テ、又一ニ、慣習法トモ稱ス。然レドモ、世運ノ進歩ト共ニ、不文法ハ、漸次減少シ、成文法、之ニ代ルニ至リタリ。

公法及私法。

(二)公法及私法。 公法トハ、國家ト國家、或ハ、國家ト私人間ノ關係ヲ規定シタル法ニシテ、憲法、刑法、行政法、訴訟法ノ如キ、皆、此例タリ。私法トハ、私人相互間ノ關係(但シ權利主體トシテノ國家ト一私人トノ間ノ關係ヲモ含ム)ヲ規定シタル法ニシテ、民法、商法等ハ之ニ屬ス。即、此區別ハ、法ガ如何ナルモノヽ關係ヲ規定セルカノ點ヨリ分タレタルモノナリ。

主法及助法。

(三)主法及助法。 主法ハ、又、實體法トモ稱ス。法律關係ノ本體ヲ規定ス。助法ハ一ニ、手續法トモ名付ケ、主法ヲ實行スル

爲ノ手續ヲ規定セルモノナリ。刑法、民法、行政法、商法ノ如キハ、前者ニ屬シ、民事訴訟法、刑事訴訟法ノ如キハ、後者ニ屬ス。

普通法及特別法。

(四)普通法及特別法。 此區別ノ標準ニ、三アリ。

(イ)處ヲ基トスルモノ。 此標準ニヨリ、區別スル時ハ、全國一般ニ行ハルヽ法ハ、普通法ニシテ、或特別ノ一地方ノミヲ限リテ行ハルヽモノハ、特別法ナリトス。サレバ、憲法、刑法、民法、商法ノ如キハ、普通法ニ屬シ、臺灣總督府令朝鮮總督府令、各府縣令ノ如キハ特別法ニ屬ス。

(ロ)人ヲ基トスルモノ。 人ヲ基トシテ區別スル時ハ、全國一般人ニ對シテ行ハルヽ法ハ、普通法ニシテ、或特別ノ人ノミニ對シテ行ハルヽモノハ特別法ナリ。サレバ、憲法行政法、刑法ノ如キハ、前者ノ例ニシテ、華族世襲財産

強行法及許容法。

法、陸海軍刑法ノ如キハ、後者ノ例タリ。

(ハ)**事項ヲ基トスルモノ。** 此區別ニヨル時ハ、一般ノ事項ニ應用セラルベキモノ、例ヘバ、民法、憲法ノ如キハ、普通法ニシテ、特別ノ事項例ヘバ、商事ノミニ適用セラル、商法、銀行營業ノミニ關シテ適用セラル、銀行法、質屋營業者ニ適用セラル、質屋營業法ノ如キハ、特別法ニ屬ス。サレドモ、此區別ハ、時ニ比較的ノモノトナリ、商法ノ如キモ、一般ニ云フ時ハ、特別法ナレドモ、質屋營業法、銀行法、取引所法等ニ比較スル時ハ、普通法ナリト云ハザルヲ得ズ。

(五)**強行法及許容法。** 強行法ハ、又、之ヲ命令法、禁止法ノ二トスルコトヲ得。命令法ハ、或行爲ヲ強制シ、禁止法ハ不行爲ヲ強制スル法ニシテ、何レモ、個人ノ意思如何ニ拘ハラズ、

國內法及國際法。

法律及命令。
(1)勅令
(2)閣令
(3)省令
(4)朝鮮總督府令
(5)臺灣總督府令
(6)關東都督府

其要求ヲ強制スル法ナリ。許容法トハ、或一定ノ法律關係ヲ定メ、人ガ、其適用ヲ受クベキ範圍內ニ入ルト否トハ、其自由ニ任ズレドモ、一旦、其適用ヲ受クベキ範圍內ニ入リタル時ハ、必ズ、其法ノ支配ヲ受ケザルベカラザル性質ノモノタリ。公法ハ、多ク強行法ニ屬シ、私法ハ、多ク許容法ニ屬ス。

(六)**國內法及國際法。** 國內法ハ、又、單ニ、國法ト稱ス。一國內ニ於テ行ハル、法ニシテ、憲法、行政法等、皆之ニ屬ス。次ニ、一國家ト他國家トノ間ニ行ハル、法ヲ、國際法ト名付ケ、之ヲ細別シテ、國際公法、國際私法ノ二トス。

(七)**法律及命令。** 法ハ、以上列擧シタルモノ、外、國內法ヲ、其制定ノ形式ノ如何ニヨリ、法律、及、命令ノ二トス。法律トハ、帝國議會ノ協贊ヲ經テ法律ト云フ名ヲ付シテ、制定發布

命令ノ種類
- (甲) 形式上ノ區別
  - (7) 令
  - 樺太廳令
  - (8) 北海道廳令
  - (9) 警視廳令
  - (10) 府縣令
  - (11) 郡令
  - (12) 島廳令
  - (3) 支廳令
  - (14) 市町村令
    - (イ) 條令
    - (ロ) 規則
- (乙) 實質上ノ區別
  - (1) 緊急命令
  - (2) 執行命令
  - (3) 委任命令
  - (4) 獨立命令

憲法ノ制定並公布。

憲法トハ國家ノ統治組織ニ關スル法規ヲ總稱セルモノニシテ此法ハ凡テノ法律、及、命令ヲ制定發布セシムル力ヲ有スル根本法ナリ。

法律ノ制定並公布。

セラレタル法ヲ云ヒ、命令トハ天皇ガ帝國議會ノ協贊ヲ經ズシテ發シ、又ハ發セシメラルル、法規ヲ云フ。而シテ、命令ハ、又之ヲ幾多ノモノニ區別スルコトヲ得。(欄外表對照)

第三節　法ノ制定並公布(但、國內法)

(一) **第一。憲法ノ制定並公布。** 憲法ノ制定、並ニ公布ニツキテハ、既ニ、我國ノ政體ヲ論ズルニ當リ、悉シク說明シタル所ナレバ、今更ニ、是ヲ贅セズ。

(二) **第二。法律ノ制定並公布。** 立法トハ、嚴正ナル意義ヲ有スル法律ヲ制定スルノ意ニシテ、立法權ハ、天皇之ヲ行使セラル。而シテ、之ガ制定ニ當ツテハ、必ラズ、帝國議會ノ協贊ヲ經ザルベカラザルハ、憲法ノ明記セル所ニシテ、即、法律ハ、

法律案ノ提出

豫算案ハ、必ラズ、先ヅ、衆議院ニ提出セザルベカラズ(憲、六五)

法律案ノ議定。議院法、二七

下ニ述ブル手續ヲ經テ制定セラルル、モノトス。

(一) **法律案ノ提出。** 法律案トハ、法律ノ議案ニシテ、之ガ提出ハ政府、貴族院及、衆議院ノ三者ガ、帝國議會ニ對シテナスベキモノナリ。其提出ハ、先ヅ、貴族院ニ對シテナスモ、將タ、先ヅ、衆議院ニ對シテナスモ可ナリ。各議院ハ、法律案ヲ提出スルコトヲ得レドモ、各院議員ハ、法律案ノ提出權ナク、只、法案ノ發議ヲナシ得ルノミ。即、各議員ハ、或議案ヲ議題トナシ、此議案ニシテ議事ニ付セラレ、一院ニテ多數可決シ、之ヲ他院ニ回送シタル時、コヽニ、始メテ、提出アリタリト稱スルヲ得ベシ。

(二) **律法案ノ議定。** 斯クシテ提出セラレタル法律案ハ、各議院ニ於テ討議シ、三讀會ヲ經テ其可否ヲ決スベキモノトス。兩院ニ於テ一致可決シタル時ハ、最後ニ議決シ

タル議院ノ議長ハ、之ヲ奏上シテ天皇ノ裁可ヲ奏請ス。

但シ、凡テ議事ヲ開始スルニ當ツテハ、各院ニ於テ、其總議員ノ三分ノ一以上ノ出席アルニアラザレバ、之ヲナスコトヲ得ズ。又、其議事ハ、出席議員ノ過半數ヲ以テ決スベキモノナリ。

憲、四六、二　憲、四七、

法律案ノ裁可。

(三)法律案ノ裁可。以上ノ如クシテ、奏上シタル法律案ニ對シテハ、天皇、若シ、將來ニ於テ、法律タラシメントセラルヽ時ハ之ヲ裁可シ給フ。裁可トハ天皇親ラ、法律案ヲ、法律トナサントノ意思ヲ、表示セラルヽ形式ニシテ、其表示方法トシテハ、天皇、御名ヲ親署シ給ヒ、内大臣、御璽ヲ鈐シ、國務大臣、之ニ副署ス。

以上ノ如クシテ、法律ハ制定セラルヽト雖、其效力ヲ生ズル爲ニハ、尚、第四ノ手續ヲ經ザルベカラズ。

法律ノ公布。

(四)法律ノ公布。裁可セラレタル法律ハ、之ヲ人民ニ周知セシムルニヨリ、始メテ、其效力ヲ生ズ。其周知セシムル方法ハ卽、公布ナリ昔時ハ、公布ナクシテ行ハレタル法律ナキニアラザレドモ、今日ハ、公布セラレザル法律ハ、效力ナキモノトシ、人民モ亦、カヽル法律ニ拘束セラルヽコトナシ。而シテ、其公布ハ、官報ヲ以テ之ヲナス。

命令ノ制定幷公布。

第三。命令ノ制定並公布。命令ノ制定ニ關シテハ、命令ノ種類ノ異ナルニ從ヒ、各々其方法ヲ異ニシ、一般ニ論ジ難シ。例ヘバ、勅令ノ如キハ、天皇親ラ、其行政大權ニ基キテ制定シ給ヒ、官報ヲ以テ公布セラレ、閣令以下諸般ノ命令ハ、内閣總理大臣、以下、各々、其發令權ヲ委任セラレタル機關ガ之ヲ制定シ、官報載錄其他ノ方法ヲ以テ、之ヲ公布スルモノトス。

法ノ效力。

時ニ關スル法ノ効力。

法例、一、公式令、一〇、

第四節　法ノ效力

法ハ如何ナル時如何ナル處ニ於テ、如何ナル人ニ適用セラルベキカニツキ、攻究スルノ必要アリ。

第一。時ニ關スル法ノ效力。 凡テ、法ハ、公布ノ日ヨリ一定ノ時日ヲ經タル後、人民ニ對シ、之ヲ遵守セシムルノ効力ヲ生ズベキヲ普通トシ、此時日ヲ施行期限ト稱ス。施行期限ニハ、公布ノ日ヨリ滿二十日ヲ經テ、遵守ノ効力ヲ生ズル普通施行期限ト、公布ノ日ヨリ施行シ、或ハ法令ニ、特ニ、施行ノ期日ヲ定メタル特別施行期限トノ別アリ。

法ノ廢止期日ニ關シテハ、明文ヲ以テ之ヲ定メタル時ハ、元ヨリ說明ヲ要セザル所ナレドモ、此定ナキ時ハ、其効力ハ、永久ニ存續スベキ性質ノモノニシテ若シ、此ト抵觸スル新法ガ効力ヲ生ズル時ハ、其抵觸シタル部分ニ於テ、舊法ハ其時ヨリ効力ヲ失ヒ、新法之ニ代ル。法律學上「新法ハ舊法ニ勝ツ」ト云フハ、蓋シ此意ナリ。

次ニ、時ニ關スル法ノ効力ニ關シ「法ハ既往ニ遡ラズ」ト云フ有名ナル格言アリ。其意ハ、法ハ實施セラレタル以後ニ於テ發生セル事項ニノミ適用セラレ、實施以前ニ、發生セル事項ニ、適用セラルヽモノニアラズトノ義ニシテ、是レ、若シ、新ナル法ヲ以テ、其實施以前ニ生ジタル事項ヲモ支配シ得ルモノトセバ、時ニ、昨是今非ノ惡政ヲ見ルコトナキニアラザルヲ以テナリ。

人ニ關スル法ノ効力。

第二。人ニ關スル法ノ效力。 或一國ニ於テ定メラレタル法ハ、其發セラレタル國ノ領土内ニアル凡テノ人民ヲ支配シ、其國領土以外ニアル人ニ對シテハ、假ヒ、國籍ハ本國人ナリト云フトモ、之ニ效力ヲ及ボサヾルヲ原則トス。サレ

治外法權。

或人ガ、他國ノ領土内ニアルニモ拘ハラズ、其在留國ノ國權ニ服從スルノ義務ヲ免ルルハ、國際法上ノ權利ナリ。

ドモ、之ニハ多少ノ例外アルヲ免レズ。

(甲)本國内ニアリテ、其國法ノ効力ノ及バザルモノ。

(一)特別法ハ、或一地方人民若クハ或種類ノ人民ニノミ、適用セラル。

(二)法ハ主權者ニ對シテハ、其効力ヲ及ボサズ。　主權者ハ國家ノ最高權ヲ有スルモノナレバ、若シ之ニ法ノ効力ヲ及ボスベキモノトスレバ、如何ニシテ其尊嚴ヲ保持センヤ。殊ニ、主權者ハ法ヲ制定シ法ノ上ニ卓出スルモノナレバ、從ツテ其法ノ適用ヲ受クルコトナキハ、正ニ理ノ當然ナリ。

(三)國際法上、治外法權ヲ有スルモノハ、例ヘバ外國ノ君主、大統領、皇族、使臣、隨員、及其家族、幷ニ軍隊ノ如シ。

(乙)本國人ガ外國ニアリテ、仍其本國法ニ支配セラルヽ場

(領事裁判權ト區別スベシ)

法例一三、一三、一四、一五、一九、二一、二三、等

處ニ關スル法ノ効力。

合。

(一)人ハ身分、及能力ハ本國法ニ從フ。

(二)憲法上ノ國民ノ義務ハ本國法ニ從フ。

(三)國際法上、治外法權ヲ有スルモノハ、(條約ニヨリ、領事裁判權ノ行ハルヽ國ニ在住スル本國民ヲモ含ム。)

第三。處ニ關スル法ノ効力。　近世進歩セル國家ニアリテハ、悉ク屬地法ヲ主義トシ、法ハ、人ニヨリテ異ニセズ、國ニヨリテ、之ヲ異ニスルガ故ニ、或一國ニ於テ定メラレタル法ハ、其國ノ領土全般ニ及ビ、領土以外ニ及バズ。然レドモ、是レ原則ニシテ、亦、多少ノ例外ナシトセズ。

(甲)本國領土内ニアリテ、本國法ノ及バザル所。

(一)處ヲ基トスル特別法ハ、或特別地方ニノミ行ハレ、其他ニ行ハレズ。

權利ノ意義。

(二)領海内ニアル他國ノ軍艦内。

(乙)本國領土以外ニアリテ本國法ノ及ブ所。

(一)治外法權ノ結果トシテ在外本國使館内及條約ニヨリ領事裁判權ノ認メラレタル他國ノ領土。

(二)公海ニアル自國ノ軍艦幷船舶内。

第四章 權利及義務

第一節 權利ノ意義及種類

權利ノ意義ニツキテハ諸説紛々一致スル所ヲ知ラズト雖最モ簡單ニシテ且正當ナリト信ズルモノヲ擧グレバ權利トハ法ノ保護ニヨリテ各人ノ享有シ得ル利益ナリ。人類ハ其生存目的ヲ達センガ爲種々ノ欲望ヲ有スベク其欲望ヲ滿足セシムルハ人類ノ利益ニ相違ナカルベシ。然レドモ凡ソ法律ナキ所謂弱肉强食ノ世ニアリテハ弱者ハ强者ノ爲ニ壓セラレ到底其利益ヲ享受スルヲ得ザルベク已ノ享受セントスル利益ヲ主張シ得ルハ法ノ保護アッテ後始メテ之ヲヨクスベシ。由是觀之權利ハ實ニ法ノ保護ト終始シ法ノ保護アッテコソ利益モ權利ト稱スルヲ得ベク法ノ保護ナクシテ權利存在スベキ理ナシ。故ニ曰ク權利ハ法ノ保護ニヨリテ各人ノ享有シ得ル利益ナリト。

權利ノ分類。

公權。

私權。

權利ハ之ヲ分ッテ公權及私權ノ二トス。人ガ公法關係ニ於テ有スル權利詳言スレバ私人ガ國家ニ對シテ有スル權利ハ公權ニシテ人ガ私法關係ニ於テ有スル權利詳言スレバ私人相互間ニ於テ有スル權利ハ私權タリ。公權ハ更ニ之ヲ細別シテ請求權自由權參政權ノ三トス。各人ガ國家ニ對シ或事件ニツキ國權ノ發動ヲ請求シ得ルハ請求權ニシテ各

權利ノ取得。

人ガ國家ニ對シ一定ノ範圍內ニ於テ其干涉ヲ受ケザルコトヲ得ルハ自由權各人ガ國家ノ政務ニ參與スルヲ得ルハ卽參政權ナリ。私權モ亦是ヲ種々ニ區別スルコトヲ得ベシ。今其最モ主要ナルモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

(一)人身權。人ガ人タルノ位置ニヨリテ生ズル權利ニシテ細別シテ人格權及親族權(又身分權トモ云フ)ノ二トス。

(二)財產權。人ガ物若クハ他人ノ行爲ニツキテ有スル權利ニシテ又細別シテ物權及債權ノ二トス。

第二節 權利ノ得喪及變更

權利ノ取得トハ或一定ノ事實ニヨリ特定ノ權利ガ特定ノ主體(法律上所謂人)ニ連結シタルコトニシテモシ之ヲ權利其モノヨリ見ル時ハ權利ノ發生トナル。サレバ權利ノ發生ト云ヒ權利ノ取得ト云フモ只觀點ノ異ナルノミニシテ事實ニ於テハ一ナリ。權利ノ取得ニモ他人ノ權利ニ關係ナクシテ取得スル場合例ヘバ山川ヲ奔游スル鳥獸魚介等ノ所有權ヲ取得スルガ如キ又ハ出生婚姻養子緣組等ニヨリテ親族權ヲ取得スルガ如キ所謂原始的取得ノ場合ト他人ノ權利ヲ繼承シテ取得スル場合例ヘバ他人ノ物ヲ買得シ或ハ贈與若クハ遺贈ニヨリテ所有權ヲ得ルガ如キ所謂承繼的取得ノ場合トアリ。權利ノ移轉ト云フハ此後ノ場合ナリ。原始的取得ハ又絕對的發生トモナリ承繼的取得ハ又相對的發生トモナル。承繼的取得ニハ有償取得ト無償取得トノ別アリ。是レ權利ヲ得ルニ對價又ハ其他ノ報酬ヲ支拂フヤ否ヤニヨリテ分タレタル區別ナリ。

權利ノ喪失。

權利ノ喪失トハ或權利ガ何等カノ事實ニヨリ或主體ヲ離ルルコトヲ云フ。卽權利其物ヲ中心トシテ觀タル時ハ權利

ノ消滅ナリ。喪失ニモ亦、全ク、主體ヲ離レテ主體ナキニ至ル場合、例ヘバ、遺棄ニヨリテ、所有權ヲ失フガ如キ、絕對的喪失ノ場合ト、或一ノ主體ヲ離レテ、他ノ主體ニ附着スル場合、例ヘバ或物ヲ賣却シテ、其所有權ヲ失フガ如キ、相對的喪失ノ場合トアリ。

權利ノ變更。

權利ノ變更トハ、權利ノ存在ヲ失ヒタルニアラズシテ、只、其內容ノ變更シタルヲ云フ。サレバ所有權變ジテ、賃借權トナリ、質權變ジテ、抵當權トナルガ如キハ、一ノ權利消滅シテ、他ノ權利發生シタル迄ニシテ、權利ノ變更ト云フベカラズ。權利ノ變更ト云フハ、主體ガ增減シ、目的物ノ數量ニ變化ヲ生ジ、或ハ條件附權利ガ、無條件附權利トナリ、期限附權利ガ、無期限附權利トナリタルガ如キノ類ヲ云フ。

第三節　義務

義務ノ意義。

義務トハ、法ガ各人ニ命ズル積極的若クハ消極的ノ拘束ナリ。權利ガ、法ノ保護ニヨリテ、各人ノ享有シ得ル利益ナルコトハ、既ニ述ベタル所ノ如シ。サレバ、人アツテ、權利ヲ主張セントスル時ハ、之ニ對スル一般人、若クハ特定人ハ、必ラズ、進ンデ其人ニ、或利益ヲ供スルカ、然ラズトモ、其利益ノ享受ヲ妨ゲザルノ責任ナカルベカラザルハ、理ノ當然ナリ。シカモ、此責任ハ、法ノ命ズル拘束力アルニアラザレバ、權利者ハ、遂ニ、其利益ヲ充實スルコト能ハザルノ結果ニ陷ルコトナシトセズ。是レ義務ガ、法ノ命ズル拘束力ナリト云ヘル所以ニシテ、其進ンデ、利益ヲ供スルハ、卽、積極的責任ニシテ、利益ノ享受ヲ妨ゲザルハ消極的責任ナリ。

義務ノ種類。

義務ニハ、進デ或事ヲナスベキ積極義務ト、或事ヲナサザルベキ消極義務トノ二種アリ。此他、又、公法上ノ義務、及、私法上

天皇。

憲、四、

ノ義務ノ二ニモ區別スルコトヲ得。公法上ノ義務トハ、吾人ガ、國家ニ對シテ有スル義務ニシテ、私法上ノ義務トハ、民法、商法等、私法上ノ規定ニヨリテ生ズル義務ナリ。

第二部　公法大意

第一章　天皇

天皇ハ、我大日本帝國ノ元首ニシテ、統治權ヲ總攬シ給フコトハ、我憲法第四條ノ明記スル所ナリ。然レドモ、其統治權ヲ總攬シ給フハ、憲法或ハ國民ノ如キ、天皇以外ノモノヽ委任ニヨリテ然セラルヽニアラズ。正ニ、我國體固有ノ本領タリ。サレバ、又、憲法ノ條規ニヨリテ、統治權ヲ行ハセラルト云フモ、是レ御身親ラ、立憲政體ノ實ヲ擧ゲ給フノ御意ニ外ナラ

皇位。

皇位繼承。

憲、一、二、皇室典範、一一九、

皇、典、一〇、一一、賢所トハ、宮中ニ於テ天照太神ヲ祭リ給ヘル所ナリ。

ズシテ、固ヨリ、此規定ニヨリテ、憲法、其他ノ法律上、若クハ行政上、何等責任ヲ負ハセラルヽモノニアラズ。憲法第三條ガ、「天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラズ」ト云フハ、實ニ此意義ナリ。是ニ於テカ、違憲、失政等ニ關シテハ、天皇輔翼ノ任ニアル國務大臣、其責ニ任ゼザルベカラザルコトヽナル。

天皇ノ御位ヲ皇位ト稱シ、皇位ハ、萬世一系ノ皇統ヲ承ケサセ給ヘル男系ノ皇男子孫、皇室典範ノ定ムル所ニヨリ、之ヲ繼承セラルベキモノトス。

皇位ハ、大日本帝國主權ノ所在ナレバ、須臾モ曠闕アルヲ許サズ。皇位ハ、皇室典範ノ定ムル順位ニ從ヒ、一定シタルモノナレバ、皇嗣モ亦、自ラ確定シ、天皇崩御シ給フ時ハ、皇嗣ハ、直ニ皇位ニ登リ給フモノニシテ、此間些ノ空位アルヲ許サズ。之ヲ踐祚ト名ケ、新天皇ハ、祖宗ノ神器ヲ承ケ、且賢所ヲ祭ラ

攝政。

皇室典範一九、天皇、皇太子、皇太孫ハ、滿十八年ヲ以テ成年トス。

皇室典範一三、

皇室典範二〇—二五、

大權。

セラル。而シテ踐祚ハ、之ヲ卽位式ト混同スベカラズ。

天皇未ダ成年ニ達セラレザルカ、又ハ重患、其他久シキニ亘ルノ故障ニヨリ、太政ヲ親ラシ給フコト能ハザル時ハ、皇族會議、又ハ樞密顧問ノ議ヲ經テ、攝政ヲ置ク。攝政ノ順位ハ、皇室典範ノ定ムル所ニヨル。攝政ハ、天皇ノ名ニ於テ大權ヲ行フ。然レドモ、此場合ニ於テモ、大權ノ所屬ハ、依然トシテ天皇ニシテ、攝政ト云ヘドモ、天皇ノ御一身ニ專屬スル特權ハ、之ヲ享受スルコトナシ。

天皇ガ、統治權ノ主體ニマシマスコトハ、既ニ説明セル所ナリ。サレドモ、其統治權ヲ行ハセラルヽニ當リ、躬親ラ執ラセラルヽ、政務ト、他ノ機關ニ委任シテ行ハシメラルヽ、モノトノ二アリ、其親ラ行ハセラルヽ、統治權ヲ、特ニ天皇ノ大權ト稱ス。我憲法上、定メラレタル大權、下ノ如シ。

憲、六、

(一)法律ヲ裁可シ、其公布、及、執行ヲ命ズルノ權。

憲、七、

(二)帝國議會ヲ召集シ、其開會、閉會、停會、及、衆議院ノ解散ヲ命ズルノ權。

憲、八、九、

(三)緊急勅令ヲ發シ、其他、各種ノ命令ヲ發シ、又ハ發セシムルノ權。

憲、一〇、

(四)行政各部ノ官制、及、文武官ノ俸給ヲ定メ、尚、文武官ヲ任免スルノ權。

憲、一一、一二、

(五)陸海軍ヲ統帥シ、其編制、及、常備兵額ヲ定ムルノ權。

憲、一三、

(六)宣戰講和、及、條約ヲ締結スルノ權。

憲、一四、

(七)戒嚴宣告ノ權。

憲、一五、

(八)爵位、勳章、其他ノ榮典ヲ授與スルノ權。

憲、一六、

(九)大赦、特赦、減刑、及、復權ヲ命ズルノ權。

以上ハ、所謂憲法上ノ大權ト稱スルモノニシテ、尚、此外ニ、憲法外ノ大權トシテ、遷都、造爵、造位、國境ノ變更、使節ノ差遣等、

多クノ大權ヲ有セラル。

第二章　臣民

國民。

臣民。

國籍法一、一七、九、等。

國家ノ被治者ヲ國民ト稱シ、君主國ノ國民ヲ臣民ト名付ク。而シテ其臣民タルノ資格ハ、國籍法ノ定ムル所ニヨリ、出生、婚姻、養子緣組、及歸化等ノ事實ニヨリテ之ヲ享受ス。臣民ニハ、皇族、華族、士族、平民ノ四階級アレドモ、士族、及平民ハ、只、其名稱ヲ異ニスルノミニシテ、實際上、何等差異アルコトナシ。

皇子ヨリ皇玄孫ニ至ル迄ヲ、男ヲ、親王、女ヲ、内親王ト申シ、五世以下ハ、男ヲ、王、女ヲ、女王ト申シ奉ル、(皇室典範、三〇、一三二、)

皇族トハ、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃、親王、親王妃、内親王、王、王妃、女王ヲ總稱シ、華族トハ、公、侯、伯、子、男爵ヲ有スルモノ、及其家族ヲ云ヒ、此二階級ニ屬スルモノハ、一般臣民ノ權利、義務以外ニ、特別法ニヨリテ認メラレタル特別ノ權利義務ヲ有ス。

日本臣民ノ公權。

我日本臣民ノ公權ニツキテハ、既ニ第四章ニ於テ略説シタリシガ、今更ニ、憲法ノ條規ニ照シ、之ヲ列擧スレバ、下ノ如シ。

憲、一九、

(一)法令ノ所定ニ從ヒ、文武官ニ任ゼラレ、及其他ノ公務ニ就クコトヲ得。

憲、二二、

(二)法律ノ範圍内ニ於テ、居住、及移轉ノ自由ヲ有ス。

憲、二三、

(三)濫リニ、逮捕、監禁、審問、處罰ヲ受クルコトナシ。

憲、二四、

(四)裁判官ノ裁判ヲ受クルコトヲ得。

憲、二五、

(五)濫リニ住所ニ侵入セラレ、若クハ搜索ヲ受クルコトナシ。

憲、二六、

(六)信書ノ祕密ヲ侵サルヽコトナシ。

憲、二七、

(七)所有權ヲ侵サルヽコトナシ。

憲、二八、

(八)國家ノ安寧秩序ヲ妨ゲズ、臣民ノ義務ニ反セザル限リ、信教ノ自由ヲ有ス。

憲、二九、

(九)法律ノ範圍内ニ於テ、言論著作、印行、集會、及結社ノ自由ヲ

憲、三〇、

有ス。

（十）相當ノ敬禮ヲ守リ、別ニ定ムル方式ニ從ヒ、請願ヲナスコトヲ得。

日本臣民ノ權利、ソレ此ノ如シ。然リト雖、是等ノ權利ハ、決シテ、偶然ニ得ラレタルモノニアラズ。明治二十二年二月十一日ヲ以テ、制定發布セラレタル帝國憲法ハ、實ニ、其因由トモ云フベク、此憲法ノ保障アツテ、始メテ、吾人ノ權利ハ、確實ニ保全セラレタルナリ。彼ノ歐洲諸國ニ於テ、此ノ如キノ憲法ト、此ノ如キノ保障トヲ得ンガ爲、流サレタル血ト、曝サレタル骨ト、實ニ、ソレ果シテ、幾何ナルベキゾ。翻ツテ、我國ノ憲法ハ如何、吾人一度思ヲ此ニ致スノ時、悚然トシテ慄キ、又、油然トシテ歡喜ノ情ニ咽バザルヲ得ザルモノアリ。乞フ、讀者、試ミニ、憲法發布ノ詔勅ヲ奉讀セヨ。盖シ、思ヒ半バニ過グルモ

ノアラン。

憲法發布ノ詔勅ニ宣ハク。

朕國家ノ隆昌ト臣民ノ慶福トヲ以テ中心ノ欣榮トシ朕ガ祖宗ニ承クルノ大權ニ依リ現在及將來ノ臣民ニ對シ此ノ不磨ノ大典ヲ宣布ス

（中畧）

朕祖宗ノ遺烈ヲ承ケ萬世一系ノ帝位ヲ踐ミ朕カ親愛スル所ノ臣民ハ即チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シタマヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ其康福ヲ增進シ其懿德良能ヲ發達セシメンコトヲ願ヒ又其翼贊ニ依リ與ニ俱ニ國家ノ進運ヲ扶持センコトヲ望ミ乃チ明治十四年十三月ノ詔命ヲ履踐シ茲ニ大憲ヲ制定シ朕カ率由スル所ヲ示シ朕ガ後嗣及臣民及臣民ノ子孫タルモノヲシテ永遠ニ循行スル所

日本臣民ノ公義務。
憲、二〇、
憲、二一、

ヲ知ラシム(下畧)

我等臣民ハ、忝ナクモ、陛下ノ親愛シ給フ臣民ナリ。其臣民ノ慶福ハ、實ニ、陛下中心ノ欣榮トセラルヽ所ニシテ、其康福ヲ增進シ、懿德良能ヲ發達セシメンガ爲ニ、此不磨ノ大典ヲ下シ給ヒ、以テ、我等ノ「權利、及、財產ヲ貴重シ、及之ヲ保護」セサセ給ヒシナリ。カヽル大御心ノ發シテ、憲法トナリ、延イテハ、吾人臣民ノ權利享有トナル。一刃ニ釁ラズ、一兵ヲ動カサズ、此恩典ニ被浴スルコトヲ得タル、豈復何ゾ怪ムヲ要センヤ。此鴻恩ヲ思フノ時、誰カ、勇ンデ國難ニ趨キ、身ヲ君國ニ殉ゼザルモノアラン。

日本臣民ノ憲法上ノ義務ハ、兵役ノ義務、及、納稅ノ義務ノ二トス。日本臣民タル男子ハ、年齡滿十七歲ニ至レバ、悉ク兵役ニ服スルノ義務ヲ有ス。此制度ヲ稱シテ國民皆兵ト云フ。

第三章　統治機關

國家統治ノ機關ニ三アリ。曰ク、帝國議會、曰ク、政府、曰ク、裁判所是ナリ。

第一節　帝國議會

帝國議會。

帝國議會ハ、立法權ニ參與スル機關ニシテ、貴族院、衆議院ノ二ヨリ成リ、各院ノ意思ハ、未ダ以テ、直チニ議會ノ意思ナリト云フヲ得ズ。兩院ノ意思一致シテ始メテ議會ノ意思ト云フヲ得ベシ。

貴族院。
貴族院令、一、
貴族院令、二、

貴族院ハ、貴族院議員ヨリ成ル。貴族院議員ニハ下ノ五種アリ。

(一)皇族議員。皇族ノ男子ニシテ、成年ニ達シタルモノヲ以テシ、任期ハ終身トス。

貴族院令、三、

貴族院令、四、

貴族院令、五、

貴族院令、六、

衆議院。

(二)公侯爵議員。 公侯爵ヲ有スル男子ニシテ、年齢滿二十五年以上ノモノヲ以テシ、任期ハ、亦、終身トス。

(三)伯子男爵議員。 伯子男爵ヲ有シ、年齢滿二十五年以上ノモノニシテ、同爵中ヨリ互選決定シタルモノトシ、任期ハ七ケ年トス。

(四)勅選議員。 國家ニ勳勞アリ、又ハ學識アル男子ニシテ、年齢滿三十年以上ニ達シ、勅任セラレタルモノヲ以テシ、任期ハ終身トス。

(五)多額納税議員。 各府縣ニ於テ、年齢滿三十年以上ノ男子ニシテ、土地、又ハ商工業ニ關シ、多額ノ直接國税ヲ納ムル者十五人中ヨリ互選決定シ、且、勅任セラレタルモノヲ以テシ、任期ヲ七ケ年トス。

次ニ、衆議院ハ、帝國臣民タル男子ニシテ、衆議院議員選擧法

衆議院議員選擧法八、選擧人名簿

[illegible]税、雜種税ノ四種トシ、直接市[illegible]

ノ定ムル所ニヨリ、選擧權ヲ有スルモノヨリ選出セラレタ[illegible]被選擧權者ノ資[illegible]年以上ノモノ。[illegible]選擧區内ニ住所[illegible]拾圓以上、又ハ滿[illegible]若クハ、地租ト其[illegible]メ、仍、引續キ納ム[illegible]者ハ、以上ノ資格[illegible]……年齢滿三十年以上ノ男子ニシテ、衆議院議員選擧法ニヨリ、特ニ、議員タルコトヲ禁ゼラレタルモ

改正衆議院議員選擧法

選擧區ハ衆議院議員選擧法第一條及別表參照

(二)選擧人名簿調製ノ期日迄引續キ滿六箇月以上同一選擧區内ニ住所ヲ有スル者

(三)選擧人名簿調製ノ期日迄引續キ滿一年以上直接國税三圓以上ヲ納ムル者

貴族院令、三
貴族院令、四
貴族院令、五
貴族院令、六
衆議院。

(二)公侯爵議員。公侯爵ヲ有スル男子ニシテ、年齢滿二十五年以上ノモノヲ以テシ、任期ハ、亦、終身トス。

(三)伯子男爵議員。伯子男爵ヲ有シ、年齢滿二十五年以上ノモノニシテ、同爵中ヨリ互選決定シタルモノトシ、任期ハ七ケ年トス。

(四)勅選議員。國家ニ勳勞アリ、又ハ學識アル男子ニシテ、年齢滿三十年以上ニ達シ、勅任セラレタルモノヲ以テシ、任期ハ終身トス。

(五)多額納税議員。各府縣ニ於テ、年齢滿三十年以上ノ男子ニシテ、土地、又ハ商工業ニ關シ、多額ノ直接國税ヲ納ムル者十五人中ヨリ互選決定シ、且、勅任セラレタルモノヲ以テシ、任期ヲ七ケ年トス。

次ニ、衆議院ハ、帝國臣民タル男子ニシテ、衆議院議員選擧法

衆議院議員選擧法、八、選擧人名簿調製期日ハ、町村ニ於テハ、毎年、十月十五日、市ニ於テハ、毎年十月三十一日迄トス。（衆、議、選、法、一八）選擧區ハ、國ノ最小行政區劃トス。（衆、議、選、法、二）此ニ云フ直接國税ノ種類ハ、地租、所得税、營業税、賣藥營業税ノ四種トス。（衆、議、選、法施行令、三三）直接府縣税ノ種類ハ、戸數割、家屋税、營業税、雜種税ノ四種トシ、直接市

ノ定ムル所ニヨリ、選擧權ヲ有スルモノヨリ選出セラレタル議員ヲ以テ組織セラル。今其選擧權者、及被選擧權者ノ資格ヲ擧グレバ、下ノ如シ。

(一)帝國臣民タル男子ニシテ、年齢滿二十五年以上ノモノ。

(二)選擧人名簿調製期日前滿一ケ年以上其選擧區內ニ住所ヲ有シ、仍引續キ有スルモノ。

(三)選擧人名簿調製期日前滿一年以上、地租拾圓以上、又ハ滿二年以上、地租以外ノ直接國税拾圓以上、若クハ、地租ト其他ノ直接國税トヲ通ジテ、拾圓以上ヲ納メ、仍引續キ納ムル者。

以上ハ、選擧權者ノ資格ナレドモ、被選擧權者ハ、以上ノ資格ヲ具フルヲ要セズ。只年齢滿三十年以上ノ男子ニシテ、衆議院議員選擧法ニヨリ、特ニ、議員タルコトヲ禁ゼラレタルモ

選擧權ニ關スル例外

一、禁治産者及ビ準禁治産者
二、破産ノ宣告ヲ受ケ未ダ責務ヲ済シ終ラザルモノ
三、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノ
四、六年未満ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
五、陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者又ハ戰時其他ノ事變ニ際シ召集中ニアルモノ
六、官立公立私立學校ノ學生生徒
七、華族ノ戸主

被選擧權ニ關スル例外

一、選擧權ニ關スル例外トシテ列擧シタルモノ
二、神官、神職、僧侶其他諸宗教師、小學校教員
三、裁判官、判事、檢事、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計檢査官、收稅官
四、警察官

貴族院令、三、
貴族院令、四、
貴族院令、五、
貴族院令、六、
衆議院。

(二)公侯爵議員。公侯爵
年以上ノモノヲ以テ
(三)伯子男爵議員。伯子
モノニシテ、同爵中ヨ
七ケ年トス。
(四)勅選議員。國家ニ勅
齡滿三十年以上ニ達
期ハ終身トス。
(五)多額納稅議員。各府
ニシテ、土地、又ハ商工
者十五人中ヨリ互選
テシ任期ヲ七ケ年ト
次ニ、衆議院ハ、帝國臣民

衆議院議員選擧法、八、選擧人名簿調製期日ハ、町村ニ於テハ毎年、十月十五日、市ニ於テハ毎年十月三十一日迄トス。（衆、議、選、法、一、八）

選擧區ハ、國ノ最小行政區劃トス（衆、議、選、法、二）

此ニ云フ直接國稅ノ種類ハ、地租、所得稅、營業稅、賣藥營業稅、ノ四種トス。（衆、議、選、法施行令、三三）

直接府縣稅ノ種類ハ、戸數割、家屋稅、營業稅、雜種稅ノ四種トシ、直接市

ノ定ムル所ニヨリ、選擧
ル議員ヲ以テ組織セラ
格ヲ擧グレバ、下ノ如シ
(一)帝國臣民タル男子ニ
(二)選擧人名簿調製期日
ヲ有シ、仍引續キ有ス
(三)選擧人名簿調製期日
二年以上、地租以外ノ
他ノ直接國稅ヲ通
ル者。」
以上ハ、選擧權者ノ資格
ヲ具フルヲ要セズ。只年
院議員選擧法ニヨリ、特

町村稅ハ、直接國稅府縣稅附加稅及段別割ノ二種トス（衆、議、選、法、一一、一一七）

職權。

憲、三八、

ノ、外ハ、悉ク、被選擧權ヲ有スルモノトス。

帝國議會ノ職權ニハ、種々アレドモ、其主ナルモノヲ擧グレバ、

(一)協贊ヲナスノ權。

(二)承諾ヲナスノ權。

此二者ハ、共ニ議會ガ、或事項ニ關シ議定ヲナスノ權ニシテ、實質上異ナル所ナシト雖モ、協贊ト云フハ、法律案、豫算案ニ對スル議定、卽、事前ノ議定ニノミ用キラレ、承諾ナル文字ハ決算案、緊急勅令ニ對スル議定、卽、事後ノ議定ニノミ用キラル。

(三)以上二者ノ外、各議院、獨立シテ有スル職權アリ。

(イ)法律案提出ノ權。 兩議院ハ、各々、法律案ヲ帝國議會ニ提出スルコトヲ得。

憲、四九、議院法、五一、

憲、四〇、議院法、五二、

憲、五〇、議院法、六二、一七一、

帝國議會ノ召集。

憲、四一、一四三、

帝國議會ノ開會。

憲、七、

(ロ)上奏ヲナスノ權。 兩議院ハ、過去ノ事實ニ關シ、各々、決定シタル意思ヲ、議長ヨリ天皇ニ以聞スルコトヲ得。

(ハ)建議ヲナスノ權。 兩議院ハ、將來ノ事實ニ關シ、各々、決意ヲ政府ニ陳ブルコトヲ得。

(ニ)請願ヲ受理スルノ權。 兩議院ハ、人民ノ請願ニシテ、憲法、及議院法ニ定ムル規定ニ反セザル限リ、之ヲ受理スルコトヲ得。尙機宜ニヨリ、之ヲ政府ニ轉送スルコトヲ得。

帝國議會ハ、每年、之ヲ召集ス。會期ハ、普通三ケ月トシ、常會ノ外、臨時緊急ノ必要アル場合ニハ、臨時會ヲ召集セラルヽコトアリ。此會期ハ、別ニ、勅令ヲ以テ、之ヲ定メラル。斯クシテ、召集セラレタル議會ハ、開會ノ命ニヨリテ、成立ヲ認メラレ、其職權ヲ行使スルコトヲ得。

帝國議會ノ停會及休會。憲、七、議院法、三三。

勅命ヲ以テ、議會ニ對シ、一時、議事ノ進行ヲ停止セシメラルヽコトアリ、之ヲ停會ト云フ。(議院、自ラ、一時、議事ノ進行ヲ休止スルコトアレドモ、是ハ停會ト云ハズシテ、休會ト云フ。)

帝國議會ノ閉會。憲、七、議院法、三六。

會期終了スル時ハ、勅令ヲ以テ、議會ヲ閉會セラル。

解散。憲、四四、憲、七、憲、四四、第二項。

以上、召集、開會、停會、閉會等ハ、兩院同時ニ、之ヲ行ヘドモ、衆議院ニ限リ、解散ト稱スルコトアリ。解散トハ、任期ニ先チテ、衆議院議員全部ノ職ヲ解クヲ云フ。衆議院解散セラレタル時ハ、新タニ議員選擧セラレ、會議ノ開カルヽ迄ハ、貴族院ハ、停會ヲ命ゼラル。

議事。憲、四六、憲、四七、

兩議院ハ、各々、總議員ノ三分ノ一以上ノ出席者アル場合ニ於テ、始メテ、議事ヲ開キ、決議ヲナスコトヲ得。其可否ハ、出席議員ノ過半數ヲ以テ決ス。若シ、可否、相半バスル時ハ、議長ハ、職權ヲ以テ、之ヲ決スベキモノトス。

第二節　政府

政府ノ意義。

政府トハ、天皇輔弼ノ責ニ任ズル國務大臣、及、天皇ノ諮詢ニ應ズル樞密顧問ヲ併セ稱シタル語ニシテ、決シテ、各省大臣ヲ以テ組織セラレタル最高行政官廳ト同一ノモノニアラズ。

國務大臣。憲、五五、

國務大臣ハ、天皇輔弼ノ爲ニ設ケラレタル機關ニシテ、內閣ヲ組織ス。國務各大臣ガ、法律、勅令、其他、國務ニ關スル詔勅ニ副署ヲナスハ、其責任ノ歸スル所ヲ明ニシタルモノナリ。

各省大臣ト國務大臣。

世人動モスレバ、各省大臣ト、國務大臣トヲ混同スルモノアレドモ、各省大臣ハ、行政各部ノ長官ニシテ、獨任制ノ行政官廳ナルニ反シ、國務大臣ハ、天皇輔弼ノ機關ニシテ、內閣ナル合議體ヲ組織シ、其職責、全ク、相異レリ。只、現時、國務大臣ハ、多ク、各省大臣ニ於テ之ヲ兼ネタルニ過ギズ。

樞密顧問。憲、五六、

裁判所。憲、五七、

樞密顧問ハ、天皇ノ諮詢ニ應ヘ、重要ノ國務ヲ審議スル爲ニ設ケラレタル機關ニシテ、樞密院官制ノ定ムル所ニ從ヒ、相會シテ、樞密院ヲ組織ス。其權限ハ、天皇ノ諮詢ニ應ジテ、其意見卽決議ヲ奏上スルノミニシテ、諮詢ナキニ、進ンデ意見ヲ上奏シ得ルモノニアラズ。

第三節　裁判所

裁判所ハ、司法權ヲ行使スル機關ニシテ、其組織、權限等ハ、專ラ、法律ノ定ムル所ニヨル。裁判所ガ司法權ヲ行フハ、凡テ、天皇ノ名ニ於テス。其詳細ニ至リテハ、次章、統治作用ヲ論ズル時ニ讓ラン。

第四章　統治作用

第一節　立法

立法。憲、五、

司法。

民事トハ、私人相互間ノ私法關係ヲ云ヒ、刑事トハ、國家ニ對スル犯罪行爲ヲ云フ。

立法トハ、法律ヲ制定スルノ義ニシテ、立法權ハ、勿論、天皇ニ屬スル所ナレドモ、天皇ノ此大權ヲ行使セラルヽニ當リテ、帝國議會ノ協贊ヲ經給フベキコト、及其制定ニハ、如何ナル手續ヲ要スベキカハ、第三章、第三節ニ於テ說明シタル所ナレバ、此ニハ是ヲ畧ス。

第二節　司法

民事及刑事ニ關シテ、法規ヲ維持シ、其適用ヲ定ムルコトヲ以テ目的トスル國家ノ行爲ヲ名ケテ、司法ト云フ。換言スレバ、民事、及、刑事ノ訴訟ヲ裁判スル行爲ニシテ、民事訴訟ニ對スルモノト、刑事訴訟ニ對スルモノトアリ。而シテ、司法權ハ、何レモ、皆、天皇ニ屬シ、裁判所ガ天皇ノ名ニ於テ、法律ニヨリ、之ヲ行フモノナルコトハ、既ニ述ベタル所ナリ。

第一欵　裁判所

通常裁判所。

特別裁判所。

裁判所ハ、反復説明セルガ如ク、天皇ノ名ニ於テ、司法權ヲ掌ル國家ノ機關ニシテ、通常裁判所、特別裁判所ノ別アリ。

通常裁判所ハ、更ニ之ヲ分チテ四種トスベシ。區裁判所、地方裁判所、控訴院、及、大審院コレナリ。區裁判所ハ、最下級裁判所ニシテ單獨制裁判所タリ。地方裁判所ハ、區裁判所ノ上級裁判所ニシテ、控訴院、大審院ノ下級裁判所タリ。又控訴院ハ、地方裁判所、區裁判所ノ上級裁判所ニシテ、大審院ニ對シテハ下級裁判所タリ。大審院ハ、最上級裁判所ナリ。區裁判所ヲ除クノ外ハ、悉ク、合議制裁判所ニシテ、三名以上、一定數ノ判事ヲ以テ成ル。而シテ、上級裁判所ハ、下級裁判所ノナシタル判決ヲ審査シ、之ヲ破毀シ、又ハ、變更スルコトヲ得ルノ權限ヲ有ス。

特別裁判所ハ、軍法會議、及領事裁判等ニシテ、法律ヲ以テ特ニ其權限ニ屬セシメタル民事、及刑事訴訟ヲ裁判スベキモノトス。

裁判官。

廣義ニ於テ裁判官ト云フ時ハ、判事ハ勿論、檢事、裁判所書記等モ之ヲ含ム。憲、五八、

裁判所職員。

裁判所ノ構成ニ關シテハ、法律ヲ以テ之ヲ定メ、其裁判事務ヲ行フ爲ニハ、一定ノ官吏ヲ必要トス。之ヲ裁判官ト云フ。判事ハ即、是ナリ。裁判官ハ、凡テ憲法上ノ保障ヲ受クルガ故ニ、刑法ノ宣告、懲戒處分ニ由ルノ外、本人ノ意思ニ反シテ、轉官、免官等ノ處分ヲ受クルコトナシ。

裁判所ヲ組織スル職員ニハ、判事ノ外、尚、檢事、書記、執達吏等アリテ、是等ノモノヲ總稱シテ、裁判所職員ト云フ。而シテ、判事ハ、主トシテ、裁判ヲ司リ、檢事ハ、檢事局ニ勤務シ、主トシテ、刑事訴訟ニ干與シ、國家ヲ代表シテ原告トナリ、公訴ヲ提起ス。次ニ、書記ハ、訴訟記錄ヲ司リ、執達吏ハ書類ノ送達、及强制執行ノ實施ヲ掌ル。

審理。

訴訟事件ノ審理ハ、凡テ、口頭辯論ニヨリ、之ヲ公開スルヲ原則トス。

上訴。

裁判ハ、必ラズシモ、誤謬ナシトセズ。サレバ、裁判所ノ判決ニ對シテ、不服アリタル時ハ、更ニ、其上級裁判所ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得、之ヲ上訴ト稱ス。第一審裁判所ノ判決ニ對スル不服ヲ、第二審裁判所ニ上訴スルヲ控訴ト云ヒ、第二審判決ニ對スル不服ヲ、第三審裁判所ニ申立ツル時ハ、之ヲ上告ト云フ。裁判ハ、不服ヲ申立ツルコトヲ得ザルニ至ツテ、確定ス。

辯護士。證人。

辯護士ハ、訴訟當事者ノ委任ニヨリ、或ハ官命ニヨリ、訴訟當事者ノ代理人トナリ、或ハ其辯護人トナル職務ヲ有ス。公證人ハ、人民ノ囑託ヲ受ケテ、公正證書ヲ作成スル職務ヲ有ス。公正證書ハ、法廷ニ於テ、完全ナル證據トナル。

第二款　刑事訴訟

刑事訴訟。

國家ノ安寧秩序ヲ妨害シ、又ハ妨害セントスル虞アル行爲、卽、所謂犯罪ヲ處罰スルコトヲ目的トスル裁判所ノ手續ヲ、刑事訴訟ト云フ。

刑法、四三、

國家ハ必ラズシモ、犯罪人ガ、其犯罪目的ヲ遂行シタル場合ヲノミ罰セズ。時ニ、未ダ、只其犯罪行爲ニ着手セルノミニシテ、其目的ヲ遂行シ得ザル場合ヲモ、罰スルコトナキニアラズ。是レ未遂罪ナルモノヽ存スル所以ナリ。未遂罪ハ、其刑ヲ輕減スルヲ原則トス。然レドモ、犯罪人自身ノ意思ニヨリ、犯罪ヲ中止シタル、所謂中止犯ハ、未遂罪ノ一種タルニ相違ナキモ、或ハ、全ク、其刑ヲ免除スルコトナキニアラズ。

公訴。

裁判所ハ、如何ナル場合ト雖、自ラ進ンデ裁判ヲナスコトナク、必ラズ、訴ヲ待ツテ、初メテ、之ヲ行フモノニシテ、刑事訴訟

豫審。

刑事訴訟法、六一、

公判。

民事訴訟。

ノ場合ニハ、公訴ヲ待ツテ之ヲナス。公訴トハ、檢事ガ、國家ヲ代表シテ、原告トナリ、犯罪人ニ對スル裁判ヲ、請求スル行爲ナリ。サレバ、檢事ハ或事件ガ、公訴ヲ提起スベキモノト思料スル時ハ、豫審、又ハ公判ヲ求ムベキモノトス。

豫審トハ、被告事件ヲ、公判ニ付スベキヤ、否ヤヲ、取調ブル、下調手續ニシテ、豫審判事、之ヲ實行ス。

判事、檢事、裁判所書記、出廷ノ上、被告人、及檢事ヲシテ口頭辯論ヲナサシメ、以テ、公訴ニ關スル裁判ヲナスヲ、公判ト云フ。

公訴ニ對スル判決ニ關シテモ、不服アル時ハ、之ヲ上訴スルコトヲ得ルハ、既ニ述ベタル所ニ異ナラズ。

第三欵　民事訴訟及非訟事件手續法

民事訴訟トハ、私權ヲ侵害セラレ、タリ、トスル者ガ、裁判所ニ訴訟ヲ提起シテ、其保護ヲ仰グ手續ニシテ、訴訟ヲ提起スル

民事訴訟手續。

地方裁判所ノ通常訴訟手續。

モノヲ、原告ト稱シ、訴ヘラレタルモノヲ被告ト云フ。

民事訴訟ハ、訴訟當事者ニ於テ、爭ノ目的物ニツキ、互ニ和解ヲナシ、又ハ原告ヨリ請求ヲ拋棄シ、若クハ被告ガ認諾スル等ノ方法ニヨリ、自ラ訴訟ヲ、處分スルコトヲ得。是レ刑事訴訟ト大ニ其趣ヲ異ニスル所ナリ。

民事訴訟手續ニハ、通常訴訟手續ト、特別訴訟手續トアリ。又、通常訴訟手續ニ關シテモ、區裁判所ノ訴訟手續ト、地方裁判所ノ訴訟手續トアレドモ、此ニハ、地方裁判所ノ通常訴訟手續ノミニツキ、少シク、之ヲ說明セン。

通常訴訟ノ提起ハ、原告ガ、法定ノ訴狀ヲ、裁判所ニ提出スルニ始マル。若シ、適法ニ訴狀ガ提出セラレタル時ハ、裁判所ハ辯論期日ヲ定メテ、訴狀謄本ヲ添ヘ、之ヲ被告ニ通知スルモノトス。訴狀送達ト、辯論期日トノ間ニハ、少クトモ、二十日ノ

民事訴訟法、一九四、民事訴訟法、一九九、

檢證トハ、物件ノ實見ニヨル證明方法ヲ云フ。

民、訴、法、二二五、

民、訴、法、二四六、二五〇、

民、訴、法、二五五、

應訴期間アルコトヲ要ス。被告ガ、訴狀送達ヲ受ケタル時ハ、十四日以內ニ、答辯書ヲ提出セザルベカラズ。口頭辯論ハ、出廷セル當事者ガ、訴狀、及答辯書ニ基キテ、一定ノ申立ヲナスニヨリテ始マル。當事者ハ、互ニ、相手方ノ主張スル事實ニ對シテ陳述セザルベカラズ、且、其事實ニツキ、爭アル時ハ檢證、人證、書證、鑑定、本人訊問等ノ方法ニヨリ、之ヲ證明セザルベカラズ。斯クシテ辯論、證據調ヲ經テ、判決ヲナスニ熟シタル時ハ、裁判所ハ、終局判決ヲ以テ、請求ノ全部、又ハ一部ニツキ、判決ヲ言渡スベシ。期日ニ出頭セズ、又ハ辯論セザル當事者ニ對シテハ、缺席判決ヲ言渡スベク、此判決ニ對シテハ、故障ノ申立ヲナスコトヲ得。

以上ノ如キ手續ヲ經テ、判決言渡アリタルニ對シ、不服アル時ハ、上訴ノ方法存スルコト既ニ述ベタル所ニヨリ明ナリ。

非訟事件手續。

若シ、不服ノ申立ナキ時ハ、裁判確定セルモノトシ、公力ヲ以テ、之ガ强制執行ヲナスコトヲ得。

非訟事件手續法トハ、訴訟ニアラザル下ノ如キ事件ニツキ、當事者ノ權利ノ實行ヲ容易ニシ、其他、利害關係人ノ利益ヲ保護センガ爲ニ、其手續ヲ定メタルモノナリ。

(一)法人ニ關スル事件。(法人ノ設立、假理事、又ハ特別代理人、及、清算人ノ選任ニ關スル事項)

(二)財產管理ニ關スル事件。

(三)商業登記。

(四)相續ノ承認、及拋棄ニ關スル事件。

(五)遺言ノ確認、及執行。

(六)隱居、廢家、及家督相續人、親族會ニ關スル事件。

(七)會社、及競賣ニ關スル件等。

行政ノ意義。

行政ノ分類。

第三節　行政

第一款　行政及行政ノ分類

行政トハ、國家ノ安寧幸福ヲ維持増進スルヲ目的トスル統治權ノ作用ヲ總稱セルモノニシテ、所謂天皇ノ大權ト稱セラルヽモノモ、亦此意味ニ於ケル行政ノ一部ト見ルヲ得ベシ。サレドモ若シ之ヲ狹義ニ解スル時ハ、統治權作用ノ中ヨリ、立法、司法ニ屬スルモノハ勿論、天皇ノ大權ニ屬スルモノモ、之ヲ除キタルモノヽミヲ云フ。

行政ハ、之ヲ種々ノ點ヨリ觀テ、幾様ニモ區別スルコトヲ得レドモ、今其重要ナルモノニツキテ畧説スレバ、先ヅ之ヲ其性質ヨリ觀テ、國家組織ノ内部ニ對スル行政ト、外部即、人民ニ對スル行政トノ二トスルヲ得ベシ。内部ニ對スル行政トハ、一種監督ノ形式トナツテ表ハルヽモノニシテ、即、行政訴

主管爭議トハ、同一系統ニ屬スル官廳間ノ權限上ノ爭チ云フ。

指令トハ、下級官廳ノ伺ニ對シテ發スル命令也。

訓令トハ、下級官廳ノ伺チ俟タズシテ、進ンデ發スル命令チ云フ。

官治行政及自治行政。

訟、訴願ノ裁決、若クハ主管爭議ノ裁決、又ハ下級行政廳ニ對シテ、指令、訓令ヲ發スルガ如キ、其他、下級行政廳ノ處分ヲ取消シ、之ヲ廢止シ、又ハ停止、變更スルガ如キ、若クハ官公吏ヲ懲戒スルガ如キ、皆之ニ屬ス。外部ニ對スル行政トハ、命令ヲ設定シ、若クハ處分ヲナスガ如キ、人民ニ對シテナス行政ヲ云フ。

又、行政ハ其形式ヨリ觀テ、之ヲ官治行政及、自治行政ノ二トナスコトヲ得ベシ。國家ノ元首ガ大權ニヨリテ、自己直隷ノ機關ヲ設ケ、之ヲシテ政務ヲ行ハシムルノ制度ヲ、官治行政ト稱シ、國家ガ法律ニヨリ、或特殊ノ團體ヲ認メ、之ヲシテ、自ラ、其共同事務ヲ處理セシムル制度ヲ名ヅケテ、自治行政ト云フ。

次ニ、其目的ニ從ツテ分類ヲ試ムル時ハ、之ヲ左ノ如ク區分

外務行政。

内務行政。

財務行政。

スルコトヲ得。

(一)外務行政。 此行政ノ目的トスル所ハ、外國ニ對スル交渉事務ニシテ、例ヘバ、外國ニ關スル政務ノ執行、外國ニ於ケル自國商業ノ保護、在外國民ニ關スル事務ノ處理、及、外交機關ノ指揮監督ノ如キ、之ニ屬ス。

(二)内務行政。 國家ノ内部ニ對シ、公安ヲ保持シ、公益ヲ増進スル目的ヲ以テスル行政ハ、皆之ニ屬シ、其範圍最モ廣ク、民籍ニ關スル事項ヲ掌ル人事行政ハ勿論、衞生、産業、交通、宗教、教育等ニ關スル事項ヲ掌ル福利行政、社會公安ヲ妨害スル危害ノ除却ヲ目的トスル警察行政ノ如キ皆之ニ屬ス。内務大臣ヲ始メ、農商務、遞信、文部等諸大臣ノ司ル所ハ、悉ク此政務ナリ。

(三)財務行政。 國家ノ財政、卽、國家有用ノ資財ノ收支會計ニ

軍務行政。

法務行政。

關スル事務ヲ司ルヲ以テ、目的トスル行政ナリト云フコトヲ得ベク、カノ大藏大臣ノ司ル所ノ行政ハ、卽、之ニ屬ス。

(四)軍務行政。 陸海軍大臣ノ司ル行政ニシテ、兵力ヲ供給維持シ、若クハ、軍需ヲ充タス目的ヲ以テスル事務ヲ、總稱スルモノナリ。徴兵、徴發等ニ關スル事務ヲ、其主ナルモノトス。

軍隊ノ運用ニ關スル事務ハ、天皇ノ大權ニ屬シ、行政ニアラザルモノナルコトハ、特ニ、注意ヲ要スベキコトナリ。

(五)法務行政。 司法制度ノ維持、監督等ヲナシ、又、之ヲ確實ニスルガ爲ニ、必要ナル行政ニシテ、裁判機關、卽、裁判所、檢事局等ノ構成、監督、及、裁判ノ執行ニ關スル事務、卽、強制執行、監獄行政ノ如キ事務ヲ司ルコトヲ目的トスルモノナリ。司法大臣之ヲ管掌ス。

行政機關。

第二款 行政機關

凡ソ、國家ハ、一ノ公法人タル性質ヲ有スルモノナレバ、自ラ其統治權ヲ行使スルコトヲ得ザルハ勿論ニシテ、此統治權行使ニ關シ、種々ノ機關ノ必要アルハ、今更說明ヲ要セザル所ナリ。國家統治權ノ作用ノ一タル行政ニツキテモ、亦機關ナカルベカラズ。卽、其狹義ニ解シタル行政ヲ管掌運用スル機關ヲ名ケテ、行政機關ト云フ。

行政ニ官治行政、及自治行政ノ二種アルコトハ、既ニ述ベタル所ナリ。而シテ、官治行政ヲ司ル機關ヲ、官治行政機關、又ハ單ニ行政官廳ト稱シ、自治行政ヲ司ル機關ヲ、自治行政機關、又ハ單ニ、公共團體ト名付ク。

凡テ、官廳ハ其司法官廳タルト行政官廳タルトヲ問ハズ、任官ノ形式ニヨリテ採用セラレ、官廳ノ事務ヲ執行スベキ義務ヲ有スル一人又ハ數人ノ官吏ヲ以テ組織セラル。而シテ其官吏ガ一人ナル時ハ、之ヲ獨任制官廳ト稱シ、數人ノ官吏ヲ以テ成ル時ハ、之ヲ合議制官廳ト稱ス。行政官廳ハ、多ク獨任制ナレドモ、司法官廳ハ多ク合議制ナリ。而シテ、官廳相互間ニハ、凡テ、上級下級ノ別アリテ、上級官廳ハ、常ニ下級官廳ニ對シ、指揮監督ノ權ヲ有スルモノトス。

第一項　行政官廳（官治行政機關）

行政官廳ノ分類。

行政官廳ニハ、其權限ノ、國內一般ニ及ブモノト、只、或一地方ニノミ及ブモノトノ二種アリ。前者ハ、是ヲ中央行政官廳ト稱シ、各省大臣ハ、其最モ大ナルモノニシテ、後者ハ之ヲ地方行政官廳ト稱シ、府縣知事、郡長等ノ如キハ、之ニ屬ス。

行政官廳ハ、又、其權限ガ各般ノ行政事務ニ亘レル府縣知事郡長等ノ如キ普通行政官廳ト、只、或特殊ノ行政事務ノミニツキ、權限ヲ有スル稅務監督局鑛山監督署、大小林區署等ノ如キ特別行政官廳トノ二種ニ分ツコトヲ得。以下論ゼントスルモノハ普通行政官廳ノミニ限ル。

第一目　中央行政官廳

各省大臣。

各省大臣ハ、獨任制ノ中央行政官廳ニシテ、次官以下、定數ノ官吏ヲシテ、其管掌事務ヲ補助セシメ、天皇ニ直隷シ、國ノ最上級行政官廳ナリ。此行政官廳ハ、時ト場合トニヨリ、增減ナキニアラザレドモ、現行制度ニ於テハ、內務、外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信ノ九省ヲ置キ、各々一名ノ主任大臣アリテ、各省主任ノ事務ニツキ、地方長官ヲ指揮監督シ、法律勅令ノ立案ヲナシ、或ハ夫レ々々省令ヲ發スルガ如キ、職權ヲ有スルモノトス。

內閣。

內閣ハ、前ニモ述ベタルガ如ク、國務大臣ガ、其憲法上ノ職務ヲ遂行センガ爲ニ設ケラレタル合議體ナレバ、其決議ニ付スベキモノハ、多ク大權事項ニシテ、行政事項ト見ルベキモノハ、殆ンド之ナキモ、各省間ノ主管爭議ノ裁決、公ノ起業ノ認定等ノ如キハ、其主ナルモノト見ルヲ得ベシ。

內閣總理大臣。

內閣總理大臣ハ、國務大臣ノ首班トシテ、內閣ヲ組織スルノ一人ナレドモ、又一面、各省大臣ト同ジク、內閣以外ニ、獨任制行政官廳トシテ、特定ノ事務ヲ司ルコトナキニアラズ。卽、其主任ノ事務ニツキテ、地方長官ヲ指揮監督シ、或ハ閣令ヲ發シ、法制局、印刷局等ノ如キ、內閣直屬ノ各局及、鐵道院等ヲ統督スルガ如キ是ナリ。

第二目　地方行政官廳

凡ソ、府縣ハ、二種ノ性質ヲ有スルモノニシテ、一面、自治團體タル性質ヲ有スルト同時ニ、又一方、官治行政ノ最大行政區劃タル性質ヲ有ス。

府縣知事。

府縣ニハ其長官トシテ知事ヲ置ク、知事ハ、府縣ニ於ケル獨任制行政官廳ニシテ、一般ニ云フ時ハ、內務大臣ノ指揮監督

警視總監。

郡長。

ヲ受ク。其職權ノ主ナルモノハ、府縣令ヲ發シ、管内ノ郡長、島司、市町村長等ヲ指揮監督シ、非常急變ノ場合ニ際シテハ、其管内ノ靜謐ヲ保ツガ爲、師團長若クハ旅團長ニ移牒シテ、出兵ヲ請フコトヲ得ルガ如キ是ナリ。

府縣内ノ事務ニ關シテハ、警察ノ事務モ亦、府縣知事ニ屬スルモノナレドモ、獨リ、東京府ニアツテハ、然ラズ、之ヲ府知事ノ權限中ヨリ割キテ、特ニ警視總監ナル機關ヲ設ケ、之ニ此事務ヲ屬セシメタリ。サレバ、警視總監ハ、東京府ニ於ケル警察事務ヲ司ルヲ以テ、其職權トシ、其權限ノ範圍内ニ於テ、或ハ特別ノ委任ニヨリ警視廳令ヲ發シ、且其主任事務ニツキ、府下ノ郡、市區、町、村長ハ勿論島司ヲモ指揮監督ス。

郡ニ郡長ヲ置ク。郡長ハ、中級ノ地方行政官廳ニシテ、獨任制行政官廳ナリ。上、府縣知事ノ指揮監督ヲ受ケ、下、管内ノ町村長ヲ指揮監督シ、法令、又ハ知事ノ委任ニヨリ、郡令ヲ發スルコトヲ得。

島司。

特別ノ土地ノ特設官廳。

勅令ヲ以テ指定セラレタル島地ニ、島司ヲ置ク。其地位、權限ノ如キハ、全ク郡長ト異ナル所ナク、島廳令ヲ發スルコトヲ得。

以上ノモノヽ外、地方行政官廳トシテ、特別ノ土地ニ於ケル特設ノモノアリ。朝鮮ニ於ケル朝鮮總督、臺灣、及、澎湖島ニ於ケル臺灣總督、關東租借地ニ於ケル關東都督、樺太ニ於ケル樺太廳長官ノ如キモノ、即、是ナリ。是等ノモノハ、其組織權限等ノ點ニ於テ、普通行政官廳トハ、大ニ其趣ヲ異ニシ、殊ニ、朝鮮總督、臺灣總督、及、關東都督ノ如キハ、頗ル强大ノ權力ヲ有シ、其委任ノ範圍内ニ於テ、軍隊ヲ統帥シ、必要ニ應ジテハ、兵力ヲ動カスコトヲ得ルガ如キ特權ヲ有ス。

第二項　公共團體(自治行政機關)

公共團體。

公共團體トハ、法令ノ規定ニ從ヒ、國家ノ監督ヲ受ケ、一方、自存ノ目的ヲ以テ、又一方國家ニ對スル義務トシテ、團體其モノハ事務ヲ共同處理スル團體ナリ。其是ヲ自治行政機關ト云フハ、官廳ト異ナリ、各々其自存ノ目的ヲ以テスル固有事務存在シ、只一ノ單純ナル機關ニアラズシテ、法令ノ範圍內ニ於テ、其事務ヲ共同處理スベキ性質ヲ有スルモノナルヲ以テノ故ナリ。

自治。

此ノ如ク、公共團體ガ、法令ノ範圍內ニ於テ、其團體自存ノ目的ノ爲ニスル固有事務ヲ共同處理スルコトヲバ、名付ケテ自治トハ稱スルナリ。而シテ、此性質アルガ故ニ、單純ナル行政官廳ト異ナリ、人格ヲ有ス。然リ、而シテ、公共團體ノ司ルベキ事務ニハ、其固有事務、卽自治事務ノ外ニ、尚、國家ヨリ國家ノ行政事務ノ一部トシテ、委任セラレタル委任事務ノ存スルモノアルコトモ亦、忘ルベカラザル所ナリ。

公共團體ニハ、地方團體、及、公共組合ノ二種アリ。以下、其大畧ヲ說明セン。

第一目　地方團體

地方團體。

地方團體トハ、或一定ノ地域ニ基ク公共團體ニシテ、土地、及、人民ヲ團體組成ノ要素トシ、數次ノ階級アリ。我國ニテハ、最下級ニアルモノヲ市町村トシ、中級ニアルモノヲ郡トシ、府縣ハ最上級ニ位ス。而シテ、其土地ヲ團體構成ノ要素トスルヤ否ヤハ、實ニ、地方團體ト公共組合トノ、由テ岐ル、所ナリトス。

第一　市町村

市町村。

市町村ハ、最下級ノ地方團體ニシテ、自治權ヲ有シ、又一定ノ

自治權。
市町村條例トハ、市町村ノ事務、及、市町村住民ノ權利義務ニ關シテ規則スル法ニシテ、市町村ノ營造物ニ關スル規則トハ、法也。

土地。

人民。
市制、八、町村制、六、

市町村公民。
市制、九、町村制、七、

地域ト、人民トヲ有ス。

自治權トハ、自治ヲナシ得ル權利ニシテ、自主權、即、自治團體ガ、自治ヲ行フハ、必要上、自己ノ爲ニ、法ヲ立ツル、コトヲ得ル權利ヲモ包含ス。市町村ハ其自主權ニヨリテ市町村條例、及、規則ヲ制定、發布スルコトヲ得。

一定ノ地域ハ、即、市町村自治權ノ及ブ範圍ヲ限劃セルモノニシテ、何レノ人タルヲ問ハズ、或市町村內ニ居住スル以上、其自治權ニ服從セザルベカラズ。

市町村內ニ住居ヲ占ムル人民ハ、之ヲ市町村住民ト稱シ、市町村公共ノ營造物、並ニ、市町村有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ、市町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ負フ。市町村住民中、下ニ揭グル資格ヲ具フルモノヲ、特ニ、市町村公民ト稱ス。

(一)帝國臣民タルコト。

刑法施行法一八、一九、舊刑法、一〇、參照。市制、一一、町村制、九、

市町村公民ノ權利義務。
市制、一〇、町村制、八、

市町村ノ機關。

(二)獨立ノ生計ヲ營ム年齡二十五年以上ノ男子二年以上、當該市町村ノ住民トナリ、市町村ノ負擔ヲ分任シ、及其市町村內ニ於テ地租ヲ納メ、若クハ地租以外ノ直接國稅年額貳圓以上ヲ納ムルコト、但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經ザル者、禁治產者、準禁治產者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限リニ在ラズ。

以上ノ資格ヲ具備シ、市町村公民タルモノハ、市町村住民ノ權利義務ノ外、尙、市町村ノ選擧ニ參與シ、市町村ノ名譽職ニ選擧セラルヽノ特權ヲ有スルト同時ニ、法定ノ事由アルニアラザレバ、名譽職タルコトヲ拒辭シ、又ハ任期中之ヲ退職スルコトヲ得ザルノ義務アルモノナリ。

市町村ニハ、其目的事務ヲ遂行センガ爲、二種ノ機關ヲ有ス。

市參事會。

市制、六四、六七、

市制、七三、

市制、七五、六五、

卽、議事機關、及、執行機關是ナリ。

市ニ於ケル執行機關ハ、市長ニシテ、議事機關ハ市會ナリ。町村ニ於ケル執行機關ハ、町村長ニシテ、議事機關ハ町村會ナリ。

市參事會ハ、市長、助役、及、一定數ノ名譽職參事會員ヨリ成ル議事機關ナリ。外ニ尙市參與ナルモノアリテ、法定ノ場合ニ、法定ノ職務ヲ行フ爲、市參事會員トナル。而シテ市長ハ、有給吏員ニシテ、任期ヲ四年トシ、內務大臣、市會ヲシテ、候補者三名ヲ推薦セシメ、其中ヨリ、天皇ノ裁可ヲ得タル者ヲ以テ之ニ任ズ。助役、及、名譽職參事會員モ、共ニ市會ニヨリ選擧セラレタルモノヲ以テ之ニ任ズ。而シテ、助役ハ、府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要シ、市長ト同ジク有給吏員ニシテ、任期モ同ジク四年トス。名譽職參事會員ハ市公民中年齡滿三十

市制、七四、

町村長。

町村制、六一、六四、

市會及町村會。

市制、一三、町村制、一一、

市制、一五、町村制、一三、

年以上ニシテ、選擧權ヲ有スルモノヨリ選擧シ、是亦、任期ハ四年トス。市參與ハ、市會ニ於テ選擧シ內務大臣ノ認可ヲ得タル者ヲ以テ之ニ任ジ、名譽職タリ。

町村ノ執行機關タル町村長ハ、町村會ニテ其町村公民中、年齡滿三十年以上ニシテ、選擧權ヲ有スル者ノ中ヨリ選擧シ、府縣知事ノ認可ヲ得タル者ヲ以テ之ニ任ジ、普通名譽職ニシテ任期ハ四年トス。

市會、及町村會ハ、前述ノ如ク、市町村ノ議事機關ニシテ、市町村會議員ハ、其市町村ノ選擧人ガ、其被選擧權ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ選擧ス。

市町村會議員ノ選擧ハ、等級選擧ノ制ヲ採リ、市ハ三級ニ分チ、町村ハ二級トシ、直接市町村稅ノ納額多キモノヨリ、順次、等級ニ編入シ、各級同數ノ議員ヲ選擧セシム。

市ハ、第一次ニ府縣知事ノ監督ヲ受ケ、第二次ニ內務大臣ノ監督ヲ受ク。町村ハ、第一次ニ、郡長ノ、第二次ニ、府縣知事ノ、第三次ニ於テ、內務大臣ノ監督ヲ受クベキモノトス。

第二　郡

郡參事會。郡制、四五、五三、五六、

郡會。

郡ハ、中級ノ地方團體ニシテ、從來ノ區域ニヨリ、町村ヲ包括シ、第一次ニ、府縣知事ノ監督ヲ受ケ、第二次ニ於テ、內務大臣ノ監督ヲ受ク。其機關トシテハ、仝ジク、執行機關、議事機關ノ二種アリ。郡長ハ郡ノ執行機關ニシテ、其議事機關トシテハ、郡參事會、及、郡會ノ二アリ。

郡參事會ハ、郡長及、郡會ニ於テ、互選決定シタル五名ノ名譽職參事會員ヨリ成リ、郡長ヲ以テ議長トスル議事機關ナリ。

次ニ、郡會モ、亦郡ノ議事機關ニシテ、郡內ノ選擧權者ヨリ選出セラレタル十五人以上、三十人以下ノ議員ヲ以テ組織セラル。而シテ、郡內ノ町村公民ニシテ、町村會議員ノ選擧權ヲ有シ、且、其郡內ニ於テ、一年以來、直接國稅、年額參圓以上ヲ納付スルモノハ、郡會議員ノ選擧權ヲ有シ、直接國稅、年額五圓以上ヲ納付スルモノハ、其被選擧權ヲ有ス。

郡制、五、六、

郡制、二九、

郡會ハ、郡ノ財政ニ關スルコト、郡ノ營造物ニ關スルコト、其他、法令ニヨリ、郡會ノ權限ニ屬セシメタル事項等ニツキ、議決スル機關ニシテ、其權限ニ屬スル事項、甚ダ多シ。

第三　府縣

府縣。

府縣ハ、地方團體ノ最上級ニ位シ、郡、市、及、島嶼ヲ包括ス。知事ハ、其執行機關ニシテ、管內ノ郡長、島司ヲ始トシ、市町村長ヲ指揮監督シ、府縣ノ意思ヲ執行ス。

府縣ニモ郡ト同ジク、二種ノ議事機關アリテ、各府縣ノ意思ヲ構成ス。卽、一ハ府縣參事會ニシテ、一ハ府縣會ナリ。

府縣參事會。府縣制、六五、
府縣制、六六、
府縣制、六八、

府縣參事會ハ、府縣知事、府縣高等官二名、及、府縣會議員中ヨリ互選決定シタル一定數ノ名譽職參事會員ヨリ成ル。其權限ノ主ナルモノハ、

（一）府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ、其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スルコト。

（二）府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ、臨時急施ヲ要シ、府縣知事ニ於テ、之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムル時、府縣會ニ代ツテ、議決ヲナスコト。

（三）府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニツキ、府縣知事ニ對シ、意見ヲ述ブルコト。

（四）府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ、財產、及、營造物ノ管理ニ關シ、重要ナル事項ヲ議決スルコト。

（五）府縣ニ係ハル訴願訴訟、及、和解ニ關スル事項ヲ議決スル

府縣會。府縣制、六、
府縣制、四一、

コト等トス。

府縣會モ亦、府縣ニ於ケル、一ノ議事機關ニシテ、府縣内ノ選舉權者ヨリ公選セラレタル、若干名ノ府縣會議員ヨリ成ル。府縣會議員ヲ選舉シ得ルモノハ、府縣内ノ市町村公民ニシテ、市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ、且、其府縣内ニ於テ、一年以來、直接國稅、年額參圓以上ヲ納ムルモノトシ、選舉セラルヽ、コトヲ得ルモノハ、同ジク、府縣内ノ市町村公民ニシテ、市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ、且其府縣内ニ於テ、一年以來、直接國稅、年額拾圓以上ヲ納付スルモノトス。府縣會ノ權限トシテハ、府縣財政ニ關スル事項、及、其他、法律命令ニヨリテ、府縣會ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ議決シ得ルコト等ヲ以テ、其主ナルモノトス。

第二目　公共組合

公共組合。

公共組合ハ、或ル特定セル共同事務ヲ處理スル目的ヲ以テ、組成セラレタル自治行政機關ニシテ、市町村等ノ地方團體ガ、其構成要素トシテ、土地ト人民トヲ有スルニ反シ、公共組合ニテハ、只、組合員ハミアリテ、土地ヲ要素トセズ。コノ點ニ於テ、甚ダ趣ヲ異ニスレドモ、同ジク、自治行政機關、即、公共團體ニシテ、團體自存ノ爲ニスル目的ヲ以テ、固有事務ヲ有シ、尙國家ノ委任事務ヲモ、併セテ共同處理スル目的ヲ以テ、成立セルモノナルノ點ニ於テハ、全ク相等シク、各々、人格ヲ有ス。水利組合、商業會議所ノ如キハ之ニ屬ス。

第三款 行政救濟

行政救濟。

凡ソ、行政機關ニハ、上下ノ階級アリテ、上級ノモノハ、常ニ、下級ノモノヲ監督シ、非違ナキヲ期スト雖、時ニ、行政機關ノナシタル行政行爲ガ、不法ニ行ハレタルノ結果、一私人ノ利益

ヲ毀損スルコトナキニアラズ。此ノ場合ニ際シ、一私人ヲシテ、其毀損セラレタル利益ノ救濟ヲ求ムルノ途ヲ開カシムベキハ、現今進歩セル法治國家ノ、普ク、其必要ヲ認ムル所タリ。此救濟方法ヲ行政救濟ト稱シ、行政訴訟、請願、行政裁決ノ申請訴願等、種々アリト雖、コヽニハ、其主ナルモノ、卽、行政訴訟、及、訴願ノ二ツノ救濟法ニツキ、簡略ナル説明ヲ與フルニ止メントス。

第一 行政訴訟

行政訴訟。
明治二十三年法律、第一〇六號。

行政訴訟トハ、行政廳ノ違法處分ニヨリ、權利ヲ侵害セラレタリトスルモノガ、其處分ノ取消シ、又ハ變更ヲ求ムルガタメ、行政裁判所ニ提起スル訴訟ヲ云フ。而シテ、其訴訟ヲ提起シ得ル場合ハ、法律ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外、左ノ事件ニ關スルモノトス。

行政裁判所法、一三、

行政裁判所法、一七、

(一)海關税ヲ除クノ外、租税、及、手數料ノ賦課ニ關スル事件。
(二)租税滯納處分ニ關スル事件。
(三)營業免許ノ拒否、又ハ取消ニ關スル事件。
(四)水利、及、土木ニ關スル事件。
(五)土地ノ官、民有區分ノ査定ニ關スル事件。

此行政訴訟ノ目的トスルトコロハ、行政廳ノ違法處分ノ取消、又ハ變更ニアルモノナレバ、行政裁判所ハ、之ニ件フ損害賠償ノ訴ヲ受理スベキモノニアラズ。若シ強ヒテ、損害賠償ヲ請求セントスル場合ニハ、司法裁判所ニ對シテ、民事訴訟ヲ提起スルノ外、途ナシ。

次ニ、行政訴訟ハ、法律、勅令ニ、特別ノ規定アルモノヲ除クノ外、地方上級行政廳ニ訴願シ、其裁決ヲ經タル後ニアラザレバ、之ヲ提起スルコトヲ得ズ。サレドモ、各省大臣ノ處分、又ハ

訴願法、二、

訴願法、一、

內閣直轄官廳、又ハ地方上級行政廳ノ處分ニ對シテハ、直ニ、行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得。又、一旦、各省、又ハ內閣ニ訴願ヲナシタル時ハ、其事件ニツキテハ、更ニ、行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ズ。

第二、訴願

訴願トハ、行政廳ノ不當處分ニヨリ、利益ヲ侵害セラレタリトスルモノガ、直接上級廳ニ對シ、其處分ノ取消、又ハ變更ヲ求ムル方法ヲ云フ。此訴願ヲ提起シ得ベキ場合ハ、法律、勅令ニ、別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外、大凡左ノ如シ。

(一)租税及、手數料賦課ニ關スル事件。
(二)租税滯納處分ニ關スル事件。
(三)營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件。
(四)水利、及、土木ニ關スル事件。

訴願法、二、三

（五）土地ノ官、民有區分ニ關スル事件。

（六）地方警察ニ關スル事件。

（七）其他、法律、勅令ニヨリテ特ニ訴願ヲ許シタル事件。

訴願ヲナサントスルモノハ、處分ヲナシタル行政廳ヲ經テ、其直接上級廳ニ提起スベキモノニシテ、各省大臣ノ處分ニ對シテハ、之ヲ其省ニ提起スベキモノトス。

第四節　條約

條約ノ意義。

條約トハ、國際法上ノ效果ヲ生ゼシムル目的ヲ以テナシタル二ツ以上ノ國家ノ意思ノ合致ナリ。サレバ條約ハ、二個以上ノ國家ノ合意ナケレバ、成立スルコトナク、又必ズ、或一定ノ目的（即、通商ヲ目的トシ、講和ヲ目的トスルガ如シ）ヲ有セザル可ラズ。而モ其目的ハ、國際法ニ違背スルモノタルヲ許サズ。

條約ノ種類。

條約ニハ、其種類極メテ多ク、一々、之ヲ列擧シ難シト雖、今、其主ナルモノヲ上グレバ、同盟條約、講和條約、犯罪人引渡條約、通商條約、郵便條約、電信條約等ノ如キモノナリ。

條約ノ締結。

條約ノ締結ハ、當事國家ヨリ、互ニ、全權委員ヲ選定シテ、會合協商セシムルモノニシテ、若シ、コノ全權委員間ニ、協商成立スル時ハ、之ヲ條約書ニ記シ、全權委員ハ、各自、之ニ署名調印シ、各本國ニ送致ス。各本國元首ニシテ、之ニ同意シ、國家ノ意思トシテ、認メタルトキハ、コヽニ、始メテ、條約成立ス。斯ク、元首ガ、協商決議ヲ國家ノ意思トシテ、認ムルコトヲ指シテ、批准トハ稱スルナリ。

批准

條約ノ效力。

一旦、締結セラレタル條約ハ、各締盟國ヲ拘束ス。サレバ、各締盟國ハ、コノ條約ノ廢棄アル迄ハ之ヲ遵守セザル可ラズ。サレドモ、コノ條約ハ、只、國家ソレ自身ヲ拘束スル力アルモノ

條約ノ消滅。

ニシテ、直ニ以テ其國人民ニ對シテモ效力アルモノト考フベカラズ。若シ其條約ヲシテ國民ニ對シテマデモ有效ナラシメントスルニハ、之ガ公布ナカルベカラズ。

次ニ、條約ハ、有效期限ノ滿了、履行ノ諦了、双方ノ合意、締盟國ノ滅亡、戰爭ノ開始等ニヨッテ消滅ス。

第三部　私法大意

第一章　私權

私權ノ意義。

私權トハ、私法關係ニ於テ認メラレタル權利、詳言スレバ、私人相互間ニ於テ有スル權利ニシテ、分チテ、人身權、及、財產權ノ二トス。人身權ハ、人格權、及、身分權ノ二ニ分タレ、財產權ハ物權、及、債權ノ二ニ分タル、コトハ、既ニ第一部第四章ニ述ベタル所ノ如シ。今左ニ、是等ノ權利ニツキ、少シク說明ヲ試

ミン。

人身權。

(一)人身權。 人ガ、人タルノ位置ニヨリテ生ズル權利ニシテ、普通、金錢上ノ價値ヲ有セズ。又、之ヲ讓渡スコトヲ得ザルモノトス。分チテ、人格權、及親族權ノ二トス。

人格權。

(イ)人格權。 人格權トハ、人ガ一個人タル資格ヲ以テ有スル權利ニシテ、身體權、生命權、名譽權、自由權等ノ如キ是ナリ。

親族權。

(ロ)親族權。 親族權ハ、一ニ身分權トモ稱シ、人ガ、親族法上有スル權利ニシテ、戶主權、夫權、親權等ノ如キモノナリ。

前者ノ人身權タルニ拘ハラズ、往々、金錢上ノ價値ヲ有スルコトアルニ反シ、親族權ハ、全然然ルコトナシ。

財產權。

(二)財產權。 財產權トハ、人ガ、物、若クハ他人ノ行爲ニツキテ有スル權利ニシテ、細別シテ、物權、債權ノ二トス。此權利ハ

物權。

債權。

人ノ意義。

何レモ、金錢上ノ價値ヲ有スルモノナリ。

(イ)物權。物權トハ、直接ニ物ノ上ニ行ハレ、普ク一般ノ人ニ對抗スルコトヲ得ル權利ナリ。

(ロ)債權。債權トハ、或特定人ガ、他ノ特定人ヲシテ、特定ノ行爲、又ハ不行爲ヲナサシムルノ權利ナリ。此權利ヲ有スル人ヲ、債權者ト稱シ、是ニ對スル義務ヲ債務ト云ヒ、債務ヲ負擔スル人ヲ債務者ト云フ。

第二章 人

法律上、人トハ、權利ノ主體トナリ得ルモノハ、詳言スレバ、自己固有ノ名ニ於テ權利ヲ享有シ得ルモノヲ總稱ス。而シテ、此人タル資格ヲ人格ト云フ。此ニ注意スベキハ、法律上、人ト稱セラルヽモノハ、啻ニ、吾人々類ノミナラズ、人類ハ勿論、人類、又ハ物ノ集合體ト雖、法律上、之ガ人格ヲ認メラレタル時ハ、亦同ジク、人ト稱スルコトヲ得ベク、此人類、又ハ物ノ集合體ニシテ、法律上、人格ヲ認メラレタルモノハ、普通人類ト區別スル爲、特ニ法人ト稱シ、普通人類ヲ自然人ト云フ。サレバ、法律上、一般ニ人ト稱スル時ハ、法人、及、自然人ノ二者ヲ總稱スルモノト知ルベシ。

第一節 自然人

第一款 自然人ノ意義及其發生

自然人ノ意義。

自然人トハ、一個人類ノ形體ヲ具ヘ、權利ノ主體タルモノヲ云フ。近世、文明國家ニアリテハ、自然人ニシテ、權利ノ主體タルコト能ハザルモノナシ。然レドモ、未ダ出生セズ、又ハ出生スルモ、生命ヲ保有セザルモノハ、權利ノ主體ニアラズ。サレバ、自然人ガ、權利ノ主體タル爲ニハ、

自然人ノ發生。
民、七二一、
民、九六八、
九九三、
一〇六五、

第一。出生セザルベカラズ。即、母胎ヲ離ルヽコトヲ要ス。サレバ、未ダ母ノ胎内ニアルモノハ、原則トシテ、權利ノ主體タルコトナシ。只、二三ノ例外アルヲ免レズ。例ヘバ、損害賠償、相續、遺贈等ノ如キ場合ニ於テハ、胎兒ト雖、已ニ生レタルモノト看做サル。

第二。生命ヲ保有セザルベカラズ。サレバ、母胎ヲ離レタルモノト雖、死シテ生レタルモノハ、權利ノ主體タルコト能ハズ。時間ノ長短ニ論ナク、出生ニ當リテハ、必ラズ、生命ノ保有アルヲ要ス。

第二款　能力

能力。

能力トハ、人ガ、權利ヲ享有シ、之ヲ行使シ得ル力ヲ名ケタルモノニシテ、廣ク能力ト稱スルモノヽ中ニハ、自ラ、二種ノ區別アリ。即、權利ヲ享有シ得ル力ハ、之ヲ權利能力ト稱シ、權利ヲ行使シ得ル力ハ、之ヲ行爲能力ト云フ。

無能力者。

曩ニモ云ヘル如ク、近世ニ於テハ、自然人ニシテ、權利ヲ享有シ得ザル者、即、權利能力ヲ有セザルモノナキモ、行爲能力ニ至ツテハ、必ラズシモ然ラズ。自然人ニシテ、完全ナル行爲能力ヲ有セザルモノハ、之ヲ無能力者ト名付ク。我民法ニ規定セル無能力者ハ、即、下ノ如シ。

未成年者。
民、三、

(一)未成年者。年齢滿二十年ニ達セザルモノ。

禁治産者。
民、七、

(二)禁治産者。瘋癲白痴ノ如ク、心神喪失ノ常況ニアルモノニシテ、一定人ノ請求ニヨリ、裁判所ヨリ、禁治産ノ宣告ヲ受ケタルモノ。

準禁治産者。
民、一一、一三、

(三)準禁治産者。老衰、疾病等ニヨリ、精神作用ノ完全ナラザルモノ、即、心神耗弱者、及、聾者、啞者、盲者、浪費者ニシテ、一定人ノ請求ニヨリ、裁判所ガ、之ニ準禁治産ノ宣告ヲ與ヘタ

妻。
民、一四、
民、四、
民、八、
民、一二、
民、一四、
住所。
民、二一、
居所。
原籍地、寄留地等ハ、何レモ戸籍簿上ノ關

ルモノ。
(四) 妻。
是等ノ無能力者ハ、獨立シテ、或特定ノ法律行爲ヲナスコトヲ得ザルモノニシテ、若シ、之ヲナシタル時ハ、後ニ至ツテ取消スコトヲ得、ザレバ、是等無能力者ガ、有效ニ、法律行爲ヲナサントスル爲ニハ、親權ヲ行フ父、又ハ母、後見人、保佐人、又ハ夫ノ同意若クハ許可ヲ得ザルベカラザルモノトス。

第三款 住所及居所

凡ソ、人ハ其生活ヲ完ウスル爲、一定居常ノ場所ナカルベカラズ。法律ハ其人ノ生活利益ノ中心點換言スレバ、生活ノ本據ヲ住所ト定メタリ。住所ハ、人ガ多少ノ時間繼續シテ居住スルノ意思ヲ以テ、身體ヲ置ク場所、即、別莊ノ如キ、又ハ只一時、其身體ヲ託セントスル場所、例ヘバ、宿屋ノ如キ、所謂居住、

係ニシテ、形式ヲ示スニ過ギザレドモ、住所、居所等ハ、事實ニヨツテ定マルモノナリ、
民事訴訟法、一〇、
民、二五、
民、四八四、
民、九六五、
等、
民、二二、
自然人ノ消滅。
失踪。
民、三〇、
民、三一、

又ハ現住所等ト混同スベカラズ。住所ハ必ラズ、永住ノ目的ヲ以テ、一定ノ場所ニ居住スル事實ナカルベカラズ。而シテ、住所ハ、或ハ人民ノ裁判籍ヲ定メ、又ハ民法上、不在者ヲ定ムルノ標準トナリ、債務辨濟ノ場所トナリ、相續開始ノ場所トナリ、或ハ通知、書面送達ノ場所トナル等、法律上、重大ナル關係ヲ有スルコト、極メテ多シ。若シ、住所ノ知レザル場合アリタル時ハ、居所ヲ以テ住所ト看做ス。

第四款 自然人ノ消滅

自然人ハ、死亡ニヨリテ消滅ス。死體ハ一ノ物ニシテ、人ニアラズ。死亡ノ外ニ、法律ハ、人ガ、其住所、及居所ヲ去リテ、一定ノ期間ヲ過グルモ、仍、生死不分明ナル場合ニ當リテハ、一定人ノ請求ニヨリ、失踪ノ宣告ヲ下シ得ベキコトヲ定メタリ。而シテ、此宣告ヲ受ケタルモノヲ、失踪者ト稱シ、死亡者ト看做

法人ノ意義。

法人ノ發生。民、三三、

ス。是亦、自然人消滅ノ一ナリト見ルヲ得ベシ。

第二節　法人

第一款　法人ノ意義及其發生

人、又ハ物ノ集合體ニシテ、法律上、人格ヲ認メラレ、權利ノ主體トナリ得ルモノヲ法人ト稱スルコトハ、既ニ說明セシ所ナリ。斯ク、法人ハ、元來、人格ヲ有スルモノニアラザレドモ、特ニ法律ノ擬制ニヨリテ權利ノ主體タルコトヲ認メラレタルモノナレバ、一ニ又、之ヲ擬制人トモ云フ。

法人ハ、自然人ガ、殆ンド、一切ノ權利ヲ享有スルニ反シ、只、財產上ノ權利ヲ享有シ得ルノミニシテ、時トシテ、人身權ヲ有スルコトナキニアラザレドモ、是、極メテ稀ニ見ル所ナリ。

法人ハ、法律ノ規定ニ從ヒテ、發生スルモノナレバ、如何ニ、物、又ハ人ノ團體アリト云フトモ、法律ガ、之ニ、人格ヲ認メザル

民、三四、一三六、

府縣制、二、郡制、二、市制、二、町村制、二、商業會議所法、二、民法、一〇五一、

限リハ、只單純ナル物ノ團體、又ハ人ノ團體ニ過ギズシテ、人格ヲ有セズ。從ツテ、又、法人ト稱スルコトヲ得ズ。然ラバ、我國法ニテハ、如何ニシテ法人ノ成立ヲ認ムベキカト云フニ、所謂法定準則主義ニヨルモノニシテ、則、民法ガ、一般ニ法人ニ必要ナル條件ヲ定メ、此條件ニ適合シタル人、又ハ物ノ團體ニシテ、始メテ克ク、法人タルコトヲ得ルモノトス。ザレドモ、是、一般的規定ニシテ、例外トシテハ、法律特許主義ヲ採用シ、或一定ノ團體ニ對シテハ、法律ガ、直接ニ、法人タル資格ヲ與フルコトアリ。即、府縣制、郡制、市制、町村制ヲ以テ、府、縣、郡、市、町、村ヲ法人トシ、商業會議所法ニ於テ、商業會議所ヲ法人トシ、民法相續篇ニ於テ、相續人分明ナラザル場合ニ於ケル相續財產ヲ法人トスルガ如シ。

第二款　法人ノ種類

法人ノ種類。

公法人及私法人。

社團法人及財團法人。

定款トハ、法律ノ規定ニ基キ、社團法人ノ基礎トナルベキ、重要事項ヲ確定スル規約ナ

法人ヲ分ツテ、公法人、私法人ノ二トス。

公法人トハ、統治權、又ハ自治權ノ主體タル法人ヲ指稱ス。サレバ、統治權ノ主體タル國家、自治權ノ主體タル、府縣、郡、市、町、村ノ如キハ、皆公法人タリ。

私法人トハ、民法、商法等、私法ノ規定ニヨリテ認メラレタル法人ニシテ、公法人ニアラザル法人ハ、悉ク私法人ナリト云フヲ得ベシ。私法人ハ、其組織ノ如何ニヨリテ、更ニ、財團法人、社團法人ノ二ツニ分チ、其目的事業ノ如何ニヨリテ、又、公益法人、及、營利法人ノ二ツトスルコトヲ得。

社團法人トハ、人ノ團體ヨリ成ル法人ニシテ、其組織ヲ定ムルニハ、定款ヲ以テシ、會社ノ如キハ、其最モ顯著ナルモノトス。

財團法人トハ、物ノ團體ヨリ成ル、法人ニシテ、一定ノ目的ニ

リ

寄附行爲トハ、財團法人ヲ設立スル目的ヲ以テ、一定ノ財産ヲ無償ニテ處分スル單獨行爲ナリ

公益法人及營利法人。

法人ノ機關。

供セラル、財産ノ集合ノ上ニ成立シ、其組織ハ、寄附行爲ヲ以テ定メ、學校、病院、孤兒院、育兒院、社寺ノ如キハ、多ク此組織ニヨル。

次ニ、公益法人トハ、祭祀、宗教、慈善、學術、技藝、其他、公益ヲ、目的トシテ、設立セラレ、タル法人ニシテ、營利法人トハ、營利ヲ、目的トシテ設立セラレ、タル法人ナリ。商事會社、民事會社ノ如キハ、營利法人ニ屬ス。

社團法人ハ、時ニ公益法人タルコトアリ、又、營利法人タルコトアレドモ、財團法人ハ、常ニ公益法人タリ。

第三款　法人ノ機關

法人ハ、凡テ、權利能力ハ、之ヲ有スレドモ、元來、無形人ナレバ、之ヲ行使シ得ル能力、即、行爲能力ハ、之ヲ有セズ。故ニ、法人ガ享有セル權利ヲ行使スル爲ニハ、法人ニ代ツテ之ヲ行使シ

民、五三、民、五五、民、五八、

理事。民、五九、監督。

社員總會。

法人ノ解散。

私法人消滅原因。民、六八、第一項、

得ルモノナカルベカラズ。法人ノ機關ハ、此必要ニヨリテ生ジタルモノニシテ、業務執行機關、及、業務監督機關ノ二種アリ。私法人ニ於テ理事ト稱スルモノハ、即、業務執行機關ニシテ、法人ノ業務ヲ執行シ、尙、法人ヲ代表スル權限ヲ有ス。監事ハ、監督機關ニシテ、法人ノ財産、及、業務執行ヲ監督ス。社團法人ニ限リ、監督機關トシテ、監事ノ外ニ、別ニ社員總會ナルモノヲ設ケ、一面、社團法人ノ議事機關トナル。(公法人ノ機關ハ、此ニ、再ビ、之ヲ贅セズ)

第四欵　法人ノ解散

公法人ノ消滅ハ、國家ノ消滅、若クハ公共團體ノ廢合ニヨリテ生ズ。

私法人ノ消滅ニ關シテハ、下ニ掲グル三ノ原因アリ。

(一)法人設立者、若クハ社員ノ意思ニ出ヅルモノ。即、定欵、又ハ寄附行爲ニ定メタル解散事由ノ發生セシ場合、若クハ社員總會ノ決議ニヨリテ解散スル場合ハ、之ニ屬ス。

第一號、第二項、第一號、

民、六八、第一項、第四號、

民、六八、第一項、第二號、第三號、第二項、第二號、

(二)國家ノ命令ニヨルモノ。卽、國家ガ、設立許可ノ取消ヲナシタル場合。

(三)法人ノ性質及事業ノ情況ニ基クモノ。卽、法人ノ目的タル事業ノ成功又ハ、成功ノ不能、或ハ社員ノ缺乏、若クハ破産等ニヨルモノトス。

此ノ如クシテ、消滅シタル法人ハ、其殘餘財産ハ、如何ニ之ヲ處分スベキカト云フニ、元來、法人ハ、自然人ト異リ、遺言ノ能力ナク、又相續人ヲ有セザルガ故ニ、其處分方法ハ、法律ノ規定ニ從ハザルベカラズ。而シテ、公法人ノ殘餘財産ノ處分ナドニツキテハ、凡テ、行政法等ニ於テ論ズベキ性質ノモノニシテ、此ニ之ヲ説明セズ。下ニハ私法人ノ殘餘財産處分方法

殘餘財産處分方法。

民、七四、

民、七八、

民、七二、第一項、民、七二、第一項、

ニツキ、之ガ説明ヲ試ミン。

私法人消滅ニ當リ、其殘餘財産處分方法、三アリ。

(一)ハ、法律ノ規定ニヨリテ定マル、所謂清算ト稱スルモノ、是ナリ。清算トハ、解散シタル法人ノ殘務ヲ、處理結了スルノ謂ニシテ、其任ニ當ルモノヲ清算人ト稱ス。清算人ハ、特別ノ場合ヲ除クノ外ハ、理事ヲ以テス。卽、清算人ハ、債權ヲ取立テ、債務ヲ辨濟シ、殘餘財産ノ分配ヲナス等、凡テノ殘餘事務ヲ執ル職務ヲ有スルモノトス。

(二)ハ、法人設立者ノ意思ヲ尊重シタル方法ト云フヲ得ベシ。卽、若シ、豫ジメ、定款、寄附行爲等ヲ以テ、其處分方法ヲ定メタル時ハ、之ニ從ヒ、或ハ目的ノ類似ノ法人ニ、其財産ヲ處分スルガ如キ是ナリ。

附　商事會社

商事會社。

我商法ノ規定ニヨレバ、商事會社ハ、其組織ノ差異ニヨリ四種ノ區別ヲ認メタリ。

(一)**合名會社**。無限責任社員ヲ以テ組織セラル、會社ナリ。無限責任トハ、會社ノ財産ヲ以テ、其債務ヲ完濟スルコト能ハザル時ハ、各社員ハ、連帶シテ、其全財産ヲ以テ、無限ニ、其會社ノ債務ノ辨濟ニ當ラザルベカラザル責任ヲ云フ。

(二)**合資會社**。無限責任社員ト、有限責任社員トヲ以テ組織セラル、會社ナリ。有限責任社員トハ、會社ニシテ、其債務ヲ完濟スルコト能ハザル場合アルモ、其出資額ヲ限リ、辨濟ノ責任ヲ負フ社員ヲ云フ。

(三)**株式會社**。有限責任社員ノミヲ以テ組織ス。而シテ會社ノ資本ハ、之ヲ株式ニ分チ、其引受人、又ハ讓渡ヲ受ケタルモノガ、其株式ヲ限度トシテ、責任ヲ負フモノナリ。

(四)株式合資會社。合資會社ト同ジク、有限責任社員ト、無限責任社員トヲ以テ成レル會社ナレドモ、只、其異ナレル主ナル點ハ、此會社ニアリテハ、有限責任ガ株式ニヨリテ定マレルコトナリ。

第三章 物

第一節 物ノ意義

物ノ意義。

物トハ、權利ノ由テ存スル目的物ニシテ、若シ、廣義ニ解スル時ハ、如何ナルモノト云ヘドモ、權利ノ由テ存スル目的物トナリ得ルモノハ、悉ク物ニシテ、動產、不動產ノ如キ財產ハ勿論、生命、名譽、自由、行爲ノ如キモノモ、皆物ナリト云フヲ得ベシ。換言スレバ、何等物理上ノ形體ヲ有セズ、只智能ヲ以テ認識シ得ルガ如キ無體物モ、物理上形體ヲ有シ、空間ノ一部ヲ占領スル有體物モ、悉ク物ナリト云フコトヲ得ベシ。サレドモ、此ニ物ト云フハ、所謂民法上ノ物ニシテ、有體物ニ限ル。卽、人類以外ニ、空間ノ一部ヲ占領シ、財產權ノ目的トナリ得ルモノニ限ル。以下、單ニ物ト稱スル時ハ、此意味ニ於テスルモノト知ルベシ。

民、八五、

第二節 物ノ種類

物ノ種類。

有體物ハ、種々ノ點ヨリ、之ヲ分類スルコトヲ得。

動產及不動產。民、八六、

(一)動產及不動產。土地及其定着物ヲ、不動產トシ、其他ノモノハ、凡テ動產トス。サレバ、土地ノ不動產タルコトハ論ヲ俟タズ。其他其定着物、卽、土地ニ固着シテ、若シ、其位置ヲ變更セントスル時ハ、其實質、又ハ形體ニ變動ヲ生ズルガ如キモノ、例ヘバ、家屋、其他ノ建築物、竹木等ハ、皆不動產タリ。而シテ、不動產以外ノ物、例ヘバ、露店、書籍、机、椅子、箱等ノ如

主物及從物。民、八六、

元物及果實。民、八八、

キモノハ、皆動產タリ。

(二)主物及從物。或物ヲ、他ノ或物ニ附屬セシメタル時、附屬セラレタル或物ヲ主物ト稱シ、附屬シタル他ノ物ヲ從物ト云フ。サレバ、主物從物ハ、二個以上ノ物ガ相附着シテ始メテ、主從ノ關係ヲ生ズルモノニシテ、只一物ノミニテハ、主從ノ關係アルコトナシ。此主從二物ハ、共ニ同一所有者ニ屬シ、從物ハ、主物ノ常用ニ供スル爲、附屬セシメタルモノニシテ、只一時便宜附屬セシメタルモノハ、主物從物ト云フベカラズ。例ヘバ、時計ニ附屬セシメタル鍵、羽織ニ附屬セシメタル紐ノ如キハ、何レモ從物ニシテ、時計、羽織ノ如キハ、鍵、紐等ニ對シテ主物ト云フベシ。

(三)元物及果實。元物トハ、果實ニ對シテ云ヒ、果實トハ、元物ニ對シテ云ヘル名稱ニシテ、或物ノ用法ニ從ヒ、又ハ他人

天然果實。

法定果實。

特定物及不特定物。

ヲシテ之ヲ使用セシムルコトニヨリ、其物ヨリ他ノ物ヲ生ジタル時ハ、或物ヲ元物ト云ヒ、生ジタル他ノ物ヲ果實ト云フ。例ヘバ、樹木ヨリ生ズル果實、鷄ガ生ム鷄卵、乳牛ヨリ得ル牛乳、金錢ヨリ得ル利息、貸家ヨリ得ル家賃、田畑ノ小作料ノ如キハ、何レモ果實ニシテ、樹木、鷄、乳牛、金錢、貸家、田畑等ハ皆元物タリ。果實ハ、天然果實法定果實ノ二ツニ分ツコトヲ得。物ノ用法ニ從ツテ生ズル果實、例ヘバ、果實、鷄卵、牛乳ノ如キハ、天然果實ニシテ、他人ヲシテ或物ヲ使用セシメタル對價トシテ得ル果實、例ヘバ、利息、家賃、小作料等ノ如キハ、法定果實タリ。

(四)特定物及不特定物。特定物トハ、某ノ家、某ノ田地、某ノ馬ト云フガ如ク、物ガ法律上特ニ定マリ、同種、同質、同量ノ他ノ物ヲ以テ變換シ得ベカラザル物ヲ云フ。特定物ハ、他ノ

物ヲ以テ、之ニ代フルコトヲ得ザルガ故ニ、又、不代替物トモ云フ。次ニ、不特定物トハ、米一石、酒一升、肉一斤ト云フガ如ク、物ガ單ニ、種類、品質、數量ノミヲ以テ云ヒ表ハサレ、他ハ同種、同質、同量ノ物ヲ以テ、之ニ代フルコトヲ得ルモノヲ云フ。サレバ、又、之ヲ代替物トモ稱ス。

第四章　法律行爲

第一節　法律行爲ノ意義

法律行爲ノ意義。

法律行爲トハ、法律上、效果ヲ生ズベキ一切ノ行爲ヲ總稱スルコトアレドモ、此ニ云フ法律行爲トハ、民法上、所謂法律行爲ニシテ、私法上ノ效果ヲ生ゼシムベキ目的ヲ以テ爲シタル行爲ヲ指セルナリ。詳言スレバ、私權ノ發生、消滅、及、變更ヲ生ゼシムベキ目的ヲ以テ爲シタル行爲ニシテ、ソガ、契約ノ

如ク、直接ニ效果ヲ生ゼシムベキ目的タルト、契約ノ申込、通知ナドノ如ク、間接ニ效果ヲ生ゼシムベキ目的タルトハ、問フ所ニアラズ。又、其目的ダニアラバ其成否ノ如キハ、法律行爲タルト否トニ於テ、何等妨ゲナシ。私法上ノ效果ヲ生ゼシムベキ目的ヲ以テナシタル行爲モ、時ニ、其目的ヲ達シ得ザルコトナキニアラズ。無效ノ法律行爲、取消シ得ベキ法律行爲等ノ存スルハ、蓋シ之ガ爲ナリ。

無效ノ法律行爲及取消シ得ベキ法律行爲。

無效ノ法律行爲トハ、其目的トセル效果ガ、全然發生セザル行爲ニシテ、後ニ至リ、更ニ行爲ヲ新ニスルノ外、如何ナル方法ヲ用ユルモ、其行爲ヲ有效ナラシムルコト能ハザルモノナリ。取消シ得ベキ法律行爲トハ、其目的トセル效果ハ、法律上存在シ、既ニ發生セルニモ拘ハラズ、其行爲ニ瑕疵アルガ爲、後ニ至リ、其效力ヲ失ハシムルコトヲ得ル行爲ニシテ、此

法律行爲ノ有效條件。

行爲ハ、追認ニヨリテ、其效力ヲ完全ナラシムルヲ得ベシ。

第二節　法律行爲ノ有効條件

法律行爲ヲ有效ニ爲サントスル爲ニハ、下ニ揭グル各項ニ注意セザルベカラズ。

意思能力及行爲能力。

民、四、九、一二、一四、

(一)意思能力及行爲能力。 意思能力トハ、意思作用ノ根本タルベキ、心理的作用ニシテ、法律行爲ノ要素ナレバ、此能力ヲ缺キタルモノヽ、法律行爲ハ無效タリ。サレバ、幼者、瘋癲、白痴ノ如キ者ノ行爲ハ、之ヲ無效トス。次ニ、行爲能力ハ、法律行爲ノ要素ニアラザレバ、之ヲ缺クモ、法律行爲ノ無效ヲ來スモノニアラズ。サレドモ、瑕疵ヲ來スコトハ免レ難カルベク、從ツテ、其行爲ハ、取消シ得ベキ法律行爲トナル。例ヘバ法定條件ヲ備ヘズシテナシタル未成年者、禁治產者、準禁治產者、妻等ノ行爲ノ如シ。

意思表示。

(二)意思表示。 凡テ、法律行爲ニハ、必ラズ、意思表示ナカルベカラズ。即、只單ニ、意思ヲ有スルノミニテハ、未ダ法律行爲アリタリト云フヲ得ズ。此意思ガ、外部ニ表示セラルヽニ至リテ、始メテ、法律行爲アリタリト云フヲ得ベシ。而シテ其表示ハ、本人、自ラ之ヲナスモ、他人ヲシテ、自己ニ代ツテナサシムルモ差支ナク、或ハ面接ニヨルモ、通信ニヨルモ、又、其表示方法ハ、書面、口頭、容態等、何レニヨルモ、或ハ又、明カニ表示サルヽモ、若クハ事情ニヨリ推知シ得ベキ樣、暗默ニナサルヽモ、斯ノ如キハ、意思表示タルニ於テ、何等問フ所ニアラザルナリ。

意思表示ノ效力ヲ生ズル時。

意思表示ハ、如何ナル時ヨリ效力ヲ生ズベキモノナリヤノ問題ニツキテハ、面接、電話等ヲ以テスル對話者間ノ意思表示ニツキテハ、異論ナカルベキモ、書面等ヲ以テスル

民、九七、

民、五二六、

隔地者間ノ意思表示ニツキテハ、學說、立法例、共ニ、未ダ一致セズ。我國法ノ規定ニ從ヘバ、原則トシテ、受信主義、卽、意思表示ノ相手方ニ到達シタル時ヲ以テ、效力ヲ生ズトノ主義ヲ採レリ。故ニ、一旦、相手方ニ對シテ、或意思表示ヲナシタル後ト雖、是ガ相手方ニ到達スル前、又ハ同時ニ、到達スルガ如キ方法ヲ以テセバ、前ニ發シタル意思表示モ之ヲ取消シ、又ハ變更スルヲ得ルコト、ナル。然レドモ、我國法モ、例外トシテ、契約ノ申込ニ對スル承諾ヲナス場合ニアツテハ、發信主義、卽、意思表示ヲ相手方ニ對シテ發スルト同時ニ、其效力ヲ生ズルモノトシタリ。故ニ、此場合ニハ、如何ナル方法ニヨルモ、後ニ至リ、之ヲ取消シ、又ハ變更スルガ如キコトヲナスヲ得ズ。

意思表示ハ、以上ノ如クシテ效力ヲ生ズ。而シテ、意思表示

意思ト意思表示トノ不一致。

隱祕ノ意思表示。

民、九三、

ガ、有效ナル爲ニハ、原則トシテ、意思ト、其表示トノ一致アルヲ要ス。若シ、眞意ニアラザル意思ガ表示セラレタル時ハ、法律上、種々ノ關係ヲ生ズルモノニシテ、之等ニツキ、左ニ、其說明ヲ加ヘン。

(イ)故意ニ生ズル不一致。 是レ、表意者ガ、表意ノ眞意ニアラザルコトヲ知リテナシタル意思表示ニシテ、又、二樣ノ別アリ。一ハ相手方ニ對シテ、眞意ヲ隱祕シタル場合ニシテ、一ハ相手方ト通ジテ、虛僞ノ表示ヲナシタル場合ナリ。前者ハ之ヲ隱祕ノ意思表示、又ハ心裡留保ト稱シ、相手方ガ、表意者ノ眞意ヲ知リ、又ハ知ルコトヲ得ベカリシ時ノ外ハ、其意思表示ハ有效トス。サレバ、今、甲乙二人アリテ、甲者ガ、死亡ノ後、其遺產ヲ乙者ニ遺贈センコトヲ希望シ居タリシニ、一時、乙者ヲ喜バシメンガ爲

民、九四、

虚僞ノ意思表示、

錯誤ノ意思表示。

故ラニ、死亡ノ後ト云フ眞意ヲ祕シテ、只、財産ヲ贈與セントノ意思ヲ表示シタル如キ場合ニ於テハ、甲者ハ後ニ至リ、死亡後贈與スルガ眞意ナリシコトヲ理由トシテ、其無效ヲ主張スルヲ得ザルモノトス。後者ハ、之ヲ虚僞ノ意思表示ト稱シ、其效力ハ、第三者ニ對シテハ有效ナレドモ、當事者間ニアリテハ無效トス。例ヘバ、今、甲者ガ、被選擧權者タル資格ヲ得ンガ爲、乙者ト通謀シ、不動產ノ賣買ヲ約シタルガ如キ場合ニハ、後ニ至リ、被選擧權者タル資格ヲ得ンコトガ、眞意ニシテ、不動產ノ買入ヲ約シタルハ、眞意ニアラザリシコトヲ理由トシテ、其無效ヲ主張スルコトヲ得ルガ如シ。

(ロ)不意ニ不一致ヲ生ズル場合。此場合ハ、表意者ニ於テ、其表示シタル意思ガ、眞意ニアラザルコトヲ知ラザリシ場合ニシテ、之ヲ錯誤ノ意思表示ト稱シ、若シ、此錯誤ガ、法律行爲ノ要素ニ關シテナサレタル時ハ、其原因如何ニ拘ハラズ、法律行爲ハ無效トナル。サレドモ、表意者ニ、重大ナル過失アリタル時ハ、表意者、自ラ、其無效ヲ主張スルコトヲ得ザルモノトス。而シテ法律行爲ノ要素ノ何タルカ、重大ナル過失ノ意義如何等ハ、事實問題ニシテ、一般的說明ノ困難ナルハ勿論ナレドモ、法律行爲ノ性質、又ハ目的物ノ如キハ要素ナルベク、時トシテハ、當事者、若クハ目的物ノ品質數量等モ、要素ト認メラルベシ。重大ナル過失トハ、通常人ガ、通常拂フベキ注意ヲ怠リタルヨリ生ジタル過失ノ如キモノト見ルヲ得ベシ。

民、九五、

(ハ)意思ノ自由ヲ缺クニヨリテ不一致ヲ生ズル場合。即、詐僞、又ハ强迫ニヨリテ、不一致ヲ生ジタル場合ニシテ、

詐僞ニヨル意思表示。
強迫ニヨル意思表示。
民、九六。

詐僞トハ、他人ヲシテ錯誤ニ陷ラシメ、其錯誤ニヨリテ、意思ヲ決定表示セシムルノ意思ヲ以テ、故意ニ、法律、又ハ事實ヲ隱蔽シ、虛構シ、現ニ、其結果ヲ生ゼシメタルヲ云フ。強迫トハ、他人ヲシテ畏怖ノ念ヲ生ゼシムル目的ヲ以テ、有形無形ノ危害ヲ加ヘンコトヲ通知シ、之ニヨツテ、或意思ヲ決定表示セシムルモノニシテ、詐僞、強迫、何レノ場合ニ於テモ、表意者ハ、之ヲ取消スコトヲ得。サレドモ、詐僞ニヨル意思表示ノ取消ハ、之ヲ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ。

目的。
民、九〇、

(三)目的。法律行爲タルニハ、私法上ノ效果ヲ生ゼシムベキ目的ナカルベカラザルハ、論ヲ俟タザル所ナレドモ、尚其目的ハ、適法ニシテ可能ナラザルベカラズ。卽、公ノ秩序、善良ノ風俗ニ反セズ、且人力ヲ以テ爲シ得ベキ事項ヲ、目的

トセザルベカラズ。盜賊ヲナサンコトヲ目的トシ、或ハ天ニ上ランコトヲ目的トシテナシタル法律行爲ノ如キハ、勿論、之ヲ無效トス。

方式。
民、一〇〇六、七七五、五五〇。

(四)方式。近世、文明國家ニ於テハ、昔日ノ如ク、法律行爲ノ形式ニ重キヲ置カズ、意思ニ重キヲ置クガ故ニ、法律ヲ以テ特ニ方式ヲ必要トスル行爲ノ外ハ、法律行爲ハ、悉ク、意思表示ノミニヨリテ、有效ニ爲サルベキモノトシ、別ニ、何等方式ヲ必要トセズ。只、遺言、婚姻、贈與等ノ如ク、法律上、特ニ方式ヲ必要トセル行爲ハ、其方式ニ從ハザレバ、或ハ取消シ得ベキ法律行爲トナリ、又ハ無效ノ法律行爲トナル。

法律行爲ノ種類。

第三節　法律行爲ノ種類

法律行爲ハ、種々ノ點ヨリ觀テ、之ヲ幾多ノ種類ニ分類スルコトヲ得。其主ナルモノ、下ノ如シ。

双方行爲及一方行爲。

有償行爲及無償行爲。

生前行爲及死後行爲。

（一）双方行爲及一方行爲。 双方行爲トハ、二人以上ノ意思、合致ニヨリテ成立スル行爲ニシテ、例ヘバ、契約ノ如シ。一方行爲トハ、只、當事者ノ一方ノミノ意思ニヨリテ成立スル行爲ニシテ、例ヘバ、遺贈、追認、寄附行爲、債務ノ免除ノ如キ、是ナリ。又一ニ、單獨行爲トモ云フ。

（二）有償行爲及無償行爲。 有償行爲トハ、當事者双方ガ、互ニ利益ヲ受クベキ行爲ニシテ、賣買、交換、賃貸借等ノ如シ。無償行爲トハ、當事者ノ只一方ノミガ、利益ヲ受クベキ行爲ニシテ、贈與、使用貸借等ノ如シ。

（三）生前行爲及死後行爲。 生前行爲トハ、行爲者ノ生前ニ、效力ヲ生ズベキ行爲ニシテ、死後行爲トハ、行爲者ノ死後ニ於テ、始メテ、效力ヲ生ズベキ行爲ナリ。賣買、交換、贈與等、殆ンド一切ノ行爲ハ、前者ニ屬シ、遺言ハ、後者ニ屬ス。

要式行爲及不要式行爲。

管理行爲及處分行爲。

代理。

（四）要式行爲及不要式行爲。 要式行爲トハ、法律上特定ノ形式ヲ備ヘザレバ、有效ニナスヲ得ザル行爲ニシテ、遺言、婚姻ノ如キハ、之ニ屬シ、不要式行爲トハ、特ニ方式ヲ要スベク規定セラレザル行爲ヲ云フ。例ヘバ、賣買、交換等ノ如キ、多クノ法律行爲ハ、大抵、之ニ屬ス。

（五）管理行爲及處分行爲。 管理行爲トハ、權利ノ移轉、變更ヲ目的トセズ、只單ニ其保存、改良、利用ヲ目的トスル行爲ニシテ、家屋ノ修繕、利息ノ辨濟、不動産賃貸ノ登記ヲナスガ如キハ、皆之ニ屬ス。處分行爲トハ、權利ノ移轉喪失ヲ目的トスル行爲ニシテ、例ヘバ、賣買、贈與、遺棄等ノ如シ。

第四節　法律行爲ノ代理

法律行爲ヲナスニ當リ、其意思表示ハ、必ラズシモ、本人、直接ニ之ヲナスヲ要セズ。他人ヲシテ、自己ニ代ツテナサシムル

モ差支ナキコトハ、既ニ述ベタルトコロノ如シ。カヽル場合ヲ代理ニヨル法律行爲ト云フ。元來代理トハ、或一人ガ他人ノ名ニ於テ、直接ニ、其人ニ利害ノ效果ヲ生ゼシムル目的ヲ以テ、特定ノ行爲ヲナスヲ云フ。カノ使者通辯手代等ノ如ク、其權限內ニ於テ、自由ニ意思ヲ決定シ、之ヲ其本人ノ名ニ於テ表示スルニアラズシテ、只單純ナル、一種ノ意思傳達機關タルニ過ギザルモノトハ、之ヲ區別セザルベカラズ。代理行爲ヲナス人ヲ代理人ト稱シ、代理行爲ニヨリテ、直接ニ、利害ノ效果ヲ受クベキ人ヲ本人ト云フ。

民、一〇二、
復代理。

代理人ハ、自己ノ代理權ノ範圍內ニ於テ、復代理人ヲ選定スル場合アリ。是ヲ復代理ト云ヒ、復代理權ヲ有スル人ヲ復代理人ト云フ。

代理ハ、意思能力ヲ有スル以上ハ、何人ニテモ、之ヲナスヲ得

ベク、未成年者、婦女子ノ如キモ、尚代理人タルコトヲ得。代理人ノナシタル法律行爲ノ效果ハ、代理人ニ歸セズシテ、直接、本人ニ歸スベキモノナリ。

民、九九、
代理權。

代理權トハ、代理ヲナシ得ル權能ニシテ、他人ノ名ニ於テ、直接ニ效果ヲ及ボサシムベキ目的ヲ以テ、其人ノ名ニ於テ、法律行爲ヲナシ得ル權能ヲ云フ。此權能ヲ得ルハ、或ハ委任契約ニヨリ、或ハ法律ノ規定ニヨル。普通ノ代理權ハ、大抵委任契約ニヨリテ得ルモノナレドモ、親權ヲ行フ父母又ハ後見人ガ、未成年者、又ハ禁治產者ノ代理人トナリ、若クハ理事ガ、法人ノ代理人トナルガ如キハ、何レモ法律ノ規定ニヨルモノナリ。

民、九〇、
民、八八四、
民、五三、

代理ノ種類。
法定代

次ニ代理ハ、之ヲ下ノ如ク區別スルコトヲ得。

(一)法定代理及任意代理。法定代理トハ、法律ノ規定ニヨリ

理及任意代理。

有權代理及無權代理。

民、一一三、

有限代理及無限代理。

民、一〇三、

テ、當然生ズル代理ヲ云ヒ、任意代理トハ、當事者ノ意思ニヨリテ成ル代理ヲ云フ。父母、後見人、夫、法人ノ理事等ノ代理ハ、法定代理ニ屬ス。

(二)有權代理及無權代理。 有權代理トハ、代理權ヲ有スルモノヽ代理ニシテ、無權代理トハ、代理權ヲ有セザルモノヽ代理ナリ。代理權ヲ有セザルモノガ他人ノ代理人トシテナシタル行爲ハ、本人ガ追認ヲナスニアラザレバ、本人ニ對シテ效力ヲ生ズルコトナシ。

(三)有限代理及無限代理。 權限ノ特定セル代理ハ、之ヲ有限代理ト稱シ、權限ノ特定セザル代理ハ、之ヲ無限代理ト云フ。無限代理ハ、權限特定セザルヲ以テ、代理トシテ、如何ナル行爲ヲナスモ差支ナキヤト云フニ、然ラズ。權限ノ定ナキ代理人ハ、只管理行爲ノミヲナス權限ヲ有スベキモノ

表示代理及不表示代理。

民、一〇〇、

代理權ノ消滅。

民、一一一、

民、一一二、

ナリ。

(四)表示代理及不表示代理。 表示代理トハ、相手方ニ對シテ、本人ノ爲ニスルコトヲ示シテナス代理ニシテ、不表示代理トハ、本人ノ爲ニスル意思ヲ示サズシテナス代理ナリ。故ニ、嚴密ニ云フ時ハ、不表示代理ハ眞ノ代理ニアラズト云フモ妨ゲナシ。故ニ此場合ニハ、相手方ニシテ、代理人ガ、本人ノ爲ニスルコトヲ知リ、又ハ知リ得ベカリシ時ノ外ハ、其行爲ノ效果ハ、表意者自身ニ歸スベキモノトス。

代理權ハ、下ノ場合ニ於テ消滅ス。

(一)本人ノ死亡。

(二)代理人ノ死亡、禁治產、又ハ破產。

(三)其他、委任代理ニ於ケル場合ハ、委任契約ノ終了。

代理權消滅シタル時ハ、本人ハ、代理人ノ行爲ニツキ、其效果

條件。

ヲ引受クベキモノニアラザルガ如キモ、第三者ガ過失ニヨリテ、其事實ヲ知ラザリシ場合ノ外ハ、是ヲ以テ、善意ノ第三者ニ對抗スルヲ得ズ。

第五節　條件及期限

法律行爲ヲナスニ當リ、其效果ヲ制限センガ爲ニ、或他ノ意思表示ヲ附隨セシムルコトアリ。此意思表示ヲ法律行爲ノ附欵ト稱シ、之ニ條件ト、期限トノ二種アリ。

條件トハ、法律行爲ノ效力ノ發生、又ハ消滅ヲ、或不確實ナル事實ニ懸ラシメタル時、其不確實ナル事實ヲ指稱セルモノナリ。例ヘバ「明日晴天ナラバ、業務ニ從事スベシ」ト云ヒ、或ハ「昨日、某船御地ニ着港シ居ラバ、其積荷ヲ壹千圓ニテ賣却スベシ」ト云フガ如ク、「明日晴天ナラバ」ト云ヒ、或ハ「昨日、某船御地ニ着港シ居ラバ」ト云フハ、何レモ條件ナリ。斯ノ如ク、條件タ

停止條件。

解除條件。

ルベキ事項ハ、事實ニシテ、且不確實ナラザルベカラズ。「天落チナバ、云々」或ハ「余死セバ、云々」ト云フガ如キハ、條件トナラズ。又、事實ノ不確實テフコトハ、當事者間ニ於テ、現ニ不確實ナレバ足ル。其事實ガ、過去ノ事實タルト、現在ノ事實タルト、將タ、將來ノ事實タルトノ如キハ問フヲ要セズ。然リ而シテ、其條件ノ成就スル迄ハ、權利義務ノ發生、消滅モ亦、全然不確定ノモノタリ。

條件ニハ、停止條件、解除條件ノ二種アリ。一ハ、其條件ノ成就ニヨリテ法律行爲ノ效力ノ發生スルモノニシテ、他ハ其成就ニヨリテ、法律行爲ノ效力ノ消滅スルモノナリ。例ヘバ、「余出立セバ、家屋ノ修繕ヲナサシムベシ」ト云フガ如キハ、停止條件附法律行爲ニシテ、「余歸國セバ、汝ニ貸與シタル家屋ハ、モハヤ貸與セザルベシ」ト云フガ如キハ、解除條件附法律行

期限。
始期。
終期。

爲ナリ。期限トハ法律行爲ノ履行及不履行ヲ確實ナル將來ノ事實ニ懸ラシメタル時其確實ナル將來ノ事實ヲ指稱ス。例ヘバ(イ)「余死亡シタル時ハ遺產ヲ汝ニ贈與スベシ」(ロ)「某年某月迄每月金百圓宛汝ニ贈與スベシ」ト云フガ如ク「余死亡シタル時」ト云ヒ「某年某月迄」ト云フハ何レモ期限ナリ。期限ハ條件ト異ナリ必ラズ將來ニ來ルベキ事實ニシテシカモ其事實ハ到來確實ナラザルベカラズ。而シテ期限ハ法律行爲ノ履行又ハ不履行ヲ之ニ繫ラシメタルモノナレバ其到來ニヨリテ法律行爲ノ履行ヲ請求シ得ルカ得ザルカノ結果トナル。サレバ期限ニモ亦其到來ニヨリテ履行ノ請求ヲナシ得ベキ期限卽始期ト其到來ニヨリテ履行ノ請求ヲナシ得ザルベキ期限卽終期トノ區別アリ。前顯(イ)ノ例ノ如キハ始期

不確定期限。
確定期限。
期間。

ヲ示シ(ロ)ノ例ハ終期ヲ示セルモノナリ。又前例ノ如ク其到來ノ時期ノ何時ナルカ不確定ナルモノヲ不確定期限ト稱シ後例ノ如ク其確定セルモノヲ確定期限ト云フ。

第五章　時

時ノ經過ハ種々ノ關係ニ於テ權利ノ得喪變更ニ關シ法律上重大ナル事實ナレドモ就中期限期間時效ノ三者ニ於テ最モ研究ヲ要ス。期限ハ既ニ畧說シタルヲ以テ是ヨリ期間及時效ニツキ說明ヲ試ミントス。

第一節　期間

凡テ一ノ限定セラレタル時ヲ期間ト稱ス。期間ハ權利ノ得喪變更ニ關係スルコト極メテ廣ク一定ノ期間ノ經過ニヨリ或ハ權利ヲ得或ハ之ヲ失フコトアリ。或ハ又一定ノ期間

民、一六二、
民、一六七、
民、二七八、
民、一二六、

民、一三九、
一一四二、

ヲ經過スレバ存立セザル權利アリ。又、一定ノ期間滿了後ハ行使スルヲ得ザル權利アリ。其實用ノ多キ、殆ンド枚擧ニ暇アラズ。試ニ、今、三四ノ例ヲ上グレバ、平穩且、公然ニ、所有ノ意思ヲ以テ、他人ノ物ヲ占有スル時ハ、其所有權ヲ取得シ、債權ハ、十年間之ヲ行ハザルニヨリテ消滅シ、永小作權ハ、五十年ヲ超ユルヲ得ズ。又、無能力者ノ取消權ハ、能力回復ノ時ヨリ五年、又ハ行爲ノ時ヨリ二十年以內ニ行ハザルベカラザルガ如シ。

期間ノ、法律行爲ニ及ボス效果、此ノ如ク大ナリトスレバ、其計算法モ、決シテ忽ニスベカラズ。凡ソ、期間ノ計算ハ、若シ、時ヲ以テスル時ハ、卽時ヨリ起算シ、日、週、月又ハ年ヲ以テ定ムル時ハ、期間ノ初日ハ算入セズ、其翌日ヨリ起算シ、期間ノ末日ノ終了ヲ以テ滿期トス。サレドモ、其末日ガ、大祭日、日曜日、

民、一四三、

水曜日ヨリ三週間、
日、日、日、
月、月、月、
火、火、火、
水、初日、水、水、水、滿期日、
木、起算日、木、木、木、應當日、
金、金、金、
土、土、土、
二月二十八日ヨリ五ケ月、
二月廿八日、初日、
三月一日、起算日、
四月一日、
五月一日、
六月一日、
七月一日、
○七月三十一日、滿期日、
八月一日、應當日、
大正元年八月一日ヨリ三ケ年、
元年八月一日、初日、
元年八月二日、起算日、
二年八月一日、
三年八月一日、
○四年八月一日、滿期日、
四年八月二日、應當日、
一月三十日ヨリ滿三ケ月、
一月三十日、初日、
一月卅一日、起算日

其他ノ休日ニ當ル時ハ、其日ニ取引ヲナサヾル慣習アル場合ニ限リ、其翌日ヲ以テ期間滿了トス。又、期間ヲ定ムルニ、週月、年ヲ以テシタル時ハ、暦ニ從フベキモノトシ、月ノ大小、年ノ平閏ノ如キハ、期間ニ關係ナシ。次ニ、週、月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ計算セザル時ハ、其期間ハ、最後ノ週、月、又ハ年ニ於テ、其起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了スベキモノトス。例ヘバ、水曜日ヨリ三週間ト云ヘバ、其週ヲ除キ、第三次ノ週ノ木曜日(應當日)ノ前日、卽、水曜日ヲ以テ滿了シ、二月廿八日ヨリ五ケ月ト云ヘバ、三月ヨリ第六次ノ月ノ一日(應當日)ノ前日、卽、七月三十一日ヲ以テ滿了シ、大正元年八月一日ヨリ滿三ケ年ト云フ時ハ、元年ヲ除キ、第三次ノ年ノ八月二日(應當日)ノ前日、卽、大正四年八月一日ヲ以テ滿了ス。モシ、最後ノ月ニ應當日ナキ時ハ、其月ノ末日ヲ以テ滿了日トス。例ヘバ、

○二月二十八日、三月三十一日、四月三十日、滿了日、應當日ナシ、

時效。

取得時效。

民、一六二、一六三、

一月三十日ヨリ滿三ケ月ト云フ時ハ、四月ニハ三十一日ト云フ應當日ナキヲ以テ、四月三十日ヲ以テ滿了日トスルガ如シ。

第二節 時效

時效トハ、法定ノ條件ヲ具備シツヽ、一定ノ時ノ經過スルニヨリテ、權利ヲ取得シ、或ハ之ヲ消滅セシムルコトヲ得ル方法ヲ云フ。此規定ハ、全ク、公益ノ爲ニ設ケラレタルモノニシテ、分ツテ、取得時效、及消滅時效ノ二トス。時效ニヨリテ取得シ、消滅スル權利ハ、大抵財產權ノミニシテ、人格權、親族權等ノ人身權ハ、時效ニカヽルコトナキヲ原則トス。

取得時效トハ、權利ヲ取得スル效力ヲ有スル時效ナリ。之ニ要スル法定ノ條件ハ、占有、及準占有ニシテ、一定ノ期間、他人ノ所有物ヲ占有シ、若クハ自己ノ爲ニスル意思ヲ以テ、所有

消滅時效。

民、一六七、一七四、

時效ノ中斷及停止。

時效ノ中斷。

民、一四七、

權以外ノ財產權ヲ行使セザルベカラズ。

消滅時效トハ、權利ヲ消滅セシムル效力ヲ有スル時效ナリ。其完成ニ必要ナル法定ノ條件ハ、權利ノ不行使ニシテ、一定ノ期間、所有權以外ノ財產權ノ不行使ナカルベカラズ。所有權ハ、如何ナル場合ト雖消滅時效ニカヽルコトナシ。

時效ノ進行ハ、或原因ノ爲ニ妨ゲラルヽコトアリ、時效ノ中斷、及停止ト稱スルハ、畢竟此意ナリ。

(一)時效ノ中斷。 時效ノ中斷トハ、時效ノ進行中、或原因ノ爲、其進行ヲ妨ゲラレ、之ガ爲、其妨害以前ニ經過シタル時ノ利益ノ全部ヲ失フヲ云フ。其原因ハ(イ)請求、(ロ)差押、及、假差押又ハ假處分(ハ)承認ノ三ニシテ、時效ガ占有又ハ權利ノ不行使ニヨリテ完成スルモノトスレバ、若シ、占有、回復、若クハ義務履行ノ請求アリタル時ハ、時效ノ進行ガ中

時效ノ停止。

斷セラル、ハ理ノ當然ナルベク、又差押、假差押、及假處分ハ、何レモ、占有者、又ハ義務者ガ任意ニ權利者ノ請求ニ應ゼザル場合ニ行ハレ、承認ハ、占有者、又ハ義務者ガ、進ンデ權利者ノ權利ヲ認ムル場合ニシテ、何レモ、中斷ノ原因タルコト疑ナカルベシ。一旦、時效ノ中斷アリタル時ハ、其中斷ノ原因止ミタル後、更ニ新ニ、時效ノ進行ヲ始ムルモノトス。

(二)時效ノ停止。 時效ノ停止トハ、時效進行中、或原因ノ爲、其進行ヲ妨ゲラレ、時效ハ、之ガ爲ニ、一時、其進行ヲ中止シ、其妨害止ミタル時、復、續イテ其效力ノ進行スルヲ云フ。此場合ニ於テハ、妨害前ノ時ノ利益ヲ失フコトナシ。而シテ、停止ノ原因ハ、(イ)身分ヨリ生ズルモノ、(ロ)權利ノ性質ヨリ生ズルモノ、(ハ)事實ヨリ生ズルモノ、三アリ。未成年者、

民、一五八、一五九、一六〇、

又ハ禁治産者ガ、法定代理人ヲ有セザリシ時、其者ガ、能力者トナリ、又ハ法定代理人ガ、就職シタル時ヨリ六ケ月內ハ、之ニ對シテ時效完成セザル如キハ、(イ)ノ場合ナリ。相續財産ニ關シテ、相續人確定シ、管理人選任セラレ、又ハ破産ノ宣告アリタル時ヨリ六ケ月內ハ、時效完成セザル如キハ、(ロ)ノ場合ニシテ、

民、一六一、

時效ノ期間滿了ノ時ニ當リ、天災、其他避クベカラザル事變ノ爲、時效ヲ中斷スルコト能ハザル時、其妨碍ノ止ミタル時ヨリ二週間內ハ、時效完成セザル如キハ、(ハ)ノ場合ニ屬スベキモノトス。

第六章 物權

第一節 總則

物權ノ性

物權ガ、物ノ上ニ、直接ニ行ハレ、一般人ニ對抗スルコトヲ得

物權ノ特質。

追及權。

優先權。

ル權利ナルコトハ、既ニ說明セシ所ノ如シ。サレバ、物權ヲ有スル人ハ、其目的物ヲ自己ノ意思ニ服從セシメ、何人ニモ對抗スルコトヲ得ルガ故ニ、物權ガ他人ノ物ノ上ニ存スル時ハ、特ニ、左記ノ效力ヲ生ズ、

(一)**追及權**。追及權トハ、目的物ガ、何人ノ手ニアルニ拘ハラズ、其所在ニ追及シテ、權利ヲ行使シ得ルヲ云フ。例ヘバ、甲ナル人ガ、乙ノ所有地ノ上ニ、永小作權ヲ有スル時ハ、乙ガ、何人ニ其土地ヲ讓渡スト云フトモ、甲ハ、依然トシテ其土地ニ、永小作ヲナシ得ルガ如キヲ云フ。

(二)**優先權**。物權ヲ取得セルモノハ、後日、其同一目的物ノ上ニ同種、又ハ異種ノ權利ヲ取得シタルモノアルモ、是等ノ人ニ優先シテ、先ヅ、自己ノ權利ヲ行使シ得ルモノニシテ、之ヲ、優先權ト云フ。例ヘバ、甲者、乙、丙、丁ノ三人ヨリ、各々金

物權ノ種類。

民、一七五、

百圓ヲ借入レ、乙者ニ對シ、其住家ヲ抵當ニ供シタル時ハ、後日、甲、若シ、債務辨濟ノ力ナク、財產差押ヲ受ケタル場合ト雖、其住家ノ賣得金ヨリハ、乙、先ヅ其辨濟ヲ受ケ、然ル後ニアラザレバ、丙、丁等ハ、其賣得金ヨリハ辨濟ヲ受クルヲ得ズ。又乙、丙、丁三人共、此住家ニ對シ、抵當權ヲ有スル時ハ、其抵當權設定ノ日附ノ前後ニヨリ、權利行使ノ優劣ヲ定ムルモノナリ。

物權ハ、法律ニ定ムルモノ、外、妄リニ、之ヲ創設スルヲ許サズ。我民法ニ於テハ、(一)占有權(二)所有權(三)地上權(四)永小作權(五)地役權(六)留置權(七)先取特權(八)質權(九)抵當權ノ九種ヲ認メタリ。學者、多ク用益物權、擔保物權等ノ名稱ヲ用ユレドモ、是レ、個々ノ物權ニ名附ケラレタル名稱ニアラズ。只、其性質相似タルモノヲ概括シタル稱呼ニ外ナラズ。卽、用益物權ト

ハ、物ノ使用、收益ヲ目的トシタル物權ニシテ、地上權、永小作權、地役權等ヲ包括シ、擔保物權トハ、債權ヲ擔保スル爲ニ定メラレタル物權ニシテ、留置權、先取特權、質權、抵當權ノ四種ノ物權ヲ總稱シタルモノナリ。

物權ノ得喪。　民、一七六、　民、一七八、　民、一七七、

物權ノ得喪ハ、當事者ノ意思表示ノミニヨリテ成立シ、別ニ何等ノ形式ヲ要セズ。サレバ、賣買ノ契約結バレタル時ハ、其目的物ノ引渡等ノ事ナク、又代金ハ支拂ハレズトモ、既ニ所有權ノ移轉ハ結了セルナリ。サレドモ、是レ當事者間ニ於テ有效ナルノミニシテ、若シソレ物權ノ得喪ヲ第三者ニ對シテ有效ニ主張セントスル爲ニハ、動產ニ於テハ、目的物ノ引渡、不動產ニアリテハ、之ガ登記ヲナサザルベカラズ。

第二節　占有權

占有權ノ意義及其取得。　民、一八〇、

占有權トハ、自己ノ爲ニスルノ意思ヲ以テ、物ヲ所持スルヲ云フ。サレバ、占有權ヲ取得スルニハ、

第一ニ、目的物ノ所持ナカルベカラズ。所持ト云フモ、必ラズシモ、身體ニ實際接觸セザルベカラズト云フニアラズ。倉庫ニ貯藏スルモ或ハ地中ニ埋藏シ置クモ、自己ノ支配シ得ル範圍內ニ置ケバ足ル。

第二ニ、自己ノ爲ニスル意思ナカルベカラズ。此意思ナキ時ハ、假令、一時、物ヲ所持スルモ、決シテ、占有ト云フベカラズ。例ヘバ、手代ナドガ、主人ノ爲ニ物ヲ所持スルガ如キハ、此意思ナキヲ以テ占有ト云フヲ得ズ。

斯ク物ノ所持ト、自己ノ爲ニスル意思トノ兩者、具ハツテ、始メテ占有權ヲ得タリト云フヲ得ベシ。而シテ、此兩要素ヲ具備スル以上ハ、侵奪者ガナス占有モ、所有者ガナス占有モ、占有タルノ點ニ於テハ、何等相異ナルコトナシ。

占有ノ種類。

自主占有。

容假占有。

法律上效果ヲ生ズル占有ハ之ヲ法定占有ト云フ。法定占有ニハ、自主占有（或ハ單ニ占有トモ云フ）及、容假占有（或ハ準占有トモ云フ）ノ二種アリ。自主占有トハ、所有ノ意思ヲ以テスル占有ニシテ、例ヘバ、所有者ノ占有ノ如シ。容假占有トハ、所有ノ意思ヲ以テスルニアラズ、只、自己ノ利益ノ爲ニスル意思ヲ以テスル占有ニシテ、例ヘバ、地上權者、永小作權者、質權者等ガナス占有ノ如キヲ云フ。

正權原ノ占有。

無權原ノ占有。

法定占有ハ、又、之ヲ正權原ノ占有、及、無權原ノ占有ノ二トス。正權原ノ占有トハ賣買、贈與等ニヨリテ得タル占有ノ如ク、正當ナル權利ノ行使ニ基キテ得タル占有ニシテ、無權原ノ占有トハ、正權原ノ占有ニアラザル占有ナリ。盜賊ノ占有ノ如キ、或ハ詐僞ニヨル占有ノ如キ、皆、此例タリ。

善意ノ占有。

法定占有ニハ、又、占有者ガ、適法ニ占有權ヲ取得シタリト信

惡意ノ占有。

ジテナス善意ノ占有ト、然ラザル惡意ノ占有トアリ。買主ノ占有ノ如キハ、前者ノ例ニシテ、窃盜ノ占有ノ如キハ、後者ノ例ナリ。

有瑕疵占有。

強暴占有。隱祕占有。

無瑕疵占有。

平穩占有。公然占有。

法定占有ハ、又、有瑕疵占有、無瑕疵占有ノ二ニ區別ス。有瑕疵占有ハ、更ニ又強暴占有、隱祕占有ノ二ニ分チ、無瑕疵占有ハ、平穩占有、公然占有ノ二ニ區分スルコトヲ得。強奪ニヨル強暴占有、又ハ埋藏物ナドヲ公告セズシテ占有スルガ如キ隱祕占有ハ、有瑕疵占有ニシテ、強暴占有ニモアラズ、又、隱祕占有ニモアラザル占有ハ、平穩、公然ナル占有ニシテ、所謂無瑕疵占有ナリ。

占有權ノ効力。

占有權ヲ得タルモノハ、其結果トシテ、下ノ利益ヲ享受スルコトヲ得。

法律上推定ヲ受ク。

（一）占有者ハ、所有ノ意思ヲ以テ、善意、平穩、且、公然ニ、占有ヲナ

ルノ利益
民、一八六、
民、一八八、

スモノト推定セラル。

(二)占有者ガ、占有物ノ上ニ行使スル權利ハ、之ヲ適法ニ有スルモノト推定セラル。

占有者ハ、以上二ツノ利益ヲ有スルガ故ニ、何人ニテモ、若シ、占有者ガ適法ニシテ、善意、平穩、且、公然ナル占有者ニアラザルコトヲ主張セントスル者ハ、證據ヲ擧ゲテ、之ヲ證明セザルベカラズ。占有者ニ於テハ、只、反證ヲ擧グルヲ以テ足レリトス。

果實收得ノ利益。
民、一八九、

(三)善意ノ占有者ハ、占有物ヨリ生ズル果實ヲ收得スルコトヲ得。

取得時效ノ利益。
民、一九二、

(四)平穩、且、公然ニ、動產ノ占有ヲ始メタルモノガ、善意ニシテ過失ナキ時ハ、卽時ニ、其動產ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス。

占有訴權ノ利益。
民、一九八、
民、一九九、
民、二〇〇、

(五)占有者ハ、其物ノ占有ヲ現在ニ於テ妨害セラルル時ハ、占有保持ノ訴ヲ提起シ、將來其占有ヲ妨害セラレントスル虞アル時ハ、占有保全ノ訴ヲ、又、既ニ其占有ヲ奪ハレタル時ハ、占有回收ノ訴ヲ提起シテ、各々、其占有ヲ確實ナラシムルコトヲ得。

占有權ノ消滅。
民、二〇三、
民、二〇四、

占有權ハ、占有者ガ、占有ノ意思ヲ拋棄スルカ、若クハ占有物ノ所持ヲ失フカニヨリテ消滅ス。尙代理人ニヨリテ、占有ヲナス場合ニ於テハ、(一)本人ガ、代理人ヲシテ、占有ヲナサシムル意思ヲ拋棄シタルカ(二)代理人自身ガ、本人ニ對シ、爾後、自己、又ハ第三者ノ爲ニ、占有物ヲ所持スベキ意思ヲ表示シタル時、又ハ(三)代理人ガ、占有物ノ所持ヲ失ヒタル場合ニ、其占有權ハ消滅スルモノトス。

第三節　所有權

所有權ノ意義。

民、二〇六、

虛有權。

所有權トハ、法令ノ制限內ニ於テ、自由ニ、其所有物ヲ使用シ、收益シ、及、處分スルコトヲ得ル權利ナリ。サレバ、所有權ヲ有スルモノハ、或ハ書籍ヲ閲讀シ、或ハ土地ヲ耕作シ、又、或ハ家屋ニ住居スルガ如ク、其有所物ヲ自己ノ利益ノ爲ニ使用スルコトヲ得ルノミナラズ、又、其物ヲ他人ニ賃貸シテ、貸料ヲ得、或ハ土地ヲ耕作シテ、穀物ヲ收穫スル等、ソレ等ノ物ヨリ生ズル果實ヲ收得スルコト（收益）ヲ得。其他、尙、其物ヲ賣却、贈與等ノ手段ニヨリテ他人ニ讓渡シ、又ハ遺棄破毀等ニヨリテ消費シ、或ハ耕地ヲ宅地トシ、書籍ヲ反古トシ、家屋ハ之ヲ燃料トスルガ如ク、變質ヲモナシ得ル權利、卽、處分權ヲモ併有ス。

所有權ハ、上述ノ如ク、使用、收益、處分等ノ作用ヲ有スルモノナレドモ、時トシテハ、是等ノ三作用ノ中、處分權ヲ除キ、使用、

收益ノ三作用ハ、其一、又ハ二作用共、之ヲ他人ニ屬セシムルコトアリ。例ヘバ、其所有物ヲ入質シ、又ハ其上ニ地上權、地役權、永小作權等ノ用益物權ヲ設定セシムル場合ノ如シ。斯ノ如ク、三作用ヲ完備セザル場合ノ所有權ヲ、特ニ虛有權ト稱ス。

所有權ノ限界。

完全ナル所有權ハ、既ニ述ベタル如ク、自由ニ、物ヲ使用、收益、處分スルコトヲ得ル權利ナレドモ、極端ニ、其權利ノ自由ヲ認ムル時ハ、公安、公益ヲ害シ、相隣地ノ他人ヲシテ、迷惑ヲ被ラシムルコトナキニアラズ。故ニ、法律ハ、之ニ制限ヲ加ヘ、所有權者ト雖、濫リニ公安、公益、及、他人ノ利益ヲ侵害スルコトヲ得ザラシメタリ。而シテ、公安、公益ノ必要ニ關シテハ、公法ニ之ヲ規定セルガ、公用徵收ノ如キハ、其最モ著シキモノナリ。相隣地ノ關係ニツキテハ、民法第二百六條以下第二百三

所有權ノ得喪。民、二三九、

民、二四〇、民、二四一、

民、二四二、—二四八、

十八條迄ニ、所有權ノ限界トシテ、之ガ規定ノ設ケラレタルヲ見ル。

所有權ハ、法律行爲、時效、相續等ノ如キ、權利得喪ノ一般ノ原因ニヨリテ得喪スルハ勿論ナレドモ、此外ニ、先占、及、添附ニヨリテ、之ヲ取得スルコトヲ得。先占トハ、最先ニ、無主物ヲ、占有スルノ意ニシテ、例ヘバ、山野ニ走奔セル禽獸ヲ捕獲シ、河海ニ游ベル魚介ヲ捕フルニヨリテ、其所有權ヲ取得スルガ如シ。(但シ、無主ノ不動産ハ、國庫ニ歸屬スベキモノニシテ、先占ニヨリテ所有權ヲ取得スルコトナシ)又、遺失物、埋藏物ハ、特別法ノ規定ニ從ヒ、之ヲ公告シタル後、一年、又ハ六ケ月ノ期間ヲ經過シ、尚、其所有者不明ナル時ハ、拾得者、又ハ發見者、其所有權ヲ取得ス。添附トハ、或物ガ、他ノ物ト附着セルカ、又ハ他人ノ勞力ト結合セル事實ヲ稱セルモノニシテ、此事實

地上權。民、二六五、

民、二六五、工作物トハ家屋、築山、池水ノ如キヲ云フ。

民、二六八、

アルニヨリテ、不動産、又ハ動産ノ所有權ヲ取得スルモノナリ。

第四節　用益物權

用益物權ノ性質、及、其種類ハ、既ニ説明セル所ニヨリテ明ナリ。今、左ニ其詳細ニ亘ツテ、少シク説明スル所アラントス。

地上權。地上權トハ、他人ノ土地ニ於テ、工作物、又ハ竹木ヲ、所有スル爲ニ、其土地ヲ使用スル權利ナリ。而シテ、地上權ヲ設定スルニハ、有償タルコトアリ、又、無償タルコトアリ、豫メ、其存續時期ヲ定ムルコトアリ、又、之ヲ定メザルコトアリ。地上權ニシテ、若シ、其存續期間ノ定メナキ時ハ、地上權者ハ、何時ニテモ、之ヲ拋棄スルコトヲ得ベキモ、有償ノ場合ニ於テハ、一年前ニ、之ヲ土地所有者ニ豫告スルカ、又ハ爾後一年分ノ地代ヲ支拂ヒテ、始メテ、之ヲ拋棄スルコトヲ得。尚、地上權

者ハ、其權利消滅ノ時ニ當リテハ、其土地ヲ原狀ニ復シ、工作物、又ハ竹木ヲ收去スルコトヲ得ルモノナリ。

永小作權　民、二七〇、

永小作權。 永小作權トハ、一定ノ小作料ヲ拂ヒテ、他人ノ土地ニ、耕作又ハ牧畜ヲナシ得ル、ノ權利ナリ。其必ラズ、有償ナラザルベカラザル點ハ、地上權ト異ナル所ナリ。

民、二七一、

永小作人ハ、其土地ニ、牧畜耕作ヲナス目的ヲ以テ、之ヲ使用スルハ何等差支ナキモ、土地ニ永久ノ損害ヲ生ズベキ變更ヲ加フルヲ得ズ。例ヘバ、水田ヲ變ジテ畑トシ、或ハ宅地トナスガ如キハ、法律ノ許サヾル所ナリ。

民、二七八、

其存續期間ハ二十年以上五十年以下トシ、之ヨリ短キ、又ハ長キ期間ヲ以テ、永小作權ヲ設定スルヲ得ズ。

民、二七四、―二七六、

而シテ、此期間內ハ、永小作人、土地所有者共ニ、一方ノミノ便宜ニヨリ、隨意ニ、其權利ヲ拋棄スルヲ得ズ。只、法定ノ場合ニ限リ、或ハ其權利ヲ拋棄シ、又ハ其消滅ヲ請求スル

コトヲ得。又、永小作權ハ、收益ニ損害ヲ受ケタル時ト雖、小作料ノ減額、又ハ免除ヲ請求スルヲ得ズ。

民、六〇四、　普通、所謂小作。

之等ノ點ハ、普通行ハル丶、小作ト異ナレル所ニシテ、普通小作ト稱セラル丶、モノハ、多クハ物權ニアラズシテ、土地ノ賃貸借ニ過ギザレバ、其存續期間ハ、二十年ヲ超ユルコトヲ許サヾルモノト見ルヲ得ベシ。然レドモ、小作料ノ減額免除ノ請求ノ如キハ、大抵之ヲ當事者ノ隨意トセルガ如シ。

地役權。民、二八〇、

地役權。 設定行爲ヲ以テ定メタル目的ニ從ヒ、他人ノ土地ヲ自己ノ土地ノ便益ニ供スルコトヲ得ル權利ナリ。其成立ノ爲ニハ所有者ヲ異ニシ、シカモ、相隣接セル二個ノ土地アルコトヲ要ス。而シテ、其便益ニ供セラレタル土地ヲ承役地ト稱シ、便益ヲ受クル土地ヲ要役地ト云フ。例ヘバ、甲地ノ水ヲ乙地ニ引カンガ爲ニ、甲地ニ溝渠ヲ設クルガ如キ、又ハ乙

地ヨリ通路ニ往來センガ爲、甲地ヲ通行スルガ如キ場合ニ於テ、乙ハ、甲地ニ對シテ地役權ヲ設定セリト云ヒ、甲地ヲ承役地乙地ヲ要役地ト稱ス。

第五節　擔保物權

既ニ說明セルガ如ク、擔保物權トハ、債權ノ擔保トシテ、設定セラル、物權ニシテ、留置權、先取特權、質權、抵當權ノ四種、即、之ニ屬ス。

留置權。　民、二九五、

留置權。 留置權トハ、他人ノ物ヲ適法ニ占有シタルモノガ、其物ニ關シテ生ジタル債權ノ辨濟ヲ受クル迄、其物ノ占有ヲ持續スルヲ得ル權利ヲ云フ。然レドモ、其債權ガ、辨濟期ニ達セザレバ、其物ノ占有權ハ存在スルコトアルモ、留置權ハ生ズルコトナク、其債權ガ辨濟期ニ至ツテ、始メテ生ズル權利ナリ。又、留置權ハ債權ノ原因タル物ニツキテ存スル權利

民、二九七、　民、二九六、

ニシテ、其他ノ物ニツキテ存スルモノニアラズ。サレバ、甲物ニ關シ生ジタル債權ナラバ、甲物ニツキテハ、留置權生ズルコトアルモ、乙物上ニハ存在スルコトナシ。然リ而シテ、留置權者ハ、留置物ヨリ生ズル果實ヲ收取シ、他ノ債權者ニ先チ、之ヲ自己ノ債權ノ辨濟ニ充當スルコトヲ得ベク、債權ノ全部ノ辨濟ヲ終ル迄ハ、留置物ノ全部ニツキ、其權利ヲ行フコトヲ得ルモノトス。

先取特權。　民、三〇三、

先取特權。 先取特權トハ、法律上一定ノ債權者ガ、他ノ債權者ニ先チテ、債務者ノ一般又ハ特別ノ財產ニツキ、自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ云フ。其債務者ノ一般財產上ニ先取特權ヲ有スルカ、又ハ特別ノ財產上ニ先取特權ヲ有スルカニヨリ、一般ノ先取特權、及、特別ノ先取特權ノ二ニ分ツ。特別ノ先取特權ハ、更ニ、之ヲ動產上ノ先取特權ト、不動產上ノ

民、三〇六、
民、三一一、
民、三二五、
先取特權ノ競合。
民、三二九、一三三二、
質權。
民、三四二、

先取特權ト一ノ二ニ區別スルコトヲ得。一般ノ先取特權トハ、債務者ノ總財産上ニ先取特權ヲ有スルヲ云ヒ、動産上ノ先取特權トハ、債務者ノ動産上ニ先取特權ヲ有スルモノニシテ、不動産上ノ先取特權トハ、其不動産上ニ先取特權ヲ有スルヲ云フ。而シテ、斯ノ如キ先取特權ヲ生ズル債權ノ原因ハ、何レモ、法律ヲ以テ規定セラル。

是等ノ先取特權ハ、時トシテ、同一財産上ニ二ツ以上、同時ニ幷ビ存スル場合ナキニアラズ、之ヲ先取特權ノ競合ト稱シ、カヽル場合ニ於テ、何レノ先取特權ガ、優先權ヲ有スルモノナルカハ、一ニ、法律ニ定ムル所ノ順位ニヨリテ決ス。

質權。質權トハ債權者ガ、其債權ノ擔保トシテ債務者、又ハ第三者ヨリ受取リタルモノヲ占有シ、且其物ニツキ、他ノ債權者ニ先チ、自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルヿヲ得ル權利ナリ。

民、三四八、
民、三五六、
民、三四九、
商、二七七、

故ニ、此權利ヲ有スル債權者ハ、必ラズ、質權ノ目的物ヲ占有セザルベカラズ。次ニ、其目的物ハ、動産タルモ、不動産タルモ、將タ、財産權タルモ差支ナク、凡テ、質權ノ目的物トナルヿヲ得。是レ、質權ニ、動産質、不動産質、及、權利質等ノ名稱アル所以ナリ。次ニ、動産質權者ハ、動産ノ占有ヲナスニ止マレドモ、(但シ、轉質ハ、之ヲ禁ゼズ、)不動産質權者ハ、其質物ヲ使用、收益スルヲ得。而シテ、其何レノ場合タルヲ問ハズ、質權者ハ、其質物ニツキ、他ノ債權者ニ先チテ、自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ▲スルモノナレバ、其目的ノ爲、一定ノ手續ニヨリ、質物ヲ換價シ、其代金ヲ以テ、自己ノ債權ノ辨濟ニ充ツルコトヲ得ベシ。サレドモ、設定行爲、或ハ債務ノ辨濟期前ノ契約ヲ以テ、質物其物ヲ以テ、直ニ債權ノ辨濟ニ充ツルコトヲ約スル、所謂流質契約ニヨリ、質權者ニ、質物ノ所有權ヲ取得セシム

ルコトハ法律ノ禁ズル所ナリ。（但シ、商法ニハ、此例外ヲ認ム）

抵當權。民、三六九、民、三七三、

抵當權。抵當權トハ、債權者ガ、債務者、又ハ第三者ヨリ、占有ヲ移サズシテ、債務ノ擔保ニ供シタル不動産ニツキ、他ノ債權者ニ先チテ、自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得ル權利ニシテ、抵當權ノ目的物ハ、常ニ不動産ニ限ラルヽコト、（但シ、地上權、永小作權ハ、抵當權ノ目的トスルコトヲ得）及、其占有ヲ移サヾル點等ガ、質權ト異ナル主ナル點ナリ。抵當權者ハ、債務者ガ、其債權ヲ適宜ニ履行セザル時ハ、抵當物ノ競賣ヲ請求スルヲ得ベク、裁判所ハ、民事訴訟法ニ定メタル手續ニヨリ、強制競賣ヲ行ヒ、其競落代金ヲ以テ、先ヅ、抵當權者ノ債權ノ辨濟ニ充テシムルヲ得ベシ。サレドモ同一不動産上ニ、同時ニ、數個ノ抵當權存在スル時ハ、其優先權ノ順位ハ、其登記ノ前後ニヨルモノトス。

抵當權ノ滌除。民、三七七、民、三七八、

次ニ抵當不動産ニツキ、所有權、又ハ地上權ヲ買受ケタル第三者ハ、抵當權者ノ請求ニ應ジ、之ニ其代價ヲ辨濟シテ抵當權ヲ消滅セシムルコトヲ得ベク、又抵當權者ノ承諾ヲ得タル金額ヲ拂渡シ、或ハ之ヲ供託シテ、其抵當權ノ負擔ヲ免ルヽコトヲ得ベシ。此後ノ場合ヲ抵當權ノ滌除ト云フ。

第七章　債權

第一節　總論

債權ノ意義。

債權トハ、或ル特定ノ人ガ、他ノ特定ノ人ヲシテ、特定ノ行爲、又ハ不行爲ヲナサシムル權利ナリ。故ニ此權利ハ、物權ト異ナリ、或特定ノ人ニ對抗シ得ルノミ。其權利ヲ有スル人ヲ債權者ト稱シ、其債權者ニ對シ、或特定ノ行爲、又ハ不行爲ヲナス義務ヲ負フモノヲ債務者ト云フ。債權者ハ、債務者ヲシテ、

給付。

或特定ノ行爲、又ハ不行爲ヲナサシムルコトヲ得。從ツテ、債務者ハ、債權者ニ對シ、積極的ニ特定ノ行爲ヲ爲スベキ義務ヲ負フ場合ト、消極的ニ特定ノ不行爲ヲ爲スベキ義務ヲ負フ場合トアリ。其積極的義務ヲ作爲ト稱シ、消極的義務ヲ不作爲ト稱ス。而シテ、債務者ガ、債權者ニ對シテ作爲ノ義務ヲ供スルヲ、特ニ給付ト云フ。

第二節　債權ノ目的

債權ノ目的。民、三九九、

債權ノ目的ハ、債務者ノ特定ノ作爲、又ハ不作爲ニアルコトハ、前節述ベタル所ノ如シ。若シ、債權ノ目的ガ物ニ關シテ存スル時ハ、其物ヲ債權ノ目的物ト云フ。債權ガ、一種ノ財産權ニシテ、大抵、金錢ニ見積リ得ルモノナルコトハ、曩ニ説明シタル所ナルガ、我民法ニ於テハ、債權ハ、往々、金錢ニ見積リ得ザルモノト雖、其目的トスルヲ得ルコトヽセリ。以下、債權ノ

目的ニ關スル要件ヲ畧説セン。

特定債權。民、四〇〇、

(一)**特定債權**。債權ノ目的ガ、特定物ノ引渡ナル時ハ、債務者ハ、其引渡ヲナス迄、善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ、其物ヲ保存セザルベカラズ。善良ナル管理者ノ注意トハ、通常人ノ通常ナスベキ注意ヲ云フ。

種類債權。民、四〇一、

(二)**種類債權**。債權ノ目的物ヲ指示スルニ、種類ノミヲ以テシタル場合ニ於テ、法律行爲ノ性質、又ハ當事者ノ意思ニヨリ、其品質ヲ定ムルコト能ハザル時ハ、債務者ハ、中等ノ品質ヲ有スルモノヲ給付スルコトヲ要ス。例ヘバ、米ノ賣買契約ヲナシタル時ニ當リ、上米ヲ給付ス可キカ、中米ヲ給付スベキカ、將タ、下米ヲ以テスベキカ不明ナル時ハ、中米ヲ給付スベキモノトスルガ如シ。

金錢債權。

(三)**金錢債權**。債權ノ目的物ガ、金錢ナル時ハ、債務者ハ、其選

民、四〇二、

擇ニ從ヒ、各種ノ通貨ヲ以テ辨濟スルヲ得ベシ。例ヘバ、賣買ニ於テ代價ヲ支拂フガ如キ、最モ普通ニ見ル所ナリ。サレバ、通貨ニシテ貨幣法ノ規定ニ反セザル限リハ、紙幣ヲ以テスルモ、金銀貨ヲ以テスルモ、或ハ銅貨ヲ以テスルモ、一ニ、債務者ノ隨意タリ。然レドモ、特種ノ通貨ノ給付ヲ目的トシタル場合ハ、此限リニアラズ。而シテ、金錢債務ニハ、往々、利息ヲ生ズ。是レ、當事者ノ意思ニ出ヅルコトアリ、又、法律上、當然附スベキ場合アリ。何レノ場合ニ於テモ、當事者ニ、別段、利率ノ定ナキ時ハ、法定利率ニ從フベク、若シ、此利息ニシテ一年以上延滯シ、債權者ヨリ催告アルニ拘ハラズ、債務者ニ於テ、支拂ヲナサヾル時ハ、債權者ハ、之ヲ元本ニ組入ルヽコトヲ得。

民、四〇四、民、四〇五、我民法ノ規定ニヨレバ、法定利率ハ、年五分トス。(商二七六、參照)

選擇債權。

(四)選擇債權。債權ノ目的ハ、特定スルヲ普通トスレドモ、往々數個ノ給付中、選擇ニヨリテ定マルコトアリ。此場合ニ、其選擇權ハ、債務者ニ屬ス。例ヘバ、甲者ガ、乙者ニ對シ、家屋カ、土地カノ何レカヲ賣渡スベシト約シタル場合ニ於テ、其選擇ニツキ、別段ノ定ナキ時ハ、甲者ガ、其選擇權ヲ有スルガ如シ。

民、四〇六、

第三節　債權ノ原因

債權ノ原因、種々アルベシト雖、今、我民法債權編中ニ規定セル債權ノ原因タル契約、事務管理、不當利得、不法行爲ニツキ、畧説スル所アルベシ。

第一款　契約

契約ノ意義。

契約トハ、私法上ノ效果ヲ生ゼシムル目的ヲ以テナシタル二人以上ノ意思ノ合致ナリ。サレバ、契約ニハ、當事者、必ラズ二人以上アルコトヲ要シ、一方ノ意思表示(申込)ト、之ニ對ス

ル他ノ一方ノ意思表示(承諾)トガ合致シ、シカモ、其目的トスル所ハ、私法上ノ效果ヲ生ゼシムルニアラザルベカラズ。

契約ノ種類。

契約ノ種類極メテ多シ。其主ナルモノヲ擧グレバ、下ノ如シ。

有償契約及無償契約。

(一)有償契約及無償契約。 賣買、交換等ノ如ク、當事者双方ガ利益ヲ得ル契約ハ、有償契約ニシテ、贈與ノ如ク、當事者ノ一方ノミガ、利益ヲ得ル契約ハ、無償契約ナリ。

双務契約及片務契約。

(二)双務契約及片務契約。 當事者双方ガ、義務ヲ負擔スル賣買、交換ノ如キ契約ハ、双務契約ニシテ、當事者ノ一方ノミガ、義務ヲ負擔スル使用貸借、贈與ノ如キ契約ハ、片務契約ナリ。

要式契約及不要式契約。

(三)要式契約及不要式契約。 契約ニ、格段ナル形式ヲ要スル贈與、質契約ノ如キ契約ハ、要式契約ニシテ、格段ノ形式ニ依ラズシテナスコトヲ得ル契約、例ヘバ、賣買、交換等ノ如

キ多クノモノハ、不要式契約ナリ。

有名契約及無名契約。

(四)有名契約及無名契約。 法律上一定ノ名稱ヲ有スル契約ヲ有名契約ト稱シ、然ラザルモノヲ無名契約ト云フ。我民法ニ規定セル有名契約ハ、下ノ如シ。

民、五四九、

(イ)贈與。 贈與トハ、當事者ノ一方ガ、自己ノ財産ヲ無償ニテ相手方ニ與フル契約ニシテ、相手方ガ、受諾ヲナスニヨリテ、其效力ヲ生ズ。

民、五五五、

(ロ)賣買。 當事者ノ一方ガ、或財産權ヲ相手方ニ移轉シ、相手方ガ、之ニ對シ、其代金ヲ支拂フ契約ナリ。

民、五八六、

(ハ)交換。 當事者ガ、互ニ、金錢所有權以外ノ財産權ヲ、移轉スル契約ナリ。

民、五八七、

(ニ)消費貸借。 當事者ノ一方ガ、相手方ヨリ金錢、其他ノモノヲ受取リ、後ニ至リ、同種、同質、同量ノ物ヲ償還スル契

約ナリ。普通ノ金錢貸借ノ如キ、其最好適例ナリ。

民、五九三、

(ホ)使用貸借。 當事者ノ一方ガ、相手方ヨリ或物ヲ受取リ、無償ニテ使用、收益ヲナシタル後、其物ヲ返還スル契約ナリ。

民、六〇一、

(ヘ)賃貸借。 當事者ノ一方ガ、相手方ニ或物ノ使用、收益ヲナサシメ、之ニ對シ、相手方ガ、賃金ヲ支拂フ契約ナリ。

民、六二三、

(ト)雇傭。 當事者ノ一方ガ、相手方ニ對シ、或勞務ニ服シ、相手方ガ、之ニ報酬ヲ與フル契約ナリ。

民、六三二、

(チ)請負。 當事者ノ一方ガ、相手方ニ對シ、或仕事ヲ完成シ、相手方ガ、其仕事ノ結果ニ對シテ、之ニ報酬ヲ支拂フ契約ナリ。

民、六四三、

(リ)委任。 當事者ノ一方ガ、或法律行爲ヲナスコトヲ相手方ニ委託スル契約ニシテ、相手方ガ、之ヲ承諾スルニヨ

リテ、其效力ヲ生ズ。

民、六五七、

(ヌ)寄託。 當事者ノ一方ガ、相手方ヨリ或物ヲ受取リ、相手方ノ爲ニ、其物ヲ保管スル契約ナリ。

民、六六七、

(ル)組合。 二人以上ノ各當事者ガ、勞務、又ハ財産ノ出資ヲナシ、共同シテ事業ヲ營ム契約ナリ。

民、六八九、

(ヲ)終身定期金。 當事者ノ一方ガ、自己、相手方、又ハ第三者ノ死亡ニ至ル迄、定期ニ、金錢、其他ノ物ヲ、相手方、又ハ第三者ニ給付スル契約ナリ。

民、六九五、

(ワ)和解。 當事者、互ニ、讓歩ヲナシ、其間ニ存スル爭ヲ止ムル契約ナリ。

商、二九一、二九七、三三一、三八四、四二七、等

以上十三種ノモノハ民法ノ規定スル所ナレドモ、此他、有名契約中、交互計算、匿名組合、運送契約、保險契約等ノ如ク、商法ノ適用ヲ受クベキ所謂商事契約ナルモノアリ。

契約ノ効力。
民、五三三、

危險負擔ノ問題。
民、五三四、
民、五三五、
民、五三六、

契約ニシテ、一旦成立センカ、當事者ハ、其趣旨ニ從ツテ、各々之ヲ履行セザルベカラズ。此ヲ以テ、雙務契約ニ於テハ、當事者雙方ガ債務ヲ負擔スルモノナレバ、雙方共ニ、債務履行ノ義務アリ。故ニ、相手方ガ其債務ノ履行ヲ提供スル迄ハ、當事者ノ他ノ一方ハ、自己ノ債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得。尤モ相手方ノ債務ガ、未ダ辨濟期ニアラザル場合ハ、此限リニアラズ。

物權ノ設定、移轉ヲ目的トセル雙務契約ニ於テ、其目的物ガ、債務者ノ責ニ歸スベカラザル事由ニヨリ、滅失又ハ毀損シタルコトアリタル時ハ、其損害ハ、債權者債務者、何レニ歸スベキカノ問題生ズ。之ヲ危險負擔ノ問題ト名付ケ、我民法ニ於テハ、其損害ハ、債權者ノ負擔ニ歸スト定メタレバ、今甲者乙者ニ家屋賣却ヲ約シタルニ、其家屋、類燒ノ災厄ニ罹リタ

第三者ノ爲ニスル契約ノ効力。
民、五三七、

契約ノ解除。
民、五四〇、
民、五四一、

リトセバ、其損害ハ買主タル乙者ニ歸スベキモノトス。サレドモ、是レ、其目的物ガ特定セル場合ニ限ラレ、不特定ナル時ニ於テハ、此限リニアラズ。

契約ハ、當事者ノ一方ガ、第三者ニ對シテ給付ヲナサンコトヲ約スル場合ナシトセズ。是レ所謂第三者ノ爲ニスル契約ニシテ、斯ル場合ニ於テ、第三者ガ債務者ニ對シ、其契約ノ利益ヲ享受スベキ意思ヲ表示シタル時ハ、第三者ハ、債務者ニ對シ、直接ニ其給付ヲ請求スル權利ヲ有スルモノトス。

契約ハ、當事者ノ契約ニヨリ、又ハ法律ノ規定ニヨリ、之ヲ解除スルコトヲ得。契約ニヨル解除ハ、契約中ニ、其條件ヲ表示セザルベカラザレドモ、法律ノ規定ニヨル解除ハ、別ニ、其表示ヲ待タズシテ行ハルベキモノニシテ、當事者ノ一方ガ、債務ヲ履行セザル時ハ、相手方ハ、相當ノ期間ヲ定メテ、其履行

民、五四二、

民、五四五、

ヲ催告シ、若シ其期間內ニ履行ナキニ際シテハ、他ノ一方ニ於テ、之ガ解除ヲナシ得ルガ如キ、又契約ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニヨリ、一定ノ日時、又ハ一定ノ期間內ニ履行ヲナスニアラザレバ、契約ノ目的ヲ達スルコト能ハザル場合ニ於テ、當事者ノ一方ガ、履行ヲナサズシテ、其時期ヲ經過シタル時ハ、相手方ハ、直チニ、其解除ヲナシ得ルガ如シ。例ヘバ普通ノ賣買契約ヲ結ビ、相手方ガ其代價ヲ支拂ハザル場合ニ、期限ヲ定メテ、之ヲ催告シ、尙支拂ハザル時ハ、其賣買契約ヲ解除シ得ルガ如キハ、前者ノ例ニシテ、吳服店ガ婚禮期日迄ニ、婚禮ノ衣類ヲ調達セザル場合ニ於テ、直ニ、其契約ヲ解除シ得ルガ如キハ、後者ノ例タリ。

契約解除セラレタル時ハ、各當事者ハ、其相手方ヲ原狀ニ復セシムル義務ヲ負フガ故ニ、受取リタル物ハ、之ヲ返還シ、受

事務管理。

民、六九七、

民、六九九、

民、六九七、

民、七〇〇、

民、七〇二、

ケタル利益ハ、之ヲ償還セザルベカラズ。但シ、之ガ爲ニ、第三者ノ權利ヲ害スベカラズ。

第二款　事務管理

事務管理トハ、義務ナクシテ、他人ノ爲ニ事務ヲ管理スルヲ云フ。例ヘバ、他人ノ不在中、何等依賴等ヲモ受ケズ、從ツテ管理ノ義務ヲ有セザルモノガ、好意ヲ以テ、其人ノ家屋、財產等ヲ管理スルガ如キ是ナリ。

管理者ガ、管理ヲ始メタル時ハ、遲滯ナク、之ヲ本人ニ通知シ、其事務ノ性質ニ從ヒ、最モ本人ノ利益ニ適スベキ方法ニヨリテ其管理ヲナシ、又一旦、管理ヲ始メタル時ハ、其本人、其相續人、又ハ法定代理人ガ管理ヲナスコトヲ得ルニ至ル迄、之ヲ繼續セザルベカラズ。管理人ハ、以上ノ如キ義務ヲ負擔スル一方、本人ノ爲ニ有益ナル費用ヲ出シタル時ハ、本人ニ對

不當利得。
民、七〇三、
民、七〇四、

シ、其償還ヲ請求スルコトヲ得ル權利ヲ有スルモノナリ。

第三款　不當利得

不當利得トハ、法律上ノ原因ナクシテ、他人ノ財産、又ハ勞務ニヨリ、利益ヲ受ケ、之ガ爲ニ、他人ニ損害ヲ及ボシタルヲ云フ。例ヘバ債務者ガ、過ツテ債權者ニアラザル者ニ金錢ヲ支拂ヒ、又ハ雇人ガ、雇主ニアラザル者ノ爲ニ、勞務ニ服シタルガ如キ場合ニ、其金錢ヲ受取リ、又ハ勞力ニヨリテ、利益ヲ受ケタルガ如キヲ云フ。カヽル時ハ、其利益ヲ受ケタルモノハ、其利益ノ存スル限度ニ於テ、之ヲ返還スベキ義務ヲ負フ。然レドモ、受益者ニシテ、モシ、利益ヲ受クベキ原因ナキヲ知リ乍ラ、之ヲ受ケタル時ハ、其受ケタル利益ニ利息ヲ付シテ之ヲ返還シ、尚損害アリタル時ハ、其賠償義務ヲモ負ハザルベカラズ。

不法行爲。
民、七〇九、
民、七一〇、
民七一二、—七一四、

第四款　不法行爲

故意、又ハ過失ニヨリテ他人ノ權利ヲ侵害シ、之ニヨリテ、損害ヲ被ラシメタル時ハ、名付ケテ不法行爲ト云フ。不法行爲者ハ、其侵害シタル權利ガ、他人ノ身體、自由、又ハ名譽タルト、財産權タルトニ論ナク、之ヲ賠償セザルベカラズ。然レドモ、其侵害ハ、故意、又ハ過失ニヨリト云ヒ、一ハ結果ノ生ズベキコトヲ豫期シ、一ハ結果ノ生ズベキコトニツキテ不注意ナリシ場合ニシテ、何レモ、意思能力ノ存在ヲ前提トスルガ故ニ、意思能力ナキ者、卽、未成年者、心神喪失者等ノナシタル侵害ハ、自ラ、賠償ノ責任ナキモノトス。只、是等ノモノヲ監督スベキ法定ノ義務アル者アリテ、其監督ヲ怠リタルガ爲、斯ル結果ヲ生ジタル時ハ、其監督者、之ガ賠償ノ責ニ任ゼザルベカラズ。

債權ノ效力。

遲滯ノ責任。

民、五四一、

民、四一五、

民、四一四、

第三者ニ對スル效力。

第四節　債權ノ效力

債務者ガ、債權ノ趣旨ニ從ヒ、遲滯ナク、債務ヲ履行スル時ハ、債權ノ效力ハ妨ゲラルヽコトナシト雖若シ、債務者ニシテ債務履行ノ時期到來シタルニ拘ハラズ、之ガ履行ヲ怠リ、又ハ履行ヲナサヾル時ハ、或ハ(一)契約ヲ解除セラルヽコトアルベク、(二)或ハ之ニヨリテ蒙ラシメタル損害ノ賠償ヲ請求セラルヽコトモアルベク、(三)又、不可抗力ニヨル目的物ノ損失ニツキテモ、債務者ハ、其責ヲ負ハザルベカラザルベク、(四)其他債權者ハ、裁判所ニ出訴シ、強制履行ヲ請求スル等ノコトヲナシ得ベシ。

債務者ト第三者トノ關係ハ、債權者ニ對シテ利害ノ關係ヲ有スルコト少ナカラズ。是ニ於テカ、法律ハ、債權者ヲ保護センガ爲、第三者ニ對スル債權ノ效力トシテ、間接訴權、及廢罷訴權ノ二種ノ權利ヲ認メタリ。間接訴權トハ、債權者ガ、自己ノ債權ヲ保全スル目的ヲ以テ、債務者ノ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ行フコトヲ得ル權利ニシテ、例ヘバ、債權者ガ、債務者ニ代ツテ時效ノ中斷ヲナシ、又ハ登記ヲナス權利ヲ有スルガ如キ、卽、是ナリ。

間接訴權。

民、四二三、

廢罷訴權。

民、四二四、

多數當事者ノ債權。

民、四二七、

次ニ廢罷訴權トハ、例ヘバ、財產差押ヲ免レンガ爲、其財產ヲ親族ナドヘ讓渡シタル如キ債務者ガ債權者ヲ害スルコトヲ知リテナシタル法律行爲ノ取消ヲ請求シ得ル權利ナリ。

第五節　多數當事者ノ債權

債權當事者ハ、常ニ、各々一人タルニ限ラズ。債權者債務者、双方ガ、共ニ數人タルコトアリ。又一方ガ一人ニシテ、他ノ一方ガ數人ナルコトアリ。是等ノ場合ニハ、數人ノ當事者ハ、各自平等ノ割合ヲ以テ、權利ヲ有シ、義務ヲ負フベキヲ原則トス

レドモ、當事者ノ意思ニヨリテ、不可分債務、若クハ連帶債務ノ如ク、債務者全體ニ對シテ、權利ヲ有シ、或ハ義務ヲ負フ場合アリ。又、保證債務ノ如ク、債務者間ニ於テ、主從ノ關係ニ分ツモノアリ。

不可分債務。民、四二八、

不可分債務トハ、債務ノ性質上、(例ヘバ、數人ガ、馬一頭ノ引渡ヲナス債務ヲ負フガ如シ)又ハ當事者ノ意思ニヨリテ、(例ヘバ、或工場建築ニ必要ナル土地ヲ給付スル債務ノ如シ)其一部分ノ履行ヲナスコトヲ得ザルモノナリ。斯ノ如ク、目的物ガ不可分ナル場合ニハ、債權者數人アル時ハ、各債權者ハ、總債權者ノ爲ニ履行ヲ請求シ、又債務者ハ、總債權者ノ爲、各債權者ニ對シテ履行ヲナスコトヲ得。之ニ反シ、若シ債務者數人アル時ハ、債權者ハ、其中ノ一人ニ對シ、全部履行ノ請求ヲナシ得ベシ。然レドモ、債權ノ目的不可分ナルヲ以テ、各債務者ニ對シ、各其一部ノ履行ヲ求ムルヲ得ズ。要スルニ、**一部ノ履行ヲ許サズ、必ラズ同時ニ全部ノ履行ナカルベカラザル債權ナリ**。

連帶債務。民、四三二、

連帶債務トハ、債權者ノ利益ノ爲、債權者ノ請求ニ從ツテ、債權ノ全部、又ハ一部ノ履行ヲナスベキ債權關係ヲ名付ケタルモノニシテ、各債權者ハ、總債務者ニ對シ、或ハ數人ノ債務者ニ對シ、或ハ一人ノ債務者ニ對シ、全部ノ履行ヲ請求スルモ、將タ、一部ノ履行ヲ請求スルモ、一ニ、債權者ノ隨意タリ。故ニ、債權者ハ、資力アリ、且、執行ノ容易ナル債務者ヲ撰ンデ、其履行ノ請求ヲナスヲ得ベシ。債務者相互間ニ於テハ、如何ナル事情伏在スルモ、其債務者ノ一人ガ、一部ノ履行ヲナシ、以テ債權者ニ對スル自己ノ債務ヲ免レントスルガ如キハ許ス所ニアラズ。

保證債務、
民、四四六、

保證債務トハ、債務者ガ債務ノ履行ヲナサヾル場合ニ、之ニ代ツテ履行ヲナスベキ責ニ任ズル債務ヲ云ヒ、其責任ヲ有スル人ヲ保證人ト云フ。サレバ、債權者ハ、若シ、主タル債務者ガ、債務ノ履行ヲナサヾル時ハ、保證人ニ對シテ、債務履行ヲ請求シ得ベク、保證人ハ其責ニ任ジ、債務者ニ代ツテ、之ヲ履行セザルベカラズ。サレドモ、保證人ト雖、主タル債務者ニシテ辨濟能力アリ、又ハ債權者ノ怠慢ノ爲、其履行ヲ受クルコト能ハザルニ至リシニ對シテハ、責ヲ負フベキモノニアラズ。是ヲ以テ、保證人ハ、債權者ヨリ履行ノ請求ヲ受ケタル時ハ、(一)先ヅ、主タル債務者ニ催告スベキコトヲ請求スルノ權利ヲ有シ、(二)又、假ニ、債權者ガ其催告ヲナシタル後ト雖、債務者ニ辨濟資力アルコトヲ證明シテ、其財産ニ對シ執行ヲナスベク請求シ、(三)債權者ガ、此請求アリタルニ拘ハラズ、催告、

保證人ノ利益。
民、四五二、
民、四五三、
民、四五五、

又ハ執行ヲ怠リタル爲、主タル債務者ヨリ、全部ノ辨濟ヲ得ザルニ至リタル時ハ、保證人ハ、債權者ガ、直ニ、催告又ハ執行ヲナセバ、辨濟ヲ得ベカリシ限度ニ於テ、其義務ヲ免ルヽモノトス。

第六節　債權ノ讓渡及消滅

債權ノ讓渡。
民、四六六、
民、九六三、

債權ハ、之ヲ讓渡スコトヲ得ルヲ原則トスレドモ、其性質上、之ヲ許サヾルモノ(例ヘバ、扶養ヲ受クル權利ノ如キ)及、當事者ノ意思ヲ以テ、之ヲ禁ジタルモノハ、此限ニアラズ。其他ニ於テハ、債權ノ讓渡ハ自由タリ。只、債權ノ種類ノ異ナルニ從ヒ、其讓渡條件ニ、多少ノ差異アルヲ見ル。卽、指名債權ノ讓渡ハ、讓渡人ガ、之ヲ債務者ニ通知シ、又ハ債務者ガ、之ヲ承諾スルニアラザレバ、之ヲ以テ、債務者、其他ノ第三者ニ對抗スルヲ得ズ。次ニ、指圖債權ノ讓渡ハ、其證書ニ讓渡ノ裏書ヲナシ、

指名債權トハ、普通ノ債權ノ如ク、債權者ノ確定シタル債權ヲ云フ。
民、四六七、
民、四六九、
指圖債權トハ、爲替手形、

約束手形等ノ如ク、債權者、又ハ其指圖人ニ辨濟スベキ債權ヲ云フ。無記名債權トハ、小切手、鐵道切符、入場券等ノ如ク、債權者ノ確定セザル債權ヲ云フ。

債權ノ消滅。

民、四七四、一五〇四、民、五〇五、一五一二、民、五一三、一五一八、民、五一九、民、五二〇、

之ヲ讓受人ニ交付スルニアラザレバ、之ヲ以テ、債務者、其他ノ第三者ニ對抗スルヲ得ズ。又、無記名債權ノ讓渡ハ、別ニ何等形式ヲ要セズ、只、其證書ヲ交付スルヲ以テ十分ナリトスルガ如シ。

債權ハ、辨濟(債權ノ本旨ニ從ツテ、之ヲ履行スルコト)相殺、(二人互ニ、同種ノ目的ヲ有シ、且、共ニ、辨濟期ニアル場合ニ、双方ノ債務者ガ、其對當額ニツキ、債務ヲ免ル丶方法、所謂差引勘定ヲナスコト)更改、(契約ニヨリ、債務者ガ、債務ノ要素ヲ變更スルコト)免除、(債權者ガ、債權ヲ拋棄スルコト)混同(債權ト債務トガ、全一人ニ歸シタルコト)等ニヨリ消滅スルモノトス。此他、尚、履行ノ不能、取消、契約ノ解除、時效等ガ、債權消滅ノ原因タルハ論ヲ俟タズシテ明ナリ。

親族。

血族。

姻族。

親系。

直系。

傍系。

直系尊屬。

直系卑屬。

親等。

第八章　親族法

第一節　總論

親族トハ、血統、及、婚姻ノ關係ニヨリテ、相連結スル人々ヲ云フ。而シテ、血統ノ關係ニヨリテ、相連結シタル親族ヲ血族ト稱シ、婚姻ノ關係ニヨリテ、相連結シタル親族ヲ姻族ト云フ。又、親族ノ連結ヲ親系ト稱シ、祖父母、子孫ノ如ク、彼ヨリ之ニ直下スル親系ヲ直系ト名付ケ兄弟姉妹、伯叔父母ノ如ク、同一始祖ヨリ分出シ、彼ヨリ之ニ直下セザル親系ヲ傍系ト云フ。直系ヲ分チテ、直系尊屬、直系卑屬ノ二トス。直系尊屬トハ、父母、祖父母等ノ如ク、自己ノ出デタル親族ニシテ直系卑屬トハ、自己ヨリ出デタル親族、例ヘバ、子孫ノ如キヲ云フ。二人ノ親族間ニ存スル距離ヲ名付ケテ、親等ト云フ。親等ヲ

民、七二六、
民、七二五、

定ムルニハ、親族間ノ世數ヲ以テシ、直系ニ於テハ、只、世數ヲ算スレバ足レリト雖、傍系ニ於テハ、親族ノ一人ヨリ世數ヲ算シテ、同一始祖ニ遡リ、之ヨリ、又、世數ヲ算シツヽ、他ノ一人ニ下リ、其兩世數ヲ合シタルモノヲ以テ、其親等ヲ定ムベキモノトス。我民法ニ於テ規定セル親族ハ、次ノ如シ。

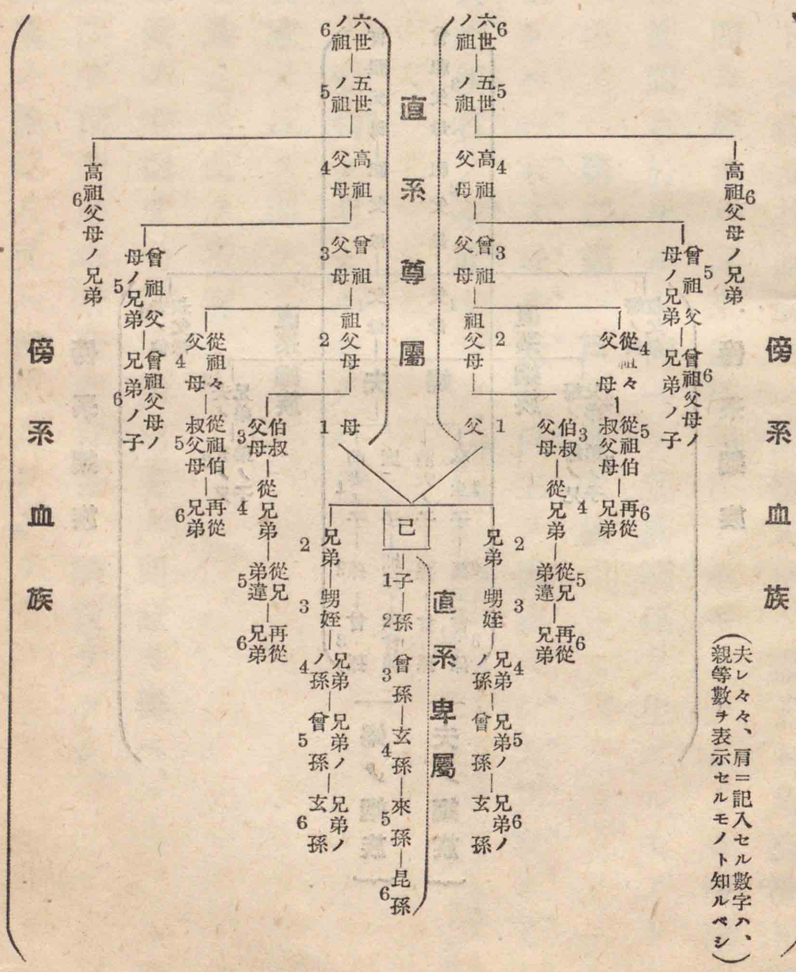
(一)六親等内ノ血族。

(二)配偶者　配偶者トハ、夫婦ノ一方ヨリ、他ノ一方ヲ呼ブ名稱ニシテ、夫ヨリハ、婦ガ配偶者ニシテ、婦ヨリハ、夫ガ配偶者タリ。

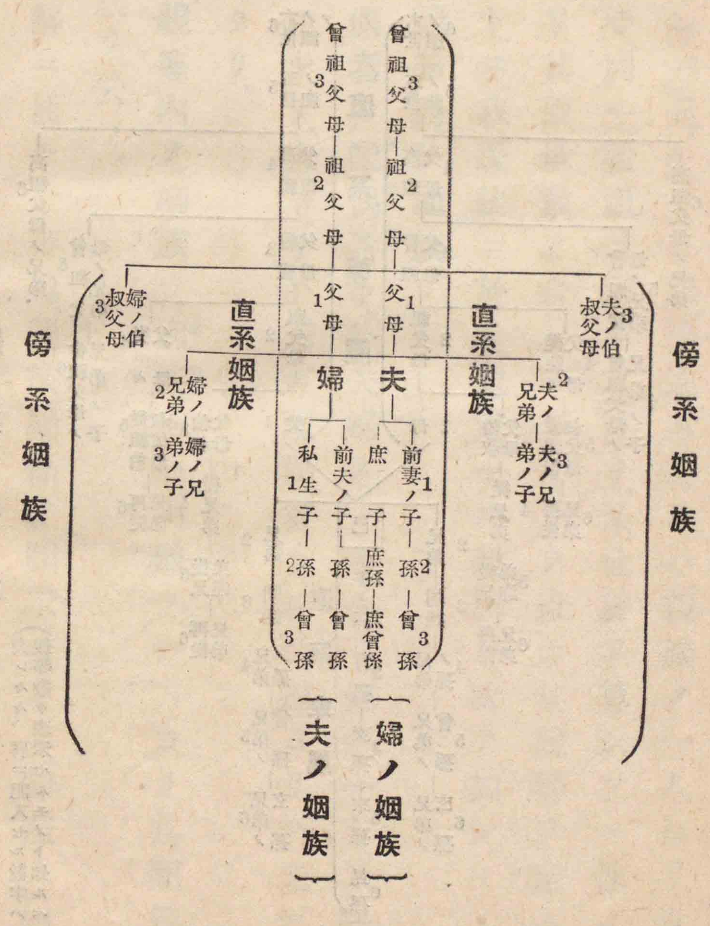
(三)三親等内ノ姻族　姻族トハ、夫婦ノ一方ヨリ、其配偶者ノ血族ヲ云フ。

今了解ニ便センガ爲、親族關係ヲ圖示センニ、卽左ノ如シ。

(血族)



（姻族）



民、七二七、

民、七二八、

戸主及家族。民、七三二、

戸主ノ權利。民、七四六、

民、七四九、

民、七五〇、

民、七、

民、九〇三、九〇九、

養子ト、養親、及、其血族トノ間、繼父母ト繼子ト、又、嫡母ト庶子トノ間ニ於テハ、元來、血族關係ナキモノナレドモ、法律ニヨリ、血族間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生ズルモノトセリ。

第二節　戸主及家族

戸主トハ、一家ノ長ヲ云ヒ、戸主ノ親族ニシテ、其家ニアル者、及、其配偶者ヲ家族ト云フ。（註。家トハ、物質的ノ家屋ノ意ニアラズ。戸主ノ統轄スル事實上、若クハ想像上ノ家族團體ニシテ、即、同一戸籍ニ在ル家族團體ノ意ナリ）

戸主ノ權利ノ主ナルモノハ、

（一）其家ノ氏ヲ稱シ、

（二）家族ノ居所ヲ指定シ、

（三）家族ノ婚姻、又ハ養子緣組等ニ同意ヲ與ヘ、

（四）家族ノ禁治產、準禁治產宣告ノ請求ヲナシ、

（五）家族ノ後見人、又ハ保佐人トナリ、

民、九四四、九四八、

戸主ノ義務。民、七四七、

家族ノ權利。民、七四六、

民、七四七、

民、七四八、

家婚ノ義務。民、七四八、

婚姻。

（六）親族會招集ノ請求ヲナシ、及、之ニ出席シテ、其意見ヲ述ブル等、極メテ多シ。

而シテ、戸主ガ、其家族ニ對シテ扶養ヲナサヾルベカラザルハ、其最モ主ナル義務ノ一トス。

次ニ家族ハ、

（一）其家ノ氏ヲ稱シ、

（二）戸主ノ扶養ヲ受ケ、

（三）自己ノ名ニ於テ得タル財産ヲ特有スル等ノ權利ヲ有シ、

（一）戸主ノ意ニ反シテ、其居所ヲ定ムルコトヲ得ズ、

（二）婚姻、又ハ養子縁組ヲナスニハ、戸主ノ同意ヲ得ザルベカラザル等ノ義務ヲ有ス。

第三節　婚姻

婚姻トハ、法律ノ公認スル男女兩性ノ結合ニシテ、我國ニ於

婚姻ニ必要ナル條件。民、七六五、

民、七六六、

民、七六九、

民、七七〇、民、七七一、民、七三〇、參照

民、七七二、

民、七七五、

テハ、下ニ掲グル各項ニ違背セザル婚姻ヲ以テ、有效トス。

（一）男ハ滿十七年、女ハ滿十五年ニ達セザレバ、婚姻ヲナスコトヲ得ズ。

（二）配偶者アルモノハ、重ネテ婚姻ヲナスコトヲ得ズ。

（三）直系血族、及、三親等内ノ傍系血族ノ間ニ於テハ、婚姻ヲナスコトヲ得ズ。但シ、養子ト、養方ノ傍系血族トノ間ハ、此限ニアラズ。又、直系姻族ノ間ニ於テモ、之ヲ禁ジ、養子、其配偶者、直系卑屬、又ハ其配偶者ト、養親、又ハ其直系尊屬トノ間ニ於テハ、親族關係斷絶ノ後ト雖、婚姻ヲナスヲ許サズ。

（四）男ガ滿三十年以上、女ガ滿二十五年以上ニ達セザル間ハ、其家ニアル父母ノ同意ヲ得ルニアラザレバ、子ハ婚姻ヲナスコトヲ得ズ。

（五）婚姻ハ、當事者双方、及、成年ノ證人二人以上ヨリ、口頭、若ク

婚姻ノ效力。
民、七八八、
民、七八九、
民、七九〇、

離婚。

協議上ノ離婚。
民、八〇八、

裁判上ノ離婚。
民、八一三、

ハ署名シタル書面ヲ以テ、戸籍吏ニ届出ヅルニアラザレバ、其效力ヲ生ゼズ。

以上ノ條件ヲ具備シ、婚姻成立シタル時ハ、入夫、及、婿養子ノ場合ヲ除クノ外、妻ハ、夫ノ家ニ入リ、夫ト同居スル義務ヲ負ヒ、夫婦ハ、又、互ニ扶養ノ義務ヲ負フモノトス。

婚姻成立スル時ハ、其結合ハ、配偶者ノ一生涯繼續スベキモノナレドモ、法定ノ條件ヲ具備スルコトニヨリ、生前ニ於テ、其結合關係ノ解除セラル、コトアリ、之ヲ離婚ト稱ス。離婚ハ、夫婦ノ協議ヲ以テ之ヲナスコトヲ得、名付ケテ協議上ノ離婚ト稱ス。又、夫婦ノ一方ハ、特定ノ場合ニ限リ、裁判所ニ出訴シテ離婚ヲナスコトヲ得、之ヲ裁判上ノ離婚ト稱ス。例ヘバ、配偶者ガ重婚ヲナシタル時、妻ガ姦通シタル時、夫ガ姦淫罪ニヨリ刑ニ處セラレタル時、又ハ配偶者ヨリ同居ニ堪ヘ

親子。

實親子。
民、八二七、

民、八三六、

養親子。
民、八三七、
民、八三八、
—八四一、
民、八四八、

ザル虐待、又ハ重大ナル侮辱ヲ受ケタル時等ニ於テ、離婚ノ訴ヲ提起シ得ルガ如キ是ナリ。

第四節　親子

親子ニハ、實親子ト、養親子トノ區別アリ。自然ノ作用ニヨリ生ジタル親子ハ實親子ニシテ、自然ノ作用ニヨラズ、法律ノ擬制ニヨリ生ジタル親子ハ養親子ナリ。

實子ニハ、嫡出子、庶子、私生子ノ別アリ。夫婦間ニ生ジタル子ヲ嫡出子ト稱シ、夫婦關係ナキモノ、間ニ生レタル子ヲ私生子ト稱ス。私生子ハ、父ノ認知ニヨリテ庶子トナリ、庶子ハ、父母ノ婚姻ニヨリテ嫡出子トナル。

養子ニハ、普通養子、婿養子、夫婦養子、遺言養子等ノ別アリ。何レモ、養子タル身分ニ於テ異ナルコトナキモ、養子ヲナス條

養子緣組。

民、八六二、民、八六六、離緣。

緣組ノ效力。民、八六〇、民、八六一、

親權ノ意義及總說。民、八七七、

親權ノ效力。

件、方法等ノ異ナルニ從ヒ、是等ノ名稱アリ。養親子ノ關係ヲ生ズル法律行爲ヲ養子緣組ト稱シ、其解除ヲ離緣ト云フ。離緣ニモ協議上ノ離緣ト裁判上ノ離緣トノ二樣アルコト、離婚ノ場合ト異ナルコトナシ。

養子ハ、緣組ノ日ヨリ嫡出子タル身分ヲ取得シ、緣組ニヨリテ養親ノ家ニ入ルモノトス。

第五節　親權

親權トハ、實子タルト養子タルトニ論ナク、子ノ身體ヲ監督シ、其財產ヲ管理スル權利ヲ云フ。子ハ、其家ニアル父ノ親權ニ服從セザルベカラズ。親權ハ主トシテ、父ニ屬スルモノナリト雖、父ガ知レザル時、死亡シタル時、家ヲ去リタル時、又ハ親權ヲ行フコト能ハザル時ハ、家ニアル母、之ヲ行フ。

親權ノ效力トシテ、親權ヲ行フ父、又ハ母ハ、未成年ノ子ノ監

民、八七九、民、八八二、民、八八〇、民、八八一、民、八八三、—八八四、

親權ノ喪失。民、八九六、

後見ノ意義及其開始。

護、及、教育ヲナシ、必要ノ場合ニハ、自ラ、子ヲ懲戒シ、其未成年ノ子ノ居所ヲ指定シ、又、未成年ノ子ノ兵役ノ出願、及、營業ヲ許可シ、或ハ未成年ノ子ノ財產ヲ管理シ、又其財產ニ關スル法律行爲ニツキ、其子ヲ代表スル等ノ行爲ヲナスコトヲ得。

親權者ハ、以上ノ如ク重大ナル權利ヲ有シ、義務ヲ負フモノナレバ、若シ、之ヲ濫用シ、又ハ著シク不行跡ノ行爲アリテ、其義務ヲ完ウスルコト能ハザル時ハ、法律ハ、子ノ親族、又ハ檢事ノ請求ニヨリ、裁判所ニ其權利喪失ノ宣告ヲナシ得ル權能ヲ與ヘタリ。

第六節　後見

父、又ハ母ガ生存シ、親權ヲ行使スルコトヲ得ル間ハ、父母ガ、其子ノ身體財產ノ監督、及、管理ヲナスヲ得レドモ、若シ、父母死亡スルカ、又ハ親權ヲ行フコト能ハザルニ至ル時ハ、何人

民、九〇〇、

民、九一七、一九三六、

後見ノ機關。

後見人。

民、九〇一—九〇四、

後見監督人。

民、九一五、

民、九一〇、

民、九一一、

カ代ツテ、未成年者ヲ保護セザルベカラズ。斯ノ如ク、未成年者ニ對シテ親權ヲ行フモノハナキ時、又ハ親權ヲ行フモノガ、管理權ヲ有セザル時、及禁治產ノ宣告アリタル時、是等ノモノハ、身體財產ヲ監督管理シ、及諸般ノ法律行爲ヲ代表スルガ爲ニ、能力者ノ行フ法律上ノ職務ヲ、後見ト稱シ、此職務ニ當ル人ヲ後見人ト云フ。

後見人ニハ、未成年者ニ對シテ最後ニ親權ヲ行フ者ガ、遺言ヲ以テ指定シタル、所謂指定後見人、民法ノ規定ニヨリテ、當然定マル法定後見人、及親族會ノ選任ニヨル選任後見人ノ三種アレドモ、其職務ニ至リテハ、何等ノ差異アルコトナシ。

後見人ノ事務ヲ監督シ、其他法律ニ定メタル職務ヲ行フ爲ニ、後見監督人ナルモノアリ。後見監督人ニモ亦、指定後見監督人、及選任後見監督人ノ二種アリ。

後見ノ終了。

民、九三七、

民、九四〇、

親族會。

民、九四五、

民、九四四、

民、九四九、

後見人ノ任務終了シタル時ハ、後見人、及其相續人ハ、二ケ月以内ニ、後見監督人ノ立會ヲ以テ管理ノ計算ヲナシ、若シ後見人ガ、被後見人ニ返還スベキ金額アル時ハ、之ガ拂渡ヲナサヾルベカラザルハ勿論、此返還スベキ金額ニ對シテハ、後見ノ計算終了ノ時ヨリ利息ヲ附セザルベカラズ。

第七節　親族會

親族會トハ、親族法上ノ權利保全ノ爲ニ設ケラレタル議事機關ニシテ、其會員トナリ得ルモノハ、親族其他、本人、又ハ其家ニ緣故アル者ノ中ヨリ、裁判所之ヲ選定スベキモノニシテ、其員數ハ三名以上トス。而シテ、裁判所ハ、會議ヲ要スル事件ノ本人、戶主、親族、後見人、後見監督人、保佐人、檢事、又ハ利害關係人ノ請求ヲ俟ツテ、之ガ招集ヲナスベキモノトス。

親族會ノ存續期間ハ、一時的ノモノニシテ、其職務ヲ終ル時

ハ、直ニ、解散スルヲ以テ通常トスレドモ、無能力者ノ爲ニ設ケタル親族會ハ、其者ノ無能力ノ止ムマデ繼續シ、此親族會ハ、最初ノ招集ノ場合ヲ除クノ外、本人、其他、法定代理人、後見監督人、保佐人、又ハ會員之ヲ招集ス。

親族會ノ議事。民、九四七、民、九四八、

親族會ノ議事ハ、會員ノ過半數ヲ以テ、之ヲ決シ、會員ハ、自己ノ利害ニ關スル議事ニツキテハ、表決ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ。而シテ、本人、戶主、家ニアル父母、配偶者、本家、并ニ分家ノ戶主、後見人、後見監督人、及、保佐人ハ親族會ニ於テ、其意見ヲ述ブルコトヲ得。

第八節　扶養ノ義務

扶養ノ義務。民、九五九、

扶養ノ義務トハ、自己ノ資産、又ハ勞務ニヨリテ、生活ヲナス能ハズ、又ハ自己ノ資產ニヨリテ、教育ヲ受クル能ハザル者ニ對シ、其生活ノ資料ヲ供スルカ、又ハ引取リテ之ヲ養ヒ、必要ニ應ジテハ、之ガ教育ヲナスベキ義務ヲ云フ。

扶養義務ノ範圍。民、七四七、民、九五四、民、九五五、―九五八、

親族間ニ於テ、互ニ、相扶養スベキハ人倫ノ常道ナリト雖、無限ニ其義務ヲ擴張スル時ハ、到底、實行シ難キ事情アルヲ以テ、法律ハ、其範圍ヲ限リ、戶主ハ、家族ニ對シテ扶養ノ義務ヲ負ヒ、又、直系血族、及、兄弟姉妹ハ勿論、夫婦ノ一方ト、他ノ一方ノ直系尊屬ニシテ、其家ニアルモノヽ間ニ於テモ、互ニ、相扶養スベキ義務アルモノトセリ。而シテ、若シ、扶養ヲナスベキ義務ヲ負フ者、若クハ扶養ヲ受クル權利アル者、數人アル時ニ當リテ、其順序ヲ如何ニシ、何レヲ先ニシ、何レヲ後ニスベキカ等ニ關シテハ、專ラ、法律ノ定ムル所ニ從フ。

第九章　相續法

相續ノ種類。

相續ニハ、家督相續、及、遺產相續ノ區別アリ。家督相續トハ、戶

家督相續。

家督相續ノ開始。民、九六四、

民、九六五、

家督相續人ノ種類。

主ノ權利義務ヲ繼承スベキモノニシテ、遺產相續トハ、家族ノ權利義務ヲ繼承スベキ相續ナリ。

第一節　家督相續

家督相續ハ前ニ述ベタル如ク、戶主ノ權利義務ノ相續ナレバ、戶主權ノ喪失ト共ニ開始セラルベキモノニシテ、卽

(一)戶主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失。

(二)戶主ガ婚姻、又ハ養子緣組ノ取消ニヨリテ、其家ヲ去リタル時。

(三)女戶主ノ入夫婚姻、又ハ入夫ノ離婚。

等ノ事由アリタル場合ニ、被相續人ノ住所ニ於テセラルベキモノトス。

家督相續人ニハ、法定ノ推定家督相續人、指定家督相續人、及選定家督相續人ノ三種アリ。

法定ノ推定家督相續人。民、九七〇、―九七八、九八四、

指定家督相續人。

法定ノ推定家督相續人トハ法定ノ順位ニ從ヒ、家督相續ヲナス權利ヲ有スルモノニシテ、其順位ハ、被相續人ノ家族タル直系卑屬ハ、

(一)親等ノ異ナリタル者ノ間ニアリテハ、其近キ者ヲ先ニス。

(二)親等ノ同ジキ者ノ間ニアリテハ、男ヲ先ニス。

(三)親等ノ同ジキ男、又ハ女ノ間ニアリテハ、嫡出子ヲ先ニス。

(四)親等ノ同ジキ嫡出子、庶子、及私生子ノ間ニアリテハ、嫡出子、及庶子ハ、女ト雖、之ヲ私生子ヨリ先ニス。

(五)以上ノ事項ニツキ、相同ジキ者ノ間ニアリテハ、年長者ヲ先ニス。

由是觀之、我民法ハ、家督相續ニ於テハ、長子相續主義ヲ採用セルモノナルコトヲ知ルヲ得ベシ。

被相續人ガ、死亡若クハ隱居シタル時ニ當リ、法定ノ推定家

民、九七九、民、九八〇、民、九八一、

督相續人ナキ場合ニ於テハ、被相續人ヲ指定スルコトヲ得ベク、此指定ニヨリテ定マレル相續人ヲ、指定家督相續人ト云フ。而シテ、此指定ハ、普通ノ意思表示ヲ以テスルモ、遺言ヲ以テスルモ差支ナシ。

選定家督相續人。民、九八二、―九八五、

法定ノ推定家督相續人、及、指定家督相續人共ニ、之ナキ場合ニ於テハ、其家ニアル被相續人ノ父母、若シ、父母共ニナキカ、又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハザル時ハ、親族會ハ、法律ニ定メタル順序ニ從ヒ、其家族中ヨリ家督相續人ヲ選定スルコトヲ得ベク、其選定ニヨリテ定マリタルモノヲ、選定家督相續人ト云フ。

家督相續ノ缺格者。民、九六九、

以上三種ノ相續人ハ、夫レ夫レ、上記ノ順序ヲ以テ、家督相續人タルヲ得ベシト雖、法律ノ規定ニヨリ、家督相續人タル資格ヲ剝奪セラレタル、所謂缺格者ハ、如何ナル場合ニ於テモ、

家督相續人トナルコトヲ得ズ。又、法定ノ推定家督相續人ハ原則トシテ、之ヲ廢除スルコトヲ得ザレドモ、特ニ、法律ニ定メタル事由アル時ハ、被相續人ハ、其廢除ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ベク、之ヲ廢嫡ト云フ。

廢嫡。民、九七五、

家督相續ノ效力。民、九八七、民、九八六、民、九八八、民、九九〇、

家督相續ヲナシタル時ハ、其特權タル系譜、祭具、及、墳墓ノ所有權ヲ相續スベキハ勿論、前戸主ノ(一身ニ專屬セル權利ヲ除クノ外)一切ノ權利義務ヲ繼承スベキモノタリ。然レドモ、隱居者、又ハ入夫婚姻ヲナス女戸主ハ、相續人ヲシテ、其一切ノ權利義務ヲ相續セシメズシテ、確定日附アル證書ニヨリ、其財產ヲ留保スルコトヲ得ベキモノトセリ。サレドモ、此場合ニ於テモ、家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトハ、之ヲ許サズ。又國籍喪失者ノ家督相續人ハ、戸主權、及、家督相續ノ特權ニ屬スル權利ノミヲ繼承ス。蓋シ、是等ノ被

遺産相續。

遺産相續ノ開始。民、九九二、民、九九三、

遺産相續人。民、九九四、

相續人ハ、相續開始ノ後ト雖、尚、生存スルモノナレバ、自ラ、必要ヲ生ゼルナリ。

第二節 遺産相續

遺産相續トハ、家族ハ、權利義務ヲ承繼スルヲ云ヒ、其開始ハ、原因ハ、只、家族ノ死亡アルノミニシテ、是亦、被相續人ノ住所ニ於テ開始ス。

遺産相續ニハ、法定ノ推定遺産相續人アルノミ。而シテ、其相續人トナルモノハ、通常、被相續人ノ直系卑屬ニシテ、下ノ規定ニ從ヒ遺産相續人トナル。

(一)親等ノ異ナリタル者ノ間ニアリテハ、其近キ者ヲ先ニス。

(二)親等ノ同ジキ者ハ、同順位ニ於テ遺産相續人トナル。

此規定ヲ見ル時ハ、家督相續ガ、長子相續主義ヲ採リシニ反シ、此ニ於テハ、分頭相續主義ヲ採用セルヲ知ルベシ。次ニ、上

民、九九五、一九九六、

民、九九七、

遺産相續ノ効力。民、一〇〇一、民、一〇〇二、民、一〇〇三、

相續分。民、一〇〇四、

述直系卑屬タル相續人、若クハ其者ノ直系卑屬ナキ時ハ、(一)配偶者、(二)直系尊屬、(三)戶主ハ、順次、相續人トナル。

遺産相續ニツキテモ、法律ガ、缺格者ヲ定メタルコトハ、家督相續ノ場合ト異ナルコトナシ。

遺産相續人ハ相續開始ノ時ヨリ、被相續人ノ財産ニ屬セシ一切ノ權利義務ヲ承繼ス。サレドモ、被相續人ノ一身ニ專屬セシモノハ、此限ニアラズ。若シ夫レ、遺産相續人數人アル時ハ、其相續財産ハ、共有トシ、各共同相續人ハ、其相續分ニ應ジテ、被相續人ノ權利義務ヲ承繼ス。

相續分トハ、各遺産相續人ノ受クベキ分ケ前ヲ云ヒ、同順位ノ相續人數人アル時ハ、其各自ノ相續分ハ相均シキモノナレドモ、直系卑屬數人アル場合ニ於テ、若シ、庶子、私生子アリタリトセバ、其相續分ハ、嫡出子ノ相續分ノ二分ノ一トス。

民、一〇〇六、

民、一〇〇七、

法律ハ、上述ノ如ク、相續分ヲ一定スト雖、又、被相續人ガ、遺言ヲ以テ、之ニ反スル相續分ヲ定メ得ルコトヲ認メタリ。卽、被相續人ハ、遺留分ノ規定ニ反セザル限リ、自ラ、遺言ヲ以テ、共同相續人ノ相續分ヲ定メ、又ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託スルコトヲ得ルモノトセリ。

又若シ、共同相續人中、被相續人ヨリ遺贈ヲ受クルカ、或ハ婚姻、養子緣組、分家、廢絕家再興ノ爲、若クハ生計ノ資トシテ、贈與ヲ受ケタルモノアル時ハ、被相續人ガ、相續開始ノ時ニ於テ有セシ財產額ニ、其贈與額ヲ加ヘタルモノヲ以テ、相續財產ト看做シ、前說明セシ方法ニヨリテ、一定セル相續分ノ中ヨリ、其贈與、又ハ遺贈額ヲ控除シ、其殘額ヲ以テ、受遺者、若クハ受贈者ノ相續分トス。サレドモ若シ、其遺贈、又ハ贈與ノ額ガ、相續分ノ額ニ等シキカ、或ハ其價額ニ超ユル時ハ、受遺者、

又ハ受贈者ハ、其相續分ヲ受クルヲ得ザルモノトス。

第三節　相續ノ承認及拋棄

相續ノ承認及拋棄。

民、一〇一七、

民、一〇二〇、

相續人ハ、相續開始ト同時ニ、相續權ヲ取得スベキモノナレドモ、相續人ガ、此相續權ヲ確認、若クハ否認セザル間ハ、相續權ハ確定セザルモノト見ルベク、其確認、又ハ否認ノ權ハ、相續人ニ屬シ、相續人ハ、自己ノ爲ニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ、三ケ月以內ニ、之ヲナサザルベカラズ。而シテ、其之ヲ確認スルヲ相續ノ承認ト稱シ、否認スルヲ相續ノ拋棄ト云フ。法定ノ推定家督相續人ハ、直系尊屬ガ、家督相續人タル場合ヲ除クノ外、相續ノ拋棄ヲナスヲ許サズ。

單純承認。

民、一〇二三、

相續ノ承認ニハ、單純承認、及、限定承認ノ二種アリ。單純承認トハ、相續人ガ、明示、又ハ默示ノ意思表示ニヨリ、無條件ニテ、相續人タルコトヲ承認スルヲ云フ。此場合ニ於テハ、相續人

限定承認。民、一〇二五、一〇二

ハ、無限ニ、被相續人ノ權利義務ヲ承繼ス。限定承認トハ、相續人ガ相續ニヨリテ得タル財產ノ限度ニ於テノミ、被相續人ノ債務及遺贈ヲ辨濟スベキコトヲ條件トシテ、相續ヲ承認スルヲ云ヒ、此場合ニ於テハ、相續人ノ財產ト、被相續人ノ財產トハ分離スルモノトス。

相續人ノ曠缺。民、一〇五一、一〇五二、一〇五五、一〇五六、一〇五

相續人アルコト分明ナラザル時ハ、相續財產ハ、之ヲ法人トシ、裁判所ハ、利害關係人、又ハ檢事ノ請求ニヨリテ、相續財產ノ管理人ヲ選任セザルベカラズ。而シテ、相續人アルコト分明ナルニ至リタル時ハ、法人ハ存立セザリシモノト看做シ、相續人ガ、相續ノ承認ヲナスト共ニ、管理人ノ代理權ハ消滅ス。

第四節　遺言

遺言ノ意義

遺言トハ、人ノ死亡ニヨリテ、其效力ヲ生ズル法律行爲ナリ。

及總說　民、一〇六一、一〇六〇

是レ、一種ノ要式行爲ナレバ、年齡滿十五年ニ達スレバ、其何人タルニ論ナク、遺言ヲナスコトヲ得レドモ、之ヲ有效ニナサントスル爲ニハ、必ラズ、法定ノ方式ニヨラザルベカラズ。

遺言ノ方式。普通方式。民、一〇六七、一〇七〇

其方式ニハ、普通方式、及、特別方式ノ二樣アリ。普通方式トハ、特別ノ事情アル場合ノ外ハ、必ラズ、之ニヨラザルベカラザル方式ニシテ、自筆證書、公正證書、及、祕密證書ノ三種アリ。特別方式トハ、特別ノ事情アル場合ニ限リ、此方式ニヨルヲ得ルモノニシテ、疾病、其他ノ事由ニヨリテ、死亡ノ危急ニ迫リタル者、傳染病ノ爲、行政處分ヲ以テ交通ヲ遮斷シタル場所ニアル者、從軍中ノ軍人、軍屬、艦船中ニアル者、外國ニアル者等ガ、遺言ヲナス場合ニ必要ナルモノナリ。

特別方式。民、一〇七六、一〇七七、民、一〇七八、一〇七九、民、一〇八〇、一〇八六

遺言ノ效力及取消。民、一〇八七、一一〇八

遺言ハ、遺言者ノ死亡ノ時ヨリ、其效力ヲ生ズ。遺言者ハ、生前、何時ニテモ、遺言ノ方式ニ從ヒテ、其遺言ノ全部、又ハ一部ヲ

民、一一二三
民、四、一一二
五、一一二三
民、六、一一二三

遺言ノ執行。
民、六、一一〇

遺言執行者。
民、八、一一〇
民、九、一一〇

取消スコトヲ得ベク、若シ又、前ノ遺言ト後ノ遺言トガ、相抵觸スル時ハ、其抵觸スル部分ニツキテハ、後ノ遺言ヲ以テ、前ノ遺言ヲ取消シタルモノト看做シ、遺言者ガ、故意ニ、遺言書ヲ毀滅シタル時ハ、其毀滅シタル部分ニツキテハ、亦、之ヲ取消シタルモノト看做ス。

相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ハ、遺言證書ノ保管者ハ、公正證書ニヨル遺言ヲ除クノ外ハ、直ニ、之ヲ裁判所ニ提出シテ、其檢認ヲ求メザルベカラズ。若シ、遺言書ノ保管者ナキ時ニ於テ、相續人ガ遺言書ヲ發見シタル時モ亦、之ニ倣フベキモノトス。

遺言者ハ、遺言ヲ以テ、一人、又ハ數人ノ遺言執行者ヲ指定シ、又ハ其指定ヲ第三者ニ委託スルコトヲ得。遺言執行者ニ於テ、就職ヲ承諾シタル時ハ、直ニ、其任務ヲ行ハザルベカラズ。

民、三、一一二一
民、七、一一二一
民、四、一一二一

遺贈。

包括名義ノ遺贈。

特定名義ノ遺贈。

遺言執行者ハ、遲滯ナク、相續財産ノ目録ヲ調製シテ、之ヲ相續人ニ交付セザルベカラズ而シテ、又、遺言執行者ハ、相續人ノ代理人ト看做シ、相續財産ノ管理、其他、遺言ノ執行ニ必要ナル一切ノ行爲ヲナス權利義務ヲ有スルモノナリ。

遺贈トハ、遺言者ガ、遺言ヲ以テ、其財産ヲ、他人ニ、贈與スル、一種ノ要式行爲ニシテ、遺贈ヲ受クルモノヲ受遺者ト云フ。遺贈ニ包括名義ヲ以テスルモノト、特定名義ヲ以テスルモノトアリ。包括名義ノ遺贈ハ、受遺者ガ、遺言者ノ財産上ノ權利義務ヲ一括シテ承繼スルモノニシテ、此場合ニ於テハ、受遺者ハ、遺産相續人ト同一ノ權利義務ヲ有ス。次ニ、特定名義ノ遺贈ニ於テハ、原則トシテ、受遺者ハ、被相續人ノ權利ノミヲ承繼シ、其義務ハ、之ヲ負擔セザルモノトス。サレドモ、所謂負擔附遺贈ヲ承繼シタル場合ハ、此限リニアラズ。

遺贈ノ承認及拋棄。

民、一〇八八、民、一〇八九、民、一〇九七、

受遺者モ亦、相續人ト同ジク、遺贈ノ承認、又ハ拋棄ヲナスヲ得ベシ。而シテ其何レヲナスニ於テモ、受遺者ハ、進ンデ、其承認、又ハ拋棄ヲナスベク、若シ之ヲナサヾル時ハ、遺贈義務者、其他ノ利害關係人ハ、相當ノ期間ヲ定メ、其期間内ニ、遺贈ノ承認、又ハ拋棄ヲナスベキ旨ヲ受遺者ニ催告スルヲ得ベク、若シ受遺者ガ、其期間内ニ、遺贈義務者ニ對シテ、其意思ヲ表示セザル時ハ、遺贈ヲ承認シタルモノト看做ス。然レドモ、遺贈ガ、拋棄ニヨリ效力ナキニ至ルカ、若クハ其效力ヲ生ゼザル時ハ、受遺者ガ受クベカリシモノハ、相續人ニ歸屬ス。尤モ、遺言者ガ、其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタル時ハ、其意思ニ從フ。

第五節　遺留分

遺留分。

民、一一三〇、民、一一三一

被相續人ハ、遺言ヲ以テ、其財産ノ全部、又ハ一部ヲ自由ニ處分シ得ベシト雖、相續人ノ利益ハ、之ヲ害スルヲ許サズ。法律ハ、相續財産ノ一部ハ、被相續人ハ、自由處分ヲ以テ、之ヲ剝奪スルコトヲ得ザルモノトセリ。此部分ヲ遺留分ト稱ス。我民法ノ規定ニヨル時ハ、家督相續ニ於テハ、法定家督相續人タル直系卑屬ハ、被相續人ノ財産ノ半額、其他ノ家督相續人ハ、被相續人ノ財産ノ三分ノ一トシ、遺産相續ニ於テハ、遺産相續人タル直系卑屬ハ、被相續人ノ遺産ノ半額ヲ、配偶者、又ハ直系尊屬ニシテ遺産相續人タルモノハ、被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受クベキモノト定メタリ。

中等學校
法制教科書 終

明治四十四年四月七日第一版印刷
明治四十四年四月十二日第一版發行
明治四十五年四月十二日改訂第二版發行
大正元年十月十七日改訂第三版發行
大正二年一月七日改訂第四版印刷
大正二年一月十二日改訂第四版發行
大正三年三月十二日第五版發行
大正三年三月十二日第五版發行
大正三年三月二十日第六版發行
大正五年三月十五日第七版發行
大正六年二月十五日第八版發行
大正七年十一月一日第九版發行
大正八年九月八日第十版發行
大正九年十一月一日第十一版發行

法制教科書奥附
正價金四拾六錢
大正十年度臨時定價金壹圓

禁漢譯
著作權所有

著作者 岡本一郎
發行者 江草重忠
東京市神田區一ツ橋通町七番地
印刷者 高木酉三
東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

發賣元 松邑三松堂
東京市京橋區南鍛冶町一番地
電話京橋一二七六番地

印刷所 株式會社秀英舍

広島大学図書
2000074163